

PORTATONE PSR-E463

取扱説明書



準
備

基
本

応
用

資
料

このたびは、ヤマハ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この楽器は、豊富な音色や機能で演奏をお楽しみいただける電子キーボードです。

この楽器に搭載された機能を十分に活かし、演奏をお楽しみいただくため、本書をよくお読みになってからご使用ください。

また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管していただきますようお願いいたします。

ご使用前に必ず4~9ページの「安全上のご注意」をお読みください。

もくじ

この楽器のおすすめ機能	2
対応フォーマットと機能	10
付属品(お確かめください)	10
取扱説明書について	11

準備

各部の名称	12
ご使用前の準備	14
電源の準備	14
電源を入れる/切る	15
音量(マスターボリューム)を調節する	15

基本

基本操作と画面表示	16
基本操作	16
画面表示について	17
いろいろな楽器音(ボイス)で弾いてみよう	18
楽器音(メインボイス)を選ぶ	18
グランドピアノの音で弾く	18
楽器音(デュアルボイス)を重ねて弾く	18
左手で右手とは違う楽器音(スプリットボイス)を弾く	19
メトロノームを使う	19
ハーモニー効果をつける/リアルペジオ機能を使う	20
ハーモニータイプ/リアルペジオタイプを変える	21
DSP効果をかける	22
ノブを回して自分だけの音を作ろう	23
ノブに機能を割り当てる	23
コントロールする対象(ターゲット)を切り替える	23
ノブを使う	23
スタイル(自動伴奏)を鳴らしてみよう	24
ソングを鳴らしてみよう(MIDI)	25
デモソングを聞く	26
ソングを選んで聞く	26
ソングを早送り、早戻し、一時停止する	26
ソングの一部をくり返して聞く(A-Bリピート)	27

ソングのトラックをミュート(消音)する(マイナスワン)	27
グループクリエイターで遊ぼう	28
クイックサンプリングで遊ぼう	29
サンプルを鳴らしてみよう	29
サンプリングの準備をする	30
サンプリングをする	30
初期設定のサンプルに戻す	32
サンプルをUSBフラッシュメモリーに保存する	32
USBフラッシュメモリーからサンプルを読み込む	33
USBフラッシュメモリー内のサンプルを消去する	33
DJのように遊んでみよう!	34
トラックのオン/オフでイントロをつくろう	34
セクションを切り替えてグループを盛り上げよう	34
ライブコントロールノブでグループに効果をつけよう	34
リトリガー機能でさらに盛り上げよう	35
クライマックスを使ってほかのグループに切り替えよう	35
自分の演奏を録音しよう	36
ソングのトラック構成	36
本体メモリーに録音する	36
ユーザーソングのトラックに録音する	37
ユーザーソングを消去する(ソングクリア)	38
特定のトラックを消去する(トラッククリア)	38
オーディオファイルの再生や録音をする	39
USBフラッシュメモリーのオーディオファイルを再生する	39
USBフラッシュメモリーにオーディオファイルを録音する	40
USBフラッシュメモリーのオーディオファイルを消去する	41
好みの設定を記憶させよう(レジストレーションメモリー)	42
設定をレジストレーションメモリーに記録する	42
記録した設定を呼び出す	42
外部機器と接続する	43
別売のヘッドフォン/外部スピーカーを使う	43
ペダルを使う(サスティン)	43
オーディオ機器の音をこの楽器で鳴らす	44
メロディーパートの音を小さくする(メロディーキャンセル)	44
コンピュータやスマートデバイスを使う	45
バックアップと初期化	46
バックアップデータ	46
楽器を初期化する	46

この楽器のおすすめ機能

758
Voices

758種類の楽器音を鍵盤で弾くことができます(▶ 18ページ)。

235
Styles

235種類の自動伴奏(スタイル)を使うと、演奏が華やかになります(▶ 24ページ)。

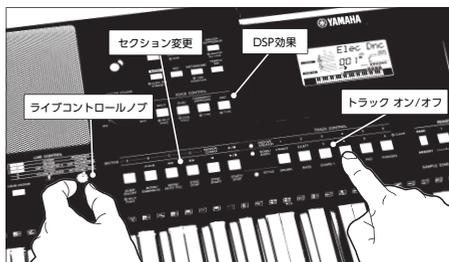
10
DSP Effect

10種類のDSP(デジタルシグナルプロセッサー)というデジタル処理を使った効果がかかります。(▶ 22ページ)。

Live Control Knobs

ライブコントロールノブを使って、音のひびませたり、残響音をつけたりして、まったく違う印象の音に変化させることができます(▶ 23ページ)。

グループクリエイター機能 (▶ 28ページ)



内蔵のエレクトロサウンドを組み合わせてグループ感あふれるサウンドを簡単に生み出すことができます。

さらに、ライブコントロールノブやDSPエフェクトなどを駆使して、DJのようなクールなパフォーマンスができます。

応用

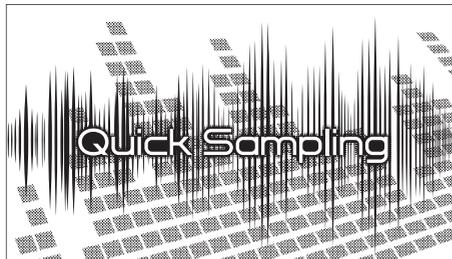
演奏するときの便利な機能	47
リバーブタイプを選ぶ.....	47
コーラスタイプを選ぶ.....	47
楽器の音の高さを変える(トランスポーズ).....	48
楽器の音の高さを微調整する(チューニング).....	48
ピッチベンドを使う.....	48
ワンタッチで最適なパネル設定を呼び出すワンタッチ セッティング(OTS).....	48
鍵盤のタッチレスポンスを変える.....	49
マスターEQを設定して最適な音にする.....	49
スケールチューンに関する設定	50
スケールを選ぶ.....	50
スケールのベースノートを変える.....	50
ノート別にチューニングしてオリジナルスケールを作る.....	51
楽器音(ボイス)に関する設定	52
デュアルボイスを選ぶ.....	52
スプリットボイスを選ぶ.....	52
ボイスのサウンドを変える.....	52
アルペジオの設定	53
アルペジオとソング/スタイル/グループの 同期タイミングを変更する(アルペジオオンタイム).....	53
フットスイッチでアルペジオ再生を継続する (アルペジオホールド).....	53
ノブに割り当てられる機能	54
スタイルやグループクリエイターに関する設定	56
スタイルに変化をつける(セクション).....	56
スタイルのシンクロストップを使う.....	57
スタイルのトラックをオン/オフする.....	57
グループに変化をつける(セクション).....	58
グループのリトリガー機能を使う.....	58
再生テンポを変える.....	58
タップスタート.....	58
スタイル/グループの音量を調節する.....	59
スプリットポイントを設定する.....	59
スタイルを鳴らさずにコードを指定する(ストップアカンパニメント).....	59
スタイル再生用のコードタイプ.....	60

ソングの再生に関する設定	61
BGMとして再生する.....	61
ランダムな順番で再生する.....	61
ソングのテンポを変える.....	62
タップスタート.....	62
ソングの音量を調節する.....	62
ソングのメロディー音色を変える.....	62
機能設定(FUNCTION)	63
機能設定の基本操作.....	63
USBフラッシュメモリーを使う	67
USBフラッシュメモリーを接続する.....	68
USBフラッシュメモリーをフォーマットする.....	69
USBフラッシュメモリーにユーザーデータを保存する.....	69
USBフラッシュメモリーにユーザーソングをSMFとして保存する.....	70
USBフラッシュメモリーからユーザーデータを読み込む.....	71
スタイルファイルを個別に読み込む.....	72
USBフラッシュメモリー内のユーザーファイルを削除する.....	73
USBフラッシュメモリー内のSMFファイルを削除する.....	73
ファイルコントロール画面を抜ける.....	74
メッセージ一覧.....	74

資料

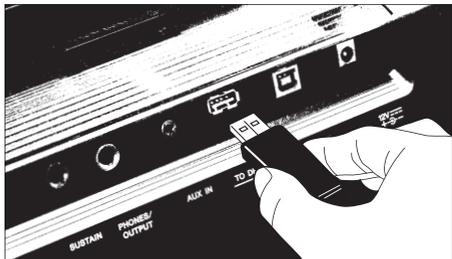
困ったときは.....	75
楽器リスト.....	76
ドラム/SFXキットリスト.....	82
スタイルリスト.....	89
ソングリスト.....	91
グループリスト.....	91
エフェクトタイプリスト.....	92
仕様.....	95
索引.....	97

クイックサンプリング機能 (▶ 29ページ)



スマートフォンやオーディオプレイヤーなどで再生した音を楽器本体の[AUX IN]端子から取り込んで、楽器の音色として鳴らすことができます。クイックサンプリングで取り込んだ音は、メロディーだけでなく、リズムループや効果音としても使え、アイデア次第でパフォーマンスの幅は広がります。

USBオーディオ録音 (▶ 40ページ)



USBフラッシュメモリーにオーディオファイルとして録音できます。外部機器からの音と鍵盤演奏をミックスして録音したり、録音した演奏をコンピューターやオーディオプレイヤーで流したりできます。

準備

基本

応用

資料

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

 	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
   	～しないでくださいという「禁止」を示します。
  	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

 **警告** この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

電源アダプターについて

 **警告**

 **注意**



ヤマハ製電子楽器以外に使用しない。
電源アダプターは、ヤマハ製電子楽器専用です。他の用途には、ご使用にならないでください。故障、発熱、火災などの原因になります。



製品は電源コンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手が届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに製品の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



電源アダプターは、室内専用のため屋外および水滴のかかる環境では、使用しない。また、水の入った物、花瓶などを機器の上に置かない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。

警告

電源 / 電源アダプター



禁止

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源は必ず交流100Vを使用する。エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源アダプターは、必ず指定のもの(96ページ)を使用する。

異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。



必ず実行

電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。

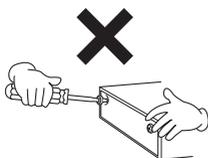
分解禁止



禁止

この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。



水に注意



禁止

本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。

火に注意



禁止

本体の上にもろそくなど火気のあるものを置かない。

もろそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

電池



禁止

電池を分解しない。

電池の中のものに触れたり目に入ったりすると、化学やけどや失明のおそれがあります。



禁止

電池を火の中に入れてない。

破裂するおそれがあります。



禁止

使い切りタイプの電池は、充電しない。

充電すると液漏れや破裂の原因になります。



禁止

電池を金属製のネックレスやヘアピン、コイン、鍵などと一緒に持ち運んだり、保管しない。

電池がショートし、発熱、破裂、火災のおそれがあります。



禁止

指定(96ページ)以外の電池を使用しない。

火災、発熱、液漏れの原因になります。



必ず実行

複数の電池を使う場合、同じメーカーの同じ種類、同じ品番の新しい電池を使用する。

種類やメーカー、品番の異なる電池と一緒に使用したり、新しい電池と古い電池を一緒に使うと、火災、発熱、液漏れの原因になります。



必ず実行

電池はすべて+/-の極性表示どおりに正しく入れる。

正しく入れていない場合、発熱、火災、液漏れのおそれがあります。



必ず実行

長時間使用しない場合や電池を使い切った場合は、電池を本体から抜いておく。

電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。



必ず実行

充電式ニッケル水素電池を使用する場合は、電池の取扱説明書の指示に従う。

電池に付属の取扱説明書をよく読んで、正しくご使用ください。また、充電池の充電は、必ず専用の充電器をご使用ください。専用器以外を使用すると、電池が発熱、液漏れ、破裂するおそれがあります。



禁止

電池は子供の手の届くところに置かない。

お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。



禁止

電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。

失明や化学やけどなどのおそれがあります。万一液が目や口に入ったり皮膚についたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。(電池を使用している場合は、電池を本体から抜く。)

- ・電源コード/プラグがいたんだ場合
- ・製品から異常なおいや煙が出た場合
- ・製品の内部に異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

⚠ 注意

電源 / 電源アダプター



禁止

たこ足配線をしない。

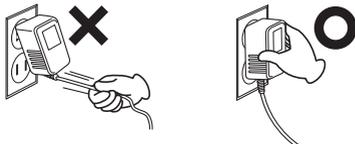
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



必ず実行

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電や火災、故障の原因になることがあります。

設置



禁止

不安定な場所に置かない。

本体が転倒して故障したり、お客様やほかの方々がかげがをしったりする原因になります。



必ず実行

本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

コードをいためたり、お客様やほかの方々か転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

この製品を電源コンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手が届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



必ず実行

指定のスタンドを使用する。また、付属のネジがある場合は必ずそれを使用する。

本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

接続



必ず実行

すべての機器の電源を切った上で、ほかの機器と接続する。また、電源を入れたり切ったりする前に、機器のボリュームを最小にする。

感電、聴力障害または機器の損傷の原因になります。



必ず実行

演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。

聴力障害または機器の損傷の原因になります。

取り扱い



禁止

本体のすき間に手や指を入れない。
お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

パネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。
感電、ショート、火災、故障や動作不良の原因になることがあります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

本体が破損したり、お客様やほかの方々
がけがをしったりする原因になります。



禁止

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。

聴覚障害の原因になります。



- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

[⏻](スタンバイ / オン) スイッチを切った状態 (画面表示が消えている) でも微電流が流れています。[⏻](スタンバイ / オン) スイッチが切れているときの消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

使用済みの電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

機種名 (品番)、製造番号 (シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

製造番号

(bottom_ja_02)

注記(ご使用上の注意)

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

■ 製品の取り扱いに関する注意

- テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。iPad、iPhone、iPod touchのアプリケーションと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるためiPad、iPhone、iPod touchの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。
- 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります(5℃~40℃の範囲で動作することを確認しています)。
- 本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。

■ 製品のお手入れに関する注意

- 手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、アルコール、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。

■ データの保存に関する注意

- この楽器の一部のデータ(46ページ)は自動的に保存され、電源を切っても消えません。ただし保存されたデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータは、USBフラッシュメモリー/コンピューターなどの外部機器に保存してください(69ページ)。USBフラッシュメモリーを使う前には、必ず67ページをお読みください。
- 保存したUSBフラッシュメモリーの万一の事故に備えて、大切なデータは予備のUSBフラッシュメモリー/コンピューターなどの外部機器にバックアップとして保存されることをおすすめします。

お知らせ

■ データの著作権に関するお願い

- ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- この製品に内蔵または同梱されたコンテンツは、ヤマハ(株)が著作権を有する、またはヤマハ(株)が第三者から使用許諾を受けている著作物です。製品に内蔵または同梱されたコンテンツそのものを取り出し、もしくは酷似した形態で記録/録音して配布することについては、著作権法等に基づき、許されていません。
 - ※ 上記コンテンツとは、コンピュータープログラム、伴奏スタイルデータ、MIDIデータ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどを含みます。
 - ※ 上記コンテンツを使用して音楽制作や演奏を行ない、それらを録音や配布することについては、ヤマハ(株)の許諾は必要ありません。

■ 製品に搭載されている機能/データに関するお知らせ

- 内蔵曲やヤマハウェブサイトダウンロードできる曲データは、曲の長さやイメージが原曲と異なる場合があります。

■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- iPhone、iPad、iPod touch、macOSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iOSは、米国およびその他の国におけるCisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

この製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

対応フォーマットと機能



GMシステムレベル1

メーカーや機種が異なった音源でも、ほぼ同じ系統の音色で演奏が再現されることを目的に設けられた、音源の音色配列やMIDI機能に関する音源フォーマットです。



XGライト

ヤマハの高品位な音源フォーマットである「XG」の簡易(ライト)版です。「XG」のソングデータを「XGlite」マークの付いた音源を使って手軽に再生して楽しむことができます。ただし、「XGlite」ではコントロールできるパラメーターやエフェクトなどに一部制限がありますので、「XG」のソングデータが元のデータと異なって聞こえる場合があります。



USB

コンピューターと周辺機器を接続するためのシリアルインターフェースです。



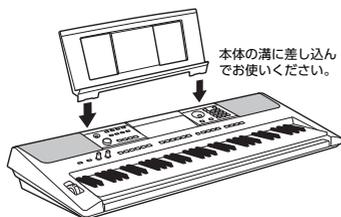
スタイルファイルフォーマット(SFF)

スタイルファイルフォーマット(SFF)とは、ヤマハの自動伴奏機能のノウハウを集大成した、伴奏スタイルに関するフォーマットです。

付属品(お確かめください)

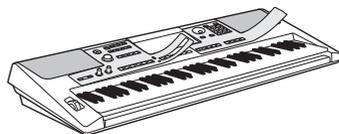
- 取扱説明書(本書)
- 和文シート
- 譜面立て
- 電源アダプター
- 保証書
- 製品ユーザー登録のご案内

譜面立ての取り付け方



和文シート

和文シートをパネルにのせてご利用ください。和文シートは粘着式になっていますので、パネル面に貼り付けることもできます。



取扱説明書について

この楽器には、以下の説明書が用意されています。

■冊子マニュアル



取扱説明書(本書)

- ・準備：最初にお読みください。
- ・基本：楽器の基本的な機能の使い方と操作を説明しています。
- ・応用：楽器の詳細な機能の使い方と操作を説明しています。
- ・資料：仕様や楽器リストなどの資料を掲載しています。

■電子マニュアル(PDF形式)



MIDIリファレンス

この楽器のMIDIに関する資料を掲載しています。



MIDI入門

MIDIについての基礎知識を説明しています。



コンピューターとつなぐ

この楽器とコンピューターを接続する方法や、データを送受信する方法などを説明しています。



iPhone/iPad接続マニュアル

この楽器をiPhoneやiPadなどのスマートデバイスと接続する方法を説明しています。

これらのマニュアルは、下記ウェブサイトの「取扱説明書」のページからご覧いただけます。

サポート・お問い合わせ <https://jp.yamaha.com/support/>

ソングブック/ソングデータのダウンロード

ヤマハウェブサイトの製品ページの「ダウンロード」タブから、ソングブックとソングデータを無料でダウンロードできます。ぜひダウンロードいただき、この楽器を演奏するときにご活用ください。

<https://jp.yamaha.com/kbd/>



ソングブック

この楽器に内蔵されているソング(一部を除く)とヤマハウェブサイトでダウンロードできるソングの楽譜が掲載されています。



ソングデータ

この楽器で再生できるソングが70曲あります。

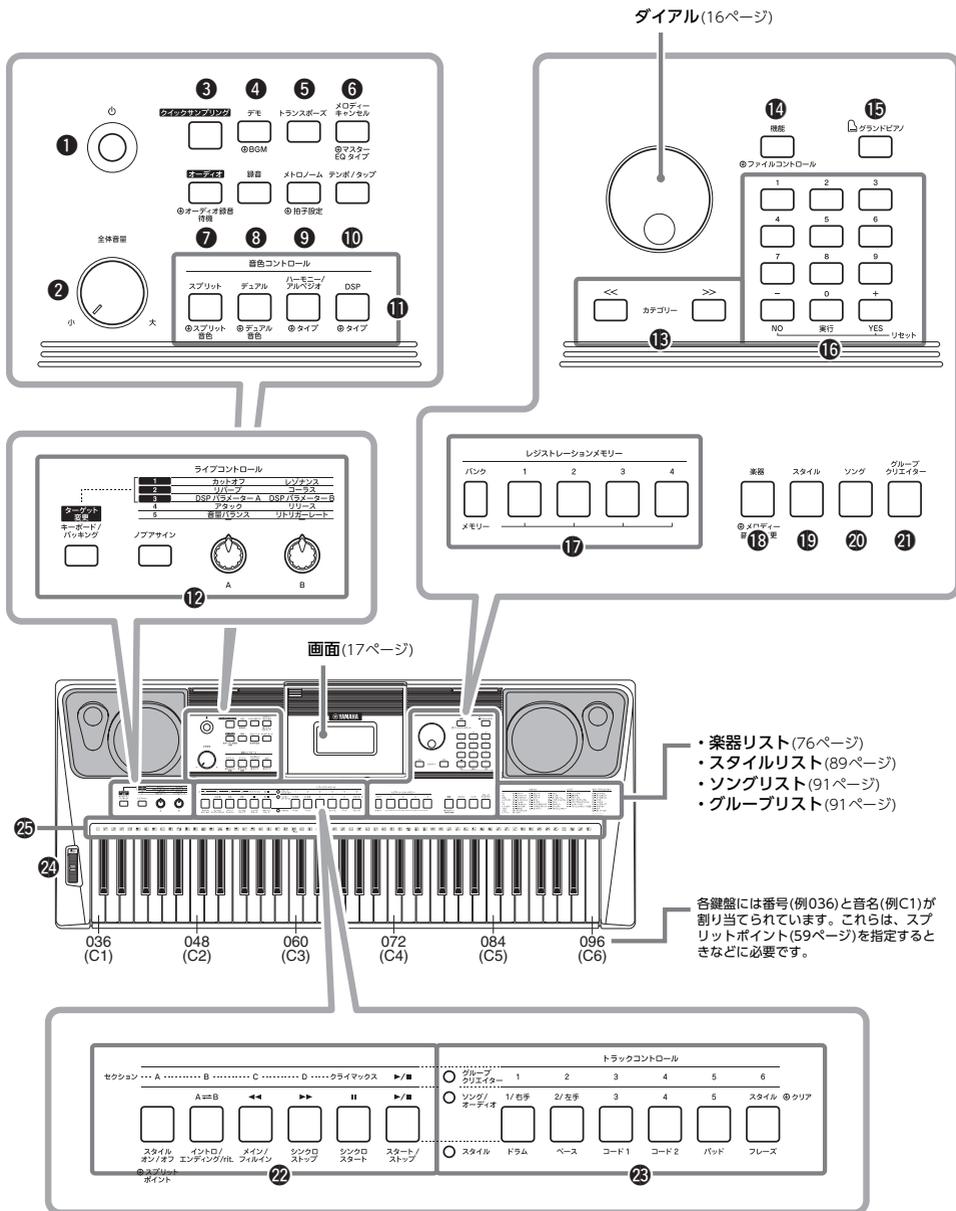
NOTE

- ・ダウンロードしたソングデータは、楽器の内部メモリーへ転送するか、USBフラッシュメモリーに保存して楽器に接続することで再生できます(25ページ)。

各部の名称

■フロント(正面)パネル

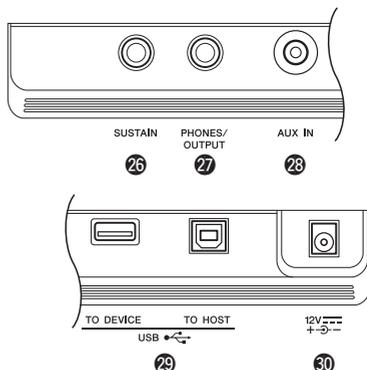
準備



- ① [⏻](スタンバイ/オン)スイッチ 15ページ
- ② [全体音量]
(MASTER VOLUME)コントロール 15ページ
- ③ [クイックサンプリング]
(QUICK SAMPLING) ボタン 29ページ
- ④ [デモ](DEMO) ボタン 26ページ
- ⑤ [トランスポーズ](TRANPOSE) ボタン 48ページ
- ⑥ [メロディーキャンセル]
(MELODY SUPPRESSOR) ボタン 44ページ
- ⑦ [オーディオ](AUDIO) ボタン 39ページ
- ⑧ [録音](REC) ボタン 36ページ
- ⑨ [メトロノーム](METRONOME) ボタン 19ページ
- ⑩ [テンポ/タップ](TEMPO/TAP) ボタン 58ページ
- ⑪ 音色コントロール(VOICE CONTROL)
[スプリット](SPLIT) ボタン 19ページ
[デュアル](DUAL) ボタン 18ページ
[ハーモニー/アルペジオ]
(HARMONY/ARPEGGIO) ボタン 20ページ
[DSP] ボタン 22ページ
- ⑫ ライブコントロール(LIVE CONTROL)
[ノブアサイン](KNOB ASSIGN) ボタン 23ページ
[A]、[B] ノブ 23ページ
[ターゲット変更](TARGET) ボタン 22ページ
- ⑬ カテゴリ (CATEGORY) ボタン 16ページ
- ⑭ [機能](FUNCTION) ボタン 63ページ
- ⑮ [グランドピアノ]
(PORTABLE GRAND) ボタン 18ページ
- ⑯ 数字ボタン[1]~[9]、[-/NO]、
[0]/実行(EXECUTE)、[+ /YES] 16ページ
- ⑰ レジストレーションメモリー (REGISTRATION
MEMORY)
[バンク/メモリー](BANK/MEMORY)
ボタン 42ページ
[1]~[4] ボタン 42ページ
- ⑱ [楽器](VOICE) ボタン 18ページ
- ⑲ [スタイル](STYLE) ボタン 24ページ
- ⑳ [ソング](SONG) ボタン 26ページ
- ㉑ [グループクリエイター]
(GROOVE CREATOR) ボタン 28ページ
- ㉒ グループクリエイター (GROOVE CREATOR)/
ソング/オーディオ (SONG/AUDIO)/
スタイル(STYLE) コントロールボタン群
• [グループクリエイター](GROOVE CREATOR) ラ
ンプがオンの場合 28、58ページ
• [ソング/オーディオ](SONG/AUDIO) ランプがオ
ンの場合 26ページ
• [スタイル](STYLE) ランプがオンの場合
..... 56、57ページ
- ㉓ トラックコントロール(TRACK CONTROL) ボタン群
• [グループクリエイター](GROOVE CREATOR) ラ
ンプがオンの場合 28ページ
• [ソング/オーディオ](SONG/AUDIO) ランプがオ
ンの場合 27ページ
• [スタイル](STYLE) ランプがオンの場合 57ページ
- ㉔ [PITCH BEND](ピッチベンド)ホイール 48ページ

- ㉕ ドラムキット用イラスト群 18ページ
スタンダードキット1(82ページ)を選んだときに、各鍵盤に
割り当てられる打楽器のイラストです。

■リア(背面)パネル



- ㉕ [SUSTAIN] 端子 43ページ
- ㉖ [PHONES/OUTPUT] 端子 43ページ
- ㉗ [AUX IN] 端子 44ページ
- ㉘ [USB TO DEVICE] 端子 67ページ
- ㉙ [USB TO HOST] 端子 45ページ
- ㉚ DC IN 端子 14ページ

パネル設定

この楽器では、パネルにあるボタンを使ってボイスやスタイルの選択、チューニングなどさまざまな設定ができます。これらパネル上のボタンを使って行なった設定を「パネル設定」と呼びます。

ご使用前の準備

電源の準備

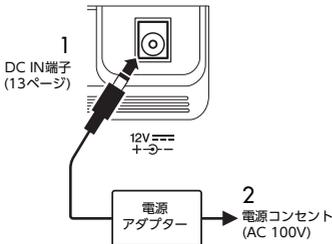
この楽器の電源には、電源アダプターか電池を使用できますが、環境に配慮して、電源アダプターのご使用をおすすめします。

注記

- USBフラッシュメモリーに対する操作を行なう場合は、電源アダプターをご使用ください。電池を使用すると、操作中に電源が切れてデータを失うおそれがあります。

電源アダプターを使うときは

図の順序で電源アダプターを接続します。

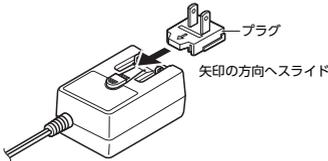


警告

- 電源アダプターは、必ず指定のもの(96ページ)をご使用ください。異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねることがございますので、十分にご注意ください。

警告

- プラグが外れるタイプの電源アダプターは、必ずプラグを装着した状態で使用、または保管してください。プラグ部分だけをコンセントに差し込むと、感電や火災の原因になります。
- プラグが外れた場合は、内部に金属部分に触れないよう注意して、カチッと音がするまで完全に差し込んでください。また異物が入らないようにご注意ください。感電やショート、故障の原因になります。



注意

- 本体はコンセントの近くに設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

NOTE

- 電源アダプターを外すときは、電源を切ってから、逆の手順で行なってください。

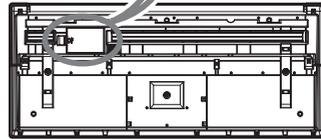
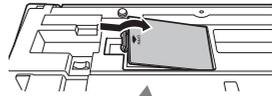
電池を使うときは

この楽器は、単3形のアルカリ乾電池、マンガン乾電池、および充電式ニッケル水素電池(充電電池)を使用できますが、使い方により大きな電力を消費する場合がありますので、アルカリ乾電池または充電電池のご使用をおすすめします。

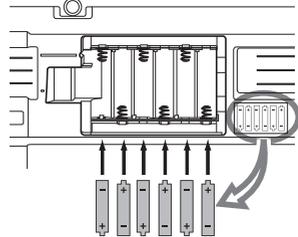
注記

- 充電電池をお使いの場合は、必ず充電電池の説明書をお読みください。

- 1 電源が切れていることを確認してください。
- 2 本体を柔らかい布などの上で裏返し、電池カバーを外します。



- 3 電池6本を入れます。イラストにに合わせて、向きを間違えないように入れてください。



- 4 電池カバーを閉めます。

注記

- 電池がセットされ電源が入っているときに、電源アダプターを抜き差しすると、電源が切れることがあります。電源が切れると録音中や転送中のデータが失われますので、ご注意ください。
- お使いの電池の種類に合わせて、本体の設定を切り替えてください(15ページ)。
- 電池はお早めにお取りかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、音量が小さくなったり、音質が劣化したり、また正常に動かなくなることがあります。このような場合は、すべての乾電池を交換するか、充電電池を充電してください。

NOTE

- 充電電池は、必ず専用の充電器で充電してください。この楽器では、充電できません。
- 電池が本体に入っている状態で、アダプターを本体に差し込むと、アダプターから電源が供給されます。

■電池の種類を設定する

お使いの電池の種類に合わせて、本体の設定(アルカリ乾電池またはニッケル水素充電式乾電池)を切り替えてください。設定は電源を入れてから変更します。初期設定は、アルカリ乾電池です。設定の確認、変更について詳しくは66ページ(機能番号064)をご覧ください。

注記

- 電池の種類の設定を間違えると、電池の劣化を早めたり、電池の使用可能時間が短くなります。正しい設定でお使いください。

■電源の状況を確認する

電源を入れると、電源が電源アダプターと電池のどちらから供給されているか、画面に表示されます。電池の場合は、残量を確認できます。

どちらか一方のみ表示



- [-]: 電源が電源アダプターから供給されています。
- [■]: 電源が電池から供給されています。

NOTE

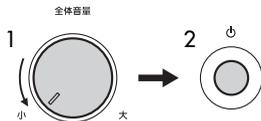
- 電源アダプターが接続されている場合は、電池がセットされていても電源はアダプターから供給されます。電池アイコンは表示されません。

電池の残量表示

	電池残量がありません。電源が切れます。
	電池残量が少なくなっています。充電の場合は早めの充電を、乾電池の場合は早めの交換をおすすめします。電池残量が少なくなると、音量が小さくなったり音質が劣化したり、また正常に動かなくなることがあります。
	電池の残量が十分にあります。

電源を入れる/切る

- [全体音量](MASTER VOLUME)コントロールを左に回し、音量を最小にします。



- [⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。
- 電源を切るには、[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを1秒ほど押しします。

⚠ 注意

- 電源を切った状態でも微電流が流れています。この楽器を長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。また、電池を使用している場合は、電池を本体から抜いてください。

注記

- 電源を入れるときは、[⏻](スタンバイ/オン)スイッチ以外には操作(鍵盤やボタンを押す、ペダルを踏むなど)しないでください。楽器が誤動作する原因になります。

オートパワーオフ機能

この楽器は、電源の切り忘れによる無駄な電力消費を防ぐため、オートパワーオフ機能を搭載しています。これは、本体が一定時間操作されないと自動的に電源が切れる機能です。電源が切れるまでの時間は、初期設定では30分ですが、変更することもできます(66ページ、機能番号063)。

■オートパワーオフ機能の簡単解除

左端の鍵盤を押したまま電源を入れると、オートパワーオフ機能が解除された状態で電源がオンになります。



注記

- アンプ、スピーカー、コンピューターなどの外部機器を本体に接続した状態で、一定時間本体を操作しない場合は、外部機器損傷を防ぐために取扱説明書の手順に従って外部機器と本体の電源を切ってください。接続した状態で自動的に電源が切れるのを避けたい場合は、オートパワーオフを解除してください。

NOTE

- オートパワーオフ機能により電源が切れても、それまでのデータは自動的に保存されます。保存される内容については、46ページをご覧ください。

音量(マスターボリューム)を調節する

鍵盤を弾いて音を出しながら、[全体音量](MASTER VOLUME)コントロールを左右に回して、全体音量を調節します。



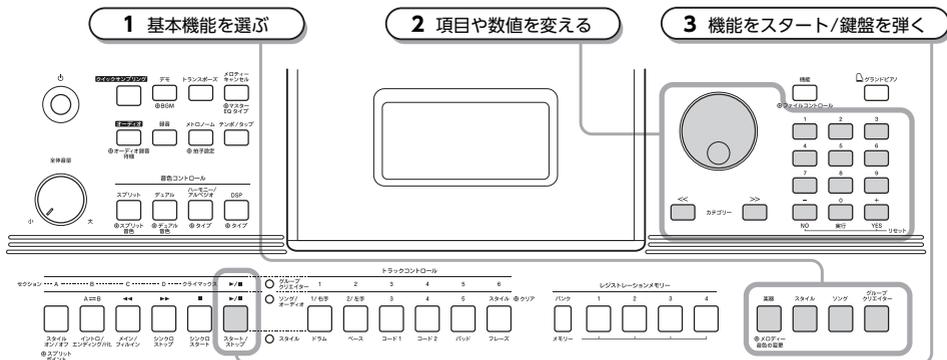
⚠ 注意

- 大きな音量で長時間使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

基本操作と画面表示

基本操作

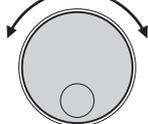
この楽器の基本機能は楽器音(ボイス)、スタイル、ソング、グループクリエイターの4つです。基本機能を選んでから、さまざまな設定を行ないます。



ダイヤル

右(時計回り)に回すと大きな番号に、左に回すと小さな番号になります。

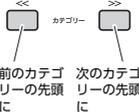
小さな番号 大きな番号



※本書では、項目を選んだり、数値を変更したりするのに、ダイヤルによる操作で説明しています。ダイヤルで変更できるものは、ほとんどの場合、[+ /YES]、[- /NO]や数字ボタンでも変えられます。

カテゴリボタン[<<], [>>]

ボタンを押すごとに、楽器音やスタイル、ソング、グループなどの各カテゴリーの先頭が選ばれます。

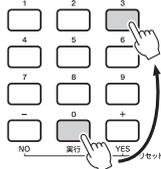


[機能](FUNCTION)ボタンを押すと、カテゴリボタンを押すたびに、設定できる項目が順番に変わります。

数字ボタン[0]~[9]

楽器音などの番号や項目の設定値を、直接数値で入力できます。

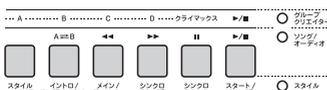
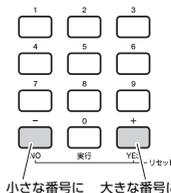
例) [003 プライツピアノ] を選ぶ場合



数字ボタンの[0]、[0]、[3]を押します

[+ /YES]、[- /NO]ボタン

[+ /YES]ボタンを1回押すと、ひとつ大きな番号に、[- /NO]ボタンを1回押すと、ひとつ小さな番号になります。押し続けると連続して変わります。[+ /YES]ボタンと[- /NO]ボタンを同時に押すと、初期設定に戻せます。



1で選んだ基本機能がソングのときはボタンのすぐ上、グループクリエイターのときはそのさらに上、スタイルのときはボタンの下に印刷された機能が使えます。



ボタンを「長く押し」マークについて

このマークの付いたボタンを1秒以上押し続けると、そこに書かれた別機能に移ります。

画面表示について

画面には、楽器音、スタイル、ソング、グループクリエイターなど、いろいろな設定状態が表示されます。

電源表示

電源アダプター、電池のどちらから電源をとっているかを示します(15ページ)。



USB表示

USBフラッシュメモリーが接続されているとき表示されます(68ページ)。

USB

音符表示

押した鍵盤を表示します。

NOTE

- 1音でもオクターブ上の音が存在する場合は五線譜の上に「8va」が、オクターブ下の音が存在する場合は五線譜の下に「8va」が表示されます。
- 表示の制約により、和音の一部が表示されない場合があります。



モード表示

AUDIO

USBフラッシュメモリーを使って再生、録音をする「オーディオモード」であることを示します。(39、40ページ)

SAMPLING

外部機器からの音をサンプリングする「サンプリングモード」であることを示します。(29ページ)

サンプルゾーン表示

サンプルゾーン(29ページ)にサンプルが登録されているときに表示します。登録されているサンプルがグループありのときは、(S)が表示されます。



機能表示

それぞれの機能がオンのとき表示されます。

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| SPLIT | スプリット
(19ページ) |
| DUAL | デュアル
(18ページ) |
| HARMONY | ハーモニー
(20ページ) |
| ARPEGGIO | アルペジオ
(20ページ) |
| TOUCH | タッチレスポンス
(49ページ) |
| DSP | DSP (22ページ) |
| SCALE | スケール
(50ページ) |
| MELODY SUPPRESSOR | メロディーキャンセル
(44ページ) |
| ACMP ON | スタイル(自動伴奏)
(24ページ) |
| SYNC STOP | シンクロストップ
(57ページ) |

ビート表示

ソング/スタイル/グループのビート(拍)が、矢印で点滅表示されます(26ページ)。



ノブアサイン表示

ノブに割り当てられた機能の番号と、機能の対象を示します(23ページ)。



機能および小節表示

【機能】(FUNCTION)ボタンを押したときは機能の番号、ソング/スタイル/グループの再生中は小節番号が表示されます。



コード表示

自動伴奏鍵域(24ページ)で押さえたコード名や、ソングで再生中のコード名が表示されます。



トラック表示

ソング/スタイル/グループのトラックのオン/オフ状態を示します(27、28、36、57ページ)。

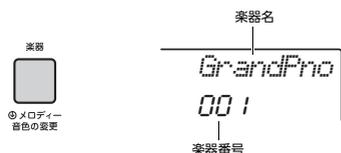


いろいろな楽器音(ボイス)で弾いてみよう

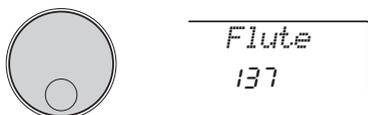
この楽器では、鍵盤の音をピアノ以外の楽器音(ボイス)に変えられます。また、ひとつの楽器音(メインボイス)を鳴らすだけでなく、もう1つ別の楽器音(デュアルボイス)を重ねて鳴らしたり、鍵盤を左右に分けて左手で右手とは違う楽器音(スプリットボイス)を弾いたりできます。

楽器音(メインボイス)を選ぶ

- [楽器](VOICE) ボタンを押します。
楽器音の番号と名前が表示されます。
楽器音の一覧については、76ページをご覧ください。



- ダイヤルを回して、鳴らしたい楽器音を選びます。



- 鍵盤を弾いてみましょう。



楽器音の特徴

001~237	いろいろな楽器の音です。
238~261 (ドラム/SFX キット)	ドラムや打楽器などの楽器音や、効果音などが鍵盤に割り振られています。鍵盤への割り振りについては、82ページのドラム/SFXキットをご覧ください。
262~301	アルペジオ演奏(20ページ)が楽しめる楽器音です。この楽器音を選ぶと、自動的にアルペジオがオンになります。
302~758	ヤマハの高品位な音源フォーマットである「XG」の簡易(ライト)版の音です(10ページ)。
759	サンプリングしたデータを鳴らします(29ページ)。
000	選ばれているソング、スタイルまたはグループに最適な楽器音やパネル設定が自動的に選ばれます。これをワンタッチセッティング機能(OTS)といいます(48ページ)。

グランドピアノの音で弾く

[いろいろな設定をリセットしたい]「とにかくピアノの音で弾きたい」というときは、[グランドピアノ](PORTABLE GRAND) ボタンを押しましょう。



全鍵盤の楽器音が、001グランドピアノになります。

楽器音(デュアルボイス)を重ねて弾く

メインボイスに重ねて、もう1つ別の楽器音を鳴らせます。

- [デュアル](DUAL) ボタンを押してデュアルをオンにします。



- もう一度[デュアル](DUAL) ボタンを押すとデュアルはオフになります。

デュアルボイスは、現在のメインボイスに最適なものが自動的に選ばれますが、自分で選ぶこともできます(52ページ)。

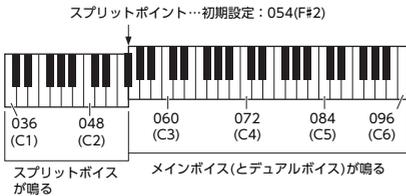
左手で右手とは違う楽器音(スプリットボイス)を弾く

鍵盤全体を2つの領域に分けて、右手と左手で違う楽器音を鳴らせます。

- 1 [スプリット](SPLIT)ボタンを押してスプリットをオンにします。



鍵盤がスプリットポイントを境に、左右に分割されます。右側の鍵盤でメインボイスとデュアルボイスを、左側の鍵盤でスプリットボイスを鳴らします。



スプリットボイス(52ページ)や、スプリットポイント(59ページ)は自由に変更できます。

- 2 もう一度[スプリット](SPLIT)ボタンを押すとスプリットはオフになります。

メトロノームを使う

ピアノ曲を練習するときなどに、メトロノームを使います。

- 1 [メトロノーム](METRONOME)ボタンを押します。



カチカチと鳴ります。

- 2 もう一度[メトロノーム](METRONOME)ボタンを押すと止まります。

テンポを調節する

メトロノームだけでなく、スタイルやソング、グループのテンポもこの方法で調節できます。

- 1 [テンポ/タップ](TEMPO/TAP)ボタンを押して、「Tempo」を表示させます。画面に現在のテンポが表示されます。

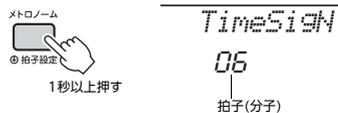


- 2 ダイアルを回してテンポを調節します。

拍子を設定する

初期設定から変更できます。ここでは例として、6/8に設定する手順を紹介します。

- 1 [メトロノーム](METRONOME)ボタンを1秒以上押して、「TimeSigN」を表示させます。画面にメトロノームの拍子が表示されます。



2 ダイアルを回して、拍子の数を選びます。

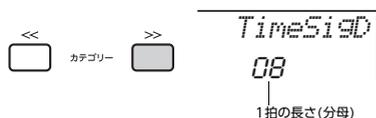
1拍目に「チーン」となり、それ以外の拍では「カチ」と鳴ります。拍子を00に設定した場合は、「チーン」と鳴らずにすべての拍で「カチ」と鳴ります。この例では「06」を選びましょう。

NOTE

- スタイルやソング、グループの再生中は拍子を設定できません。

3 カテゴリーボタン[>>]を1回押して、「TimeSigD」を表示させます。

画面に1拍の長さ(音符)が表示されます。



4 ダイアルを回して、2、4、8、16分音符の中から音符を選びます。

この例では「08」を選びましょう。

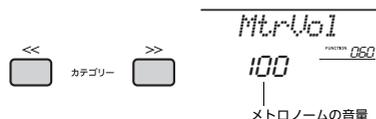
5 メトロノームを鳴らして確認してみましょう。

メトロノームの音量を設定する

1 [機能](FUNCTION)ボタンを押します。



2 「MtrVol」(機能番号060)が画面に表示されるまでカテゴリーボタン[<<][>>]を何度か押しします。



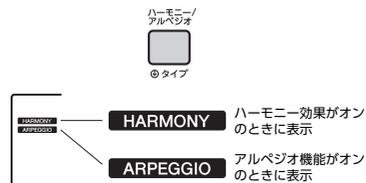
3 ダイアルを回して、音量を設定します。

ハーモニー効果をつける/アルペジオ機能を使う

鍵盤で弾いた音に、ハーモニーやトレモロ、エコーなどのハーモニー効果をつけたり、自動で分散音を弾けるアルペジオ機能を使ったりすることができます。効果や機能については、92ページのハーモニータイプリスト/アルペジオリストをご覧ください。

1 [ハーモニー/アルペジオ](HARMONY/ARPEGGIO)ボタンを押します。

画面にハーモニーアイコンまたはアルペジオアイコンが表示され、ハーモニー効果またはアルペジオ機能がオンになります。



ハーモニー効果またはアルペジオ機能をオンにすると、現在のメインボイスに最適なハーモニータイプまたはアルペジオタイプのどちらかが自動的に選ばれます。機能設定でハーモニータイプ/アルペジオタイプを変更できます(65ページ)。

2 鍵盤を弾いて、ハーモニー効果やアルペジオ機能を確認してみましょう。

ハーモニー効果はハーモニータイプによって鳴らし方が異なります。次のページの「タイプ別鳴らし方」やハーモニータイプリストを参考に弾いてみましょう。アルペジオ機能は、押さえる鍵盤の数や位置を変えると、生成される分散音も変わります。

3 ハーモニー効果/アルペジオ機能がオフにするときは、もう一度[ハーモニー/アルペジオ](HARMONY/ARPEGGIO)ボタンを押します。

NOTE

- アルペジオ機能は、スプリット(19ページ)がオンのときはスプリットボイスにのみ、スプリットがオフのときはメインボイスとデュアルボイスにかかります。スプリットボイスとメイン/デュアルボイスが同時にはかかりません。
- 楽器番号292~301の楽器音は、アルペジオ機能だけでなく、スプリット機能も自動的にオンになります。この場合、アルペジオはスプリットボイスのみに有効なので、スプリットポイントより左側の鍵盤を押さえてください。
- フットスイッチにアルペジオのホールド機能を割り当てることで(53ページ)、鍵盤から手を離してもアルペジオを鳴らし続けられます。

タイプ別鳴らし方

- ハーモニータイプ01～05



スタイル(ACMP)をオン(24ページ)にして自動伴奏
鍵域でコードを弾きながら右手鍵盤を弾く

- ハーモニータイプ06～12(トリル)



鍵盤を2つ押さえ続ける

- ハーモニータイプ13～19(トレモロ)



鍵盤を押さえ続ける

- ハーモニータイプ20～26(エコー)



鍵盤を弾く

ハーモニータイプ/アルペジオタイプを変える

- 1 [ハーモニー/アルペジオ](HARMONY/ARPEGGIO)ボタンを1秒以上押します。

[Harm/Arp] (機能番号041)が表示されたあと、現在のハーモニータイプ/アルペジオタイプが画面に表示されます。



- 2 ダialを回して、好きなハーモニータイプ/アルペジオタイプを選びます。

NOTE

- 001～026がハーモニータイプ、027～176がアルペジオタイプです。ハーモニータイプ/アルペジオタイプの一覧は、92、92ページをご覧ください。
- 143以降のアルペジオタイプを演奏するときは、メインボイスとしてドラムキット(楽器番号238～261)を選んでください。

ハーモニー音量を調節する

ハーモニー音量の調節は、機能設定(65ページ、機能番号042)で行ないます。

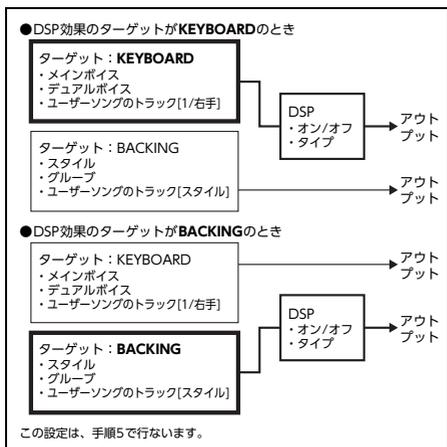
アルペジオの音量(ベロシティ)を調節する

アルペジオの音量(ベロシティ)は、機能設定(65ページ、機能番号043)で行ないます。

DSP効果をかける

DSP(デジタルシグナルプロセッサ)は音にデジタル信号処理を施して、変化を付ける効果です。DSP効果は、下図のように指定したターゲットのみかけることができます。

DSP効果がかかるパート



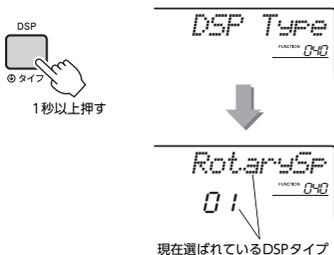
1 [DSP]ボタンを押してDSPをオンにします。



DSPをオンにすると、現在のパネル設定に最適なDSPタイプ(94ページ)が自動的に選ばれますが、自分で選ぶこともできます。

2 [DSP]ボタンを1秒以上押して、「DSP Type」(機能番号040)を表示させます。

数秒後、現在のDSPタイプが表示されます。



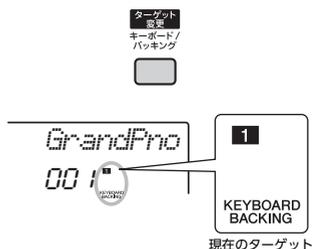
3 ダialを回して、好きなDSPタイプを選びます。

DSPタイプの説明については、92ページのエフェクトタイプリストをご覧ください。

4 [ノブアサイン](KNOB ASSIGN)ボタンを押して、**3**を選びます。

5 [ターゲット変更](TARGET)ボタンを押して、コントロールする対象(ターゲット)を選びます。

ターゲットがKEYBOARDのときはメインボイス/デュアルボイス/ユーザーソング(トラック1のみ)に、BACKINGのときはスタイル/グループ/ユーザーソング(トラックAのみ)に効果がかかります。



6 もう一度[DSP]ボタンを押すとDSPはオフになります。

ソング録音/再生時の制限

- ・DSP効果を録音できるのは、トラック[1/右手]とトラック[スタイル]のみです。
- ・DSP効果のオン/オフはソングに録音されません。
- ・DSPタイプとターゲットは、録音中には変更できません。
- ・録音済みのユーザーソングに録音する場合、録音するトラックとDSP効果をかけるターゲットが異なると、DSPの設定(タイプ、ターゲット、パラメーターA/B)は、上書きされません。
- ・ユーザーソングを再生しているとき、演奏音にDSP効果を感じるようにはかからない場合があります。これは、ユーザーソングに録音された演奏情報によって、DSP効果のかかり方が変わるためです。

ノブを回して自分だけの音を作ろう

2つのノブを回すことで、演奏音にさまざまな効果をかけ、まったく印象の違う音を鳴らせます。ノブの上に印刷されている、あらかじめ決められた機能の組み合わせを選んでから、ノブを回してみましょう。

ノブに機能を割り当てる

[ノブアサイン](KNOB ASSIGN) ボタンを押すたびに、2つのノブに割り当てられる機能が**1**→**2**→**3**→**4**→**5**→**1**…の順番で切り替わります。今日の機能が割り当てられているかは、画面上で確認できます。

ライブコントロール	
1	カットオフ レゾナンス
2	リバーブ/コーラス
3	DSP パラメーターA DSP パラメーターB
4	アタック/リリース
5	音量バランス リトリガーレート

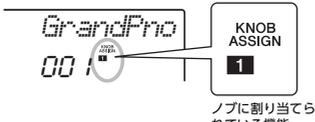
ノブアサイン



A



B



ノブに割り当てられている機能

下表のとおり、機能ごとに対象が異なります。

機能	機能する対象
1 カットオフ/レゾナンス	メインボイス、デュアルボイス、スタイル、グループ
2 リバーブ/コーラス	
3 DSP	メインボイス、デュアルボイス、スタイル、グループ、ユーザーソング
4 アタック/リリース	メインボイス、デュアルボイス
5 音量バランス/リトリガーレート	ノブA: 外部からのオーディオ入力音と、スタイル、グループ、ソング ノブB: グループ

ノブの機能について詳しくは、54ページをご覧ください。

NOTE

- 割り当てる機能を変えただけでは、ノブの位置が中央でなくとも、演奏音に変化はつきません。ノブを回して初めて設定値の変化が反映されます。
- パネル設定やノブの動かし方によっては、ノブを回しても効果がわかりにくかったり、ノイズが出たりなど、正しく動作しない場合があります

コントロールする対象(ターゲット)を切り替える

[ターゲット変更](TARGET) ボタンを押して、ノブでコントロールするターゲットを切り替えます。今日のターゲットを対象としているかは、画面上で確認できます。

- **KEYBOARD**: メインボイス/デュアルボイス/ユーザーソング(機能3のみ)
- **BACKING**: スタイル/グループ/ユーザーソング(機能3のみ)

NOTE

- 機能によってはターゲットが切り替えられません。
- ターゲットは機能ごとに記憶されます。

ノブを使う

ここでは、ノブの使い方の一例を紹介します。その他のおすすめの使い方については55ページをご覧ください。

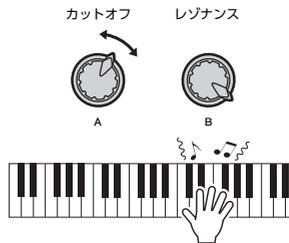
1 鍵盤で鳴らす楽器音を選びます(18ページ)。

ここでは、楽器番号156 SquareLd(矩形波リード)を選びましょう。

2 [ノブアサイン](KNOB ASSIGN)ボタンを何回か押して、画面に**1**を表示させます。

3 [ターゲット変更](TARGET)ボタンを押して、効果のかかる対象(ターゲット)をKEYBOARDにします。

4 ノブBを最大まで回したあと、ノブAを左手で回しながら、右手で演奏してみましょう。



注意

- [ノブアサイン](KNOB ASSIGN) ボタンで**1**~**3**を選択したあとに楽器音を変更すると、それまでノブで作った設定はリセットされて、選ばれた楽器音に最適な設定になります。自分で作ったお気に入りの設定を残しておきたい場合は、楽器音を変更する前に、必ずレジストレーションメモリーに保存しておきましょう(42ページ)。

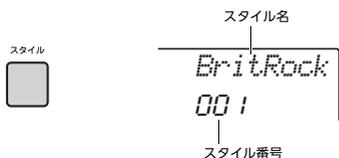
NOTE

- 大きな音量でノブを右に回した場合、音がひずむことがあります。その場合は音量を下げてください。

スタイル(自動伴奏)を鳴らしてみよう

この楽器には、左手でコード(和音)を押さえるだけで、自動的にそのコードにあったスタイル(リズム+ベース音+コード音)を鳴らす、自動伴奏機能があります。この自動伴奏機能を使って演奏してみましょう。

- 1 [スタイル](STYLE)ボタンを押してから、ダイヤルを回して好きなスタイルを選びます。
スタイルの一覧については、89ページをご覧ください。

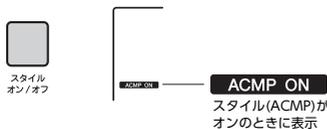


NOTE

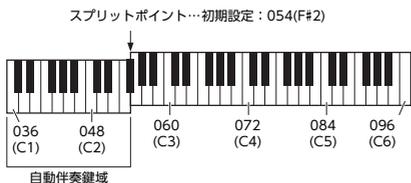
• [カテゴリ] (CATEGORY)の[<<][>>]ボタンを押すと音楽ジャンル単位で選べます。パネル右側のスタイルリストをご覧ください。

スタイル	
001・8ビート	128・ラテン
024・16ビート	161・ワールド
034・バラード	189・ポピュラー
047・ダンス	200・トラディショナル
081・ディスコ	209・ワルツ
089・スイング&ジャズ	218・チルドレン
104・リズム&ブルース	229・ビギン
120・カントリー	238・フラッシュメモリ

- 2 [スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF)ボタンを押して、スタイル(ACMP)をオンにします。



これにより、スプリットポイントより左側の鍵盤が、和音(コード)だけを認識する「自動伴奏鍵域」になります。また、スタイル再生時に、リズムだけでなくベース音とコード音も鳴るようになります。



スプリットポイントは自由に変更できます(59ページ)。

- 3 [シンクロスタート](SYNC START)ボタンを押して、シンクロスタートをオンにします。



これにより、自動伴奏鍵域の鍵盤を弾くと同時にスタイルがスタートする状態になります。

- 4 自動伴奏鍵域でコードを弾き、スタイルをスタートさせます。

左手でいろいろなコードを弾き、右手でメロディーを弾いてみましょう。



NOTE

• コードの弾き方については、60ページをご覧ください。

- 5 [スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押してスタイルをストップします。



スタイルは、セクションを切り替えて演奏に変化を付けられます。56ページをご覧ください。

ソングを鳴らしてみよう(MIDI)

この楽器では、内蔵曲や市販の曲データなどのMIDIデータを総称して「ソング」と呼んでいます。単に再生して楽しむだけでなく、ソングを再生しながら演奏することもできます。

MIDIデータ

鍵盤を押す/離すといった演奏の動きを記録したデータです。楽譜と同じように、どの鍵盤をどのくらいの強さでどのタイミングで弾いた、といった演奏情報が記憶され、音そのものは記録されません。記録された演奏情報にもとづいて、音源部が鳴ることではじめて音になります。鍵盤パートやボイスの情報なども記録されているため、譜面の表示、パートごとのオン/オフ、楽器音(ボイス)の変更ができ、演奏の練習に便利です。

NOTE

- オーディオデータの再生、録音については、39ページをご覧ください。

■ソングカテゴリー

ソングはそれぞれの特徴によってカテゴリー分けされています。

ソング

- | | |
|-------------------|---|
| 001-メイン デモ | この楽器の魅力を満載したデモ曲です。 |
| 004-音色 デモ | おすすめの楽器音をフィーチャーした曲です。 |
| 012-ピアノ ソロ | ピアノのソロ演奏をお楽しみください。 |
| 016-ピアノ アンサンブル | ピアノアンサンブル曲です。ピアノとオーケストラのアンサンブル演奏をお楽しみください。 |
| 021-ピアノ アカンパニメント | 曲ジャンルに合せた伴奏パターンが味わえます。 |
| 031-ユーザーソング | 自分の演奏を録音したソング(ユーザーソング)です(37ページ)。 |
| 041-フラッシュメモリー/USB | フラッシュメモリー：コンピューターから楽器へ転送されたソングです(45ページ)。
USB：USBフラッシュメモリー内のソングです(67ページ)。 |

NOTE

- この楽器には30曲が内蔵されています。このほか、ヤマハウェブサイトからソングをダウンロードして楽しむこともできます。ダウンロード方法は11ページをご覧ください。
- コンピューターから楽器へソングを転送する方法は、電子マニュアル(11ページ)「コンピューターとつなぐ」をご覧ください。通常は、コンピューターから転送したソング、USBフラッシュメモリー内のソングの順に番号が割り当てられます。USBフラッシュメモリーを楽器に接続したまま、コンピューターから楽器にソングを転送すると、転送したソングがUSBソングの前に挿入されます。
- この楽器で再生できるMIDIデータは、1曲あたり250KBまでです。

デモソングを聞く

[デモ](DEMO) ボタンを押します。

ソング番号001～003が順番に演奏され、最後のソングが再生し終わると、また最初のソングに戻ってくり返し再生されます。



ストップしたいときは、もう一度[デモ](DEMO) ボタンまたは[▶/■](スタート/ストップ) ボタンを押します。
[デモ](DEMO) ボタンを1秒以上押しと、BGMの設定ができます(61ページ)。

ソングを選んで聞く

1 [ソング](SONG) ボタンを押してから、ダイヤルを回して好きなソングを選びます。

内蔵ソングの一覧については、91ページをご覧ください。

ユーザーソング、コンピューターから転送したソング、USBフラッシュメモリー内のソングも、同じ方法で選べます。

NOTE

- 選べるソングは004以降です。001から003は[デモ](DEMO) ボタンで選びます。



2 [▶/■](スタート/ストップ) ボタンを押してソングを聞いてみましょう。

もう一度[▶/■](スタート/ストップ) ボタンを押すと、ソングの再生は止まります。



NOTE

- ボルトメントコントロールやスケールチューンデータを使って外部機器で作られたMIDIソングをこの楽器で再生した場合、正しく再現されない場合があります。

NOTE

- USBフラッシュメモリー内のソングやコンピューターから転送したソングの再生音がひずむ場合は、ソング音量(62ページ)をひずまなくなるまで下げてから、全体音量(15ページ)を上げてください。

ソングを早送り、早戻し、一時停止する

[▶▶](早送り) ボタン

再生中に押しと、ソングを早送りします。停止中に押しと小節番号が増えます。



[◀◀](早戻し) ボタン

再生中に押しと、ソングを小節単位で早戻しします。停止中に押しと小節番号が減ります。



[||](一時停止) ボタン

ソングを一時停止します。もう一度押しと、一時停止した位置から再生がスタートします。

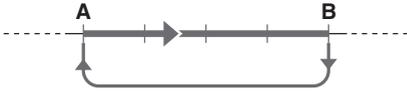


NOTE

- A-Bリピートが設定されている場合、早送りや早戻しはその設定範囲内でのみ可能です。
- [デモ](DEMO) ボタンを使ってソングを鳴らしているときは、[◀◀]、[▶▶]、[||] ボタンは使えません。

ソングの一部をくり返して聞く (A-Bリピート)

ソングのある特定の範囲(A点とB点)を小節単位で指定して、くり返し再生できます。



- 1 ソング再生をスタートします(26ページ)。
- 2 ソングを再生しながら、くり返し再生の開始位置(A点)にしたいポイントで[A⇌B](A-Bリピート)ボタンを押します。

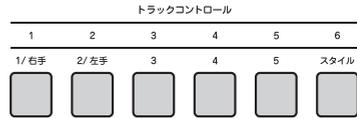
- 3 くり返し再生の終了地点(B点)にしたいポイントに来たら、もう一度[A⇌B](A-Bリピート)ボタンを押します。
これで、A-B間のくり返し再生(リピート再生)が始まります。
- 4 くり返し設定を取り消すには、もう一度[A⇌B](A-Bリピート)ボタンを押します。
再生を停止するには、[▶/■](スタート/ストップ)ボタンを押します。

NOTE

- A点を曲の先頭に指定したい場合は、ソングをスタートする前に[A⇌B](A-Bリピート)ボタンを押して設定します。
- B点を曲の最後に指定したい場合は、A点を指定してから、曲を最後まで再生させます。

ソングのトラックをミュート(消音)する(マイナスイオン)

ソングは、演奏のパートや伴奏などに分かれた複数のトラックが同時に鳴っています。一部のトラックを鳴らさずに自分で弾いたり、特定のトラックだけを鳴らしたりすることができます。トラックをミュートするには、ミュートしたいトラック番号のボタン([1/右手]~[5],[スタイル])を押します。ミュートを解除するには、もう一度同じボタンを押します。



トラックの状態は画面で確認できます。



NOTE

- 複数のボタンを同時に押ししても、ミュート/ミュート解除できるのは2つのトラックまでです。

グループクリエイターで遊ぼう

グループクリエイター機能とは、ヒップホップやハウスなどいろいろなリズムやフレーズ(グループ)をくり返し鳴らし、グループ感のある演奏を作り上げる機能です。グループを鳴らしながら、左手鍵域でキー(調)を変えたり、ノブを回してサウンドを自在にコントロールすれば、かっこよくパフォーマンスができます。

1 [グループクリエイター](GROOVE CREATOR)ボタンを押してから、ダイヤルを回して好きなグループを選びます。スタイル(ACMP)が自動的にオンになり、鍵盤が自動伴奏鍵域(24ページ)とメロディー鍵域に分かれます。



NOTE

- [カテゴリー](CATEGORY)の[<<][>>]ボタンを押すと音楽ジャンル単位で選べます。パネル右側のグループリストをご覧ください。
- グループの一覧は91ページをご覧ください。

グループクリエイター

- 001・エレクトロ
- 005・ダンスポップ
- 010・ユーロダンス
- 013・ハウス
- 019・トランス
- 023・ヒップホップ
- 028・チルアウト
- 027・ダブ
- 029-035 ワールド

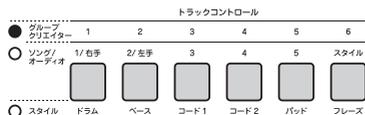
2 [▶/■](スタート/ストップ)ボタンを押してグループをスタートさせます。

左手鍵盤領域(24ページ)の鍵盤を押すことによりスタートすることもできます。



グループを再生しながら以下の操作で、いろいろなサウンドの変化を楽しんでください。

● [トラックコントロール](TRACK CONTROL)ボタンで、各トラックをオン/オフする

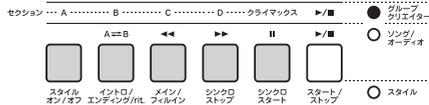


1 2 3 4 5 6 — 画面上(17ページ)でトラックのオン/オフを確認

NOTE

- 複数のボタンを同時に押しても、オン/オフできるのは2つのトラックまでです。

● セクションを切り替える
セクション(SECTION)の[A]~[D]ボタンを自由に押してみましょう。



- [クライマックス](MUSICAL CLIMAX)ボタンを使う
このボタンを押すと、画面に数小節間のマイナスのカウントが表示されます。カウントが進むにつれて曲が盛り上がっていき、カウント0のタイミングでクライマックス(最高潮)に達します。カウント0のタイミングで、他のセクションや他のグループに切り替えることで、ビルドアップ(盛り上げ)として使えます。また、カウント0以降は、数小節の再生の後で停止するので、エンディングとしても使えます。

- リトリガー機能を使う
リトリガー機能とは、再生中グループのセクションの先頭部分をくり返し再生する機能です。58ページをご覧ください。

- キー(調)を変える
自動伴奏鍵域(24ページ)の鍵盤を押します。



- ノブを回してサウンドを変える
[ノブアサイン](KNOB ASSIGN)ボタンを何度か押して、機能を選びます。[ターゲット変更](TARGET)ボタンを押して、画面にBACKINGのアイコンを表示させてから、ノブを自由に回してみよう。23ページをご覧ください。

- 右手鍵域にアルペジオをかける
[ハーモニー/アルペジオ](HARMONY/ARPEGGIO)ボタンを押してオンにして、右手鍵域の鍵盤を押さえます。20ページをご覧ください。

NOTE

- 292~301の楽器音は、アルペジオ機能がスプリットボイスのみに有効なので、スプリットポイントより左側の鍵盤を押さえると、アルペジオがかかりません。ただし、同時にグループのキーも変わります。

3 [▶/■](スタート/ストップ)ボタンを押してグループをストップします。

クイックサンプリングで遊ぼう

この楽器にはサンプリングできる機能「クイックサンプリング」が搭載されています。

コンピューターやスマートフォン、携帯音楽プレーヤーなどの外部オーディオ機器の再生音を[AUX IN]端子に入力し、サンプリングして、鍵盤に登録して使うことができます。

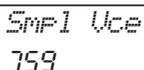
サンプリング

曲や音源のごく一部を録音し、演奏に使用できるようにすることです。通常のオーディオ録音と異なり、メロディーの演奏に使ったり、ループさせてリズムパターンのように使ったり、効果音のように使ったりすることができます。

サンプルを鳴らしてみよう

この楽器には初期設定でもサンプル(サンプリングしたデータ)が入っています。まずは鳴らして遊んでみましょう。

- 1 [楽器](VOICE) ボタンを押します。
- 2 ダイヤルを回して、楽器音(メインボイス)に楽器番号759の「Smpl Vce」を選びます。

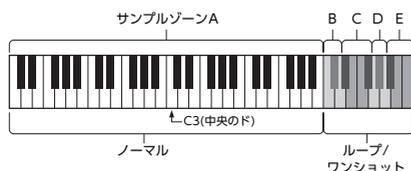


Smpl Vce
759

- 3 鍵盤を押すと、サンプルゾーン(鍵盤の領域)ごとに初期設定のサンプルが鳴ります。

サンプルゾーン

この楽器の鍵盤は、5つのサンプルゾーンに区切られています。1つのゾーンにつき1つのサンプルが登録されます。



サンプリングタイプ

初期設定では、サンプルゾーンAにはノーマル、BとCにはループ、DとEにはワンショットが登録されています。自分でサンプリングする場合は、サンプルゾーンB～Eでは、ループかワンショットを選べます。

●ノーマル

押した鍵盤の音の高さに応じて、音の高さが変わるサンプルです。標準の音の高さはC3(中央のド)です。

●ループ

音の高さを変えずにくり返し鳴らすサンプルです。白鍵を押すと、押した長さ分のサンプルが鳴ります。黒鍵を押すと、くり返し再生されます。止めるときは、同じサンプルゾーンの黒鍵を押します。

サンプルがループありの場合は、画面上の該当するサンプルゾーンに、が表示されます。

●ワンショット

音の高さを変えずに1回だけ鳴らすサンプルです。鍵盤を押した長さ分のサンプルが鳴ります。ワンショットが登録されているサンプルゾーンの白鍵と黒鍵は、同じように鳴ります。

サンプリングの準備をする

1 外部機器と楽器本体の音量を最小にします。

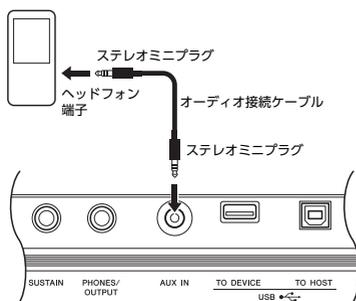
注記

- 外部機器と楽器の音量を最小にしないで接続すると、外部機器の損傷の原因になります。

2 外部機器のヘッドフォン端子と、楽器本体の[AUX IN]端子を、オーディオ接続ケーブルで接続します。

注記

- 外部機器の損傷を防ぐため、オーディオ機器→楽器の順に接続してください。



3 外部機器での再生を開始して、外部機器と楽器本体の音量バランスを調節します。

3-1. 外部機器で再生音の音量を最大にします。

3-2. 楽器本体の[全体音量](MASTER VOLUME)コントロールで楽器から出ている音量を調節します。

NOTE

- 外部機器の音量を最大にしても再生音が小さいときは、機能設定(63ページ)の機能番号004「AuxInVol」で音量を上げてください。ただし、値が初期設定の50を上回ると、音がひずむ場合があります。その場合は、外部機器の音量を下げてください。

サンプリングをする

楽器本体に登録できるサンプルは全部で5つです。楽器本体に登録したサンプルは、USBフラッシュメモリーに保存することもできます(32ページ)。

サンプリングする前に、外部機器の音量が最大になっていることを確認しましょう。外部機器の音量が小さいとサンプリングができません。

注記

- サンプリングすると、サンプルゾーンに登録されているサンプルに上書き保存されます。大切なサンプルは、USBフラッシュメモリーに保存しておきましょう(32ページ)。

NOTE

- サンプルのレートは44.1kHz、16bit、2チャンネルです。
- サンプリングするときにはメトロノーム、メロディーキャンセル機能を使うときは、サンプリングモードに入る前に設定します。

1 [クイックサンプリング](QUICK SAMPLING) ボタンを押してクイックサンプリングモードに入ります。

画面にSAMPLINGのアイコンと「PressKey」が表示されます。



NOTE

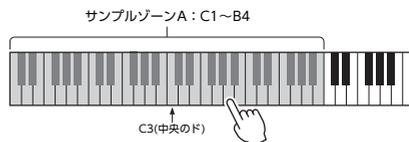
- サンプリングを中止するときは、もう1度[クイックサンプリング](QUICK SAMPLING)ボタンを押してクイックサンプリングモードから抜けてください。

2 サンプルを登録したいサンプルゾーンの鍵盤を押します。

鍵盤を押すと初期設定のサンプル、または前回登録したサンプルが鳴ります。

●サンプリングタイプがノーマルの場合

2-1. サンプルゾーンAの鍵盤のどれか1つを押します。



画面に「PressREC」と表示され、サンプルゾーンのアイコンが点滅したら、手順3に進みます。

●サンプリングタイプがループ/ワンショットの場合

2-1. サンプルゾーンB~Eの中から、登録したいサンプルゾーンの鍵盤のどれか1つを押します。



サンプルゾーンB: C5~D5
 サンプルゾーンC: D#5~F#5
 サンプルゾーンD: G5~A5
 サンプルゾーンE: A#5~C6

2-2. 画面に [Loop?Y/N] と表示されたらループの場合は[+/YES]ボタンを、ワンショットの場合は[-/NO]ボタンを押します。ループのあり/なしは、サンプリングした後に変更することができます。画面に「PressREC」と表示されたら、手順3に進みます。

3 外部機器の再生を、サンプリングしたい音やフレーズの頭の位置で停止します。

4 [録音](REC)ボタンを押してから、外部機器の再生を開始し、サンプリングを開始します。

サンプリング中は画面に「REC」と表示され、選んだサンプルゾーンが点灯します。



注記

- サンプリング中はUSBフラッシュメモリーの抜き挿しをしないでください。動作が不安定になり、サンプリングが正しく行なわれない場合があります。

5 サンプリングしたい音やフレーズの終わりの位置で、タイミングよく外部機器の再生を停止します。

6 [録音](REC)ボタンを押して、サンプリングを終了します。

画面に「Writing!」と表示されたあと、サンプルが楽器本体に保存されます。

NOTE

- 外部機器からの音量が小さいと「LowInput」と表示され、サンプリングできません。外部機器の音量を最大にしたあと、[全体音量](MASTER VOLUME)で楽器から出ている音量を調整して、手順3からやり直します。
- サンプリングできる時間は最大約9.6秒です。制限時間を超えると、サンプリングが自動的に終了し、そこまでのサンプルが保存されます。

7 サンプリングの結果を確認しましょう。

ノーマルはC3(中央のド)を押して、ループ/ワンショットは、登録したサンプルゾーンの鍵盤を押して確認しましょう。ブランクカット機能(66ページ)により、サンプルの前後の空白は自動的にカットされます。

思ったおりにサンプリングされていない場合は、手順2からやり直します。この状態から他のサンプルゾーンに連続してサンプリングできます。手順2から操作してください。

8 [クイックサンプリング](QUICK SAMPLING)ボタンを押して、クイックサンプリングモードを終了します。

9 サンプルで遊んでみましょう。

クイックサンプリングモードを終了すると、自動で楽器音(メインボイス)に楽器番号759の「[Smpl Vce]」が選ばれています。鍵盤を弾いてみましょう。

注記

外部機器の損傷を防ぐため、外部機器は次の手順で取り外してください。

- 楽器本体と外部機器の音量を最小にします。
- オーディオ接続ケーブルを楽器本体→外部機器の順に取り外します。

音を流しながらサンプリングする方法

サンプリングの操作に慣れてきたら、外部機器からの音を流しながら、サンプリングすることもできます。

- 「サンプリングをする」(30ページ)の操作1、2を行いません。
- 外部機器の再生位置を調節します。サンプリングしたい音やフレーズの数小節前の位置で停止すると、タイミングが取りやすくなります。
- 外部機器の再生を開始します。
- タイミングよく[録音](REC)ボタンを押して、サンプリングが開始します。
- タイミングよく[録音](REC)ボタンを押して、サンプリングを終了します。
- 外部機器の再生を止めサンプリングの結果を確認しましょう。

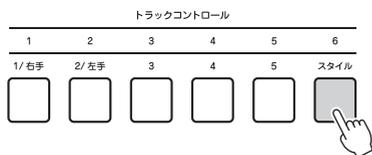
NOTE

- 空白がカットされてしまうときは、ブランクカット機能をオフにします(66ページ)。

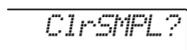
初期設定のサンプルに戻す

自分で登録したサンプルを削除して、初期設定のサンプルに戻すことができます。登録してあるサンプルを保存したい場合は、初期設定のサンプルに戻す前に保存してください。保存方法は、次の項目「サンプルをUSBフラッシュメモリーに保存する」をご覧ください。

- 1 [クイックサンプリング](QUICK SAMPLING) ボタンを押して、クイックサンプリングモードに入ります。
- 2 削除したいサンプルが登録されているサンプルゾーンの鍵盤のどれか1つを押します。
- 3 トラックコントロール(CONTROL TRACK) ボタン群の[スタイル](A)ボタンを1秒以上押します。画面に「ClrSMPL?」と表示されます。



確認画面が表示されます。



- 4 [+ /YES] ボタンを押します。確認の画面が表示されます。キャンセルするときは、[- /NO] ボタンを押します。
- 5 再度 [+ /YES] ボタンを押します。実行中の画面が表示され、サンプルが削除されます。

サンプルをUSBフラッシュメモリーに保存する

重要

- クイックサンプリングモード中の場合は、[クイックサンプリング](QUICK SAMPLING) ボタンを押して、クイックサンプリングモードを終了してから操作します。

- 1 鍵盤を弾いて、保存したいサンプルが登録されているサンプルゾーンを確認します。
1-1. [楽器](VOICE) ボタンを押します。

- 1-2. 楽器音(メインボイス)に楽器番号759の「Sampling」を選びます。
- 1-3. 鍵盤を弾いて確認します。

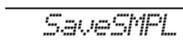
2 USBフラッシュメモリーを[USB TO DEVICE]端子に接続します。

接続については、68ページの「USBフラッシュメモリーを接続する」をご覧ください。

3 [機能](FUNCTION)ボタンを1秒以上押してファイルコントロール画面に入ります。

操作を中断するときは、[機能](FUNCTION)ボタンを押して、ファイルコントロール画面を終了します。

4 カテゴリーボタン[<<|>>]を何度か押して、画面に「SaveSMPL」を表示させます。



5 [0/実行(EXECUTE)]ボタンを押します。

画面に「PressKey」と表示されます。

6 保存したいサンプルが登録されているサンプルゾーンの鍵盤を押します。

7 [+ /YES] [- /NO] ボタンを押して保存したいファイル名を選びます。

- ノーマル/ワンショット：[SMPL001] ~ [SMPL250]
- ループ：[SMPLL001] ~ [SMPLL250]

NOTE

- ファイル名がすでにある場合は、「Overwr?」と表示されます。上書き保存をする場合は [+ /YES] ボタンを、しない場合は [- /NO] ボタンを押してほかのファイル名を選びます。

8 [0/実行(EXECUTE)]ボタンを押します。

画面に「SaveOk?」と表示されます。

9 もう一度[0/実行(EXECUTE)]を押します。

画面に「Saving」と表示され、サンプルが保存されます。

10 [機能](FUNCTION)を押してファイルコントロール画面を抜けます。

USBフラッシュメモリーからサンプルを読み込む

重要

- クイックサンプリングモード中の場合は、[クイックサンプリング](QUICK SAMPLING)ボタンを押して、クイックサンプリングモードを終了してから操作します。

注記

- USBフラッシュメモリーからサンプルを読み込むと、登録したい鍵盤に上書き登録されます。大切なサンプルはあらかじめ保存しておきましょう(32ページ)。

1 USBフラッシュメモリーを[USB TO DEVICE]端子に接続します。

接続については、68ページの「USBフラッシュメモリーを接続する」をご覧ください。

2 [機能](FUNCTION)ボタンを1秒以上押してファイルコントロール画面に入ります。

ファイルコントロール画面に入ります。操作を中断するときは、[機能](FUNCTION)ボタンを押して、ファイルコントロール画面を終了します。

3 カテゴリーボタン[<<][>>]ボタンを何度か押して、「LoadSMPL」を表示させます。

LoadSMPL

4 [0/実行(EXECUTE)]ボタンを押します。

画面に「PressKey」と表示されます。

5 登録したいサンプルゾーンの鍵盤を押します。

サンプルゾーンAに登録できるファイルはループなしで保存したファイルです。

6 [+ / YES][- / NO]ボタンを押して読み込みたいファイル名を選びます。

サンプルゾーンAには、ループありのサンプル(SMPLL001～SMPLL250)は選べません。

7 [0/実行(EXECUTE)]ボタンを押します。

画面に「Load OK?」と表示されます。

8 もう一度[0/実行(EXECUTE)]ボタンまたは[+ / YES]ボタンを押します。

画面に「Loading」と表示され、サンプルが登録されます。

9 [機能](FUNCTION)を押してファイルコントロール画面を抜けます。

10 登録したサンプルで遊んでみましょう。

[楽器](VOICE)ボタンを押して、楽器音(メインボイス)に楽器番号759の「Sampling」を選びます。登録したサンプルゾーンの鍵盤を押すと、登録したサンプルが鳴ります。

USBフラッシュメモリー内のサンプルを消去する

重要

- クイックサンプリングモード中の場合は、[クイックサンプリング](QUICK SAMPLING)ボタンを押して、クイックサンプリングモードを終了してから操作します。

1 USBフラッシュメモリーを[USB TO DEVICE]端子に接続します。

接続については、68ページの「USBフラッシュメモリーを接続する」をご覧ください。

2 [機能](FUNCTION)ボタンを1秒以上押してファイルコントロール画面に入ります。

操作を中断するときは、[機能](FUNCTION)ボタンを押して、ファイルコントロール画面を終了します。

3 カテゴリーボタン[<<][>>]ボタンを何度か押して、「Del SMPL」を表示させます。

Del SMPL

4 [0/実行(EXECUTE)]ボタンを押します。

5 [+ / YES][- / NO]ボタンを押して削除したいファイル名を選びます。

6 [0/実行(EXECUTE)]ボタンを押します。

画面に「Del OK?」と表示されます。

7 もう一度[0/実行(EXECUTE)]ボタンまたは[+ / YES]ボタンを押します。

画面に「Deleting」と表示され、サンプルが削除されます。

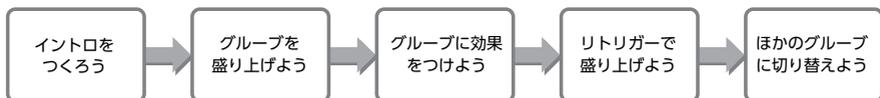
8 [機能](FUNCTION)を押してファイルコントロール画面を抜けます。

ファイルコントロール画面では鍵盤を押しても音がでません。

DJのように遊んでみよう！

グループクリエイターとライブコントロールノブを使って、かっこよくダンスミュージックを鳴らしてみよう。かっこよくパフォーマンスをするにはリズム感が重要になってきます。DJのように体でリズムをとりながらボタンやノブを操作してみましょう。

ここでは、グループ番号001「Elec Dnc」をよりかっこよく鳴らすパフォーマンスの一例を紹介します。

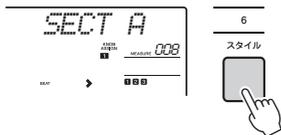


トラックのオン/オフでイントロをつくらう

- 1 [グループクリエイター](GROOVE CREATOR) ボタンを押して、ダイヤルまたは数字ボタンでグループ「001」を選びます。
- 2 トラック[1]、[2]、[3]をオン、[4]、[5]、[6]をオフにして、リズムだけが再生される設定にします。



- 3 セクション[A]ボタンを押して、セクションAが再生されるようにします。
- 4 [▶/■]ボタンを押して、グループの再生をスタートします。
- 5 画面のBEAT表示「▶▶▶▶」の動きを見ながら、MEASUREのカウントが「008」→「001」になるタイミングでトラック[6]をオンにします。



- 6 手順5と同様に、MEASUREのカウントが「008」→「001」になるタイミングで、トラック[4][5]を同時に押してオンにします。トラックを重ねることでグループが盛り上がっていきます。

NOTE

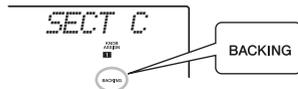
- トラックボタンは2つまで同時に押してオン/オフを切り替えます。

セクションを切り替えてグループを盛り上げよう

- 1 画面のBEAT表示「▶▶▶▶」の動きを見ながら、タイミングよくセクション[B]ボタンを押してセクションを切り替えます。多少タイミングがずれてもリズムに沿ってセクションが切り替わります。
- 2 同じようにセクション[C]や[D]ボタンを押して、曲を盛り上げていきましょう。

ライブコントロールノブでグループに効果をつけよう

- 1 画面を見ながら[ノブアサイン](KNOB ASSIGN) ボタンを何回か押して、■を選びます。
- 2 画面を見ながら[ターゲット変更](TARGET) ボタンを1、2回押して、「BACKING」を選びます。



- 3 ノブBを右いっぱい回してから、ノブAを左いっぱい回します。



- 4 ノブAを徐々に右に回していくと、こもった音色からクリアな音色に変わっていきます。テンポにあわせて回してみましょう。
- 5 リズムに合わせてノブAを回したり戻したりしてみましょう。同じフレーズでも変わった音色で鳴らすことができます。
- 6 同じように[ノブアサイン](KNOB ASSIGN)ボタンで**2**、**3**を選んで使ってみましょう。

2(REVERB/CHORUS)は残響感や音の厚みをコントロールできます。

3(DSP)はロータリースピーカーやディストーションなど10種類の効果をコントロールできます。詳しくは54ページをご覧ください。

NOTE

- 機能切り替え時は、ターゲットが「BACKING」になっていることを確認してください。
- 3**を使う場合は、[DSP]ボタンを押して、DSP効果を選択します。画面に「DSP」と表示されます。

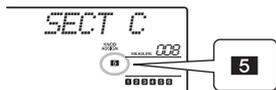


- 割り当てる機能を変えただけでは、ノブの位置が中央でなくとも、演奏音に変化はつきません。ノブを回して初めて設定値の変化が反映されます。

リトリガー機能でさらに盛り上げよう

セクション[C]ボタンを押してセクションを切り替えてみてください。このグループのMEASUREのカウント「005」以降は、ビートの刻みが速くなっているため、グループの盛り上がりを感じられます。リトリガー機能とライブコントロールノブを使って、同じようにリズムの刻みを細かくして、グループを盛り上げましょう。

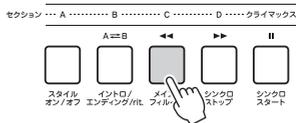
- 1 画面を見ながら[ノブアサイン](KNOB ASSIGN)ボタンを何回か押して、**5**を選びます。



- 2 ノブBを左側に約90°に回します。



- 3 画面のBEAT表示[▶▶▶▶]の動きを見ながら、MEASUREのカウントが「004」→「005」になるタイミングでセクション[C]ボタンを押して、そのまま押し続けます。



- 4 セクションボタン[C]を押したまま、下のイラストを参考に、タイミングよくノブBの角度を変えます。角度に応じてビートの刻みが細かくなっていきます。



- 5 盛り上がったタイミングでセクション[C]ボタンを離して、通常のグループの再生に戻ります。

クライマックスを使ってほかのグループに切り替えよう

- 1 画面のBEAT表示[▶▶▶▶]の動きを見ながら、MEASUREのカウントが「008」→「001」になるタイミングで[クライマックス](MUSICAL CLIMAX)ボタンを押します。マイナスカウントと同時にグループがクライマックスに向かいます。



- 2 MEASUREのカウントが「-01」→「000」になるタイミングに合わせて、数字ボタンでグループ番号をすばやく打ち込み、ほかのグループに切り替えます。エンドレスにグループをつないでいくと、まさにDJのようなパフォーマンスが楽しめます。

NOTE

- 切り替えたいグループの設定をレジストレーションメモリーに登録しておく、ボタン1つで簡単に切り替えることができます(42ページ)。

自分の演奏を録音しよう

自分の演奏を、ユーザーソングとして、10曲まで本体に録音できます。録音されたユーザーソングは、内蔵ソングと同様に再生できます。

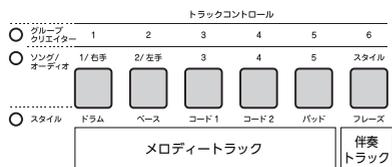
NOTE

- オーディオ録音については39ページをご覧ください。
- この楽器ではオリジナルフォーマットで本体に録音されます。他のMIDI機器やシーケンサーでデータを再生/編集したい場合は、SMF変換してUSBフラッシュメモリーに保存してください(70ページ)。

ソングのトラック構成

ソングは、6つのトラック(パート)に録音できます。トラックを指定せずに録音することもできますが、右手または左手パートだけなど、1トラックずつ録音して1曲に仕上げることもできます。

- **メロディトラック[1/右手]~[5]**
メロディー演奏が録音されます。
- **伴奏トラック[スタイル]**
スタイル演奏のコード進行や、グループのキー変更が録音されます。



- 3 [録音](REC) ボタンを押して録音待機に入ります。ユーザーソング031~040 (User 1~10)の中から、まだ録音されていない最も小さい番号が、録音データの保存先として選ばれます。また、メロディーはトラック[1/右手]が、伴奏(スタイルのコード情報またはグループのキー情報)はトラック[スタイル]が保存先として自動的に選ばれます。あらかじめユーザーソングを選んでいた場合は、そのトラック[1/右手]、トラック[スタイル]に、録音データが上書きされます。



NOTE

- [録音](REC) ボタンを押したあとは、スタイル(ACMP)のオン/オフはできません。

録音待機状態から抜きたいときは、[録音](REC) ボタンをもう一度押します。

4 録音を始め、演奏しましょう。

- 手順2で[ソング](SONG) ボタンを押した場合は、どの鍵盤を押しても録音が始まります。
- 手順2で[スタイル](STYLE) ボタンを押した場合は、自動伴奏鍵域でコードを指定すると録音およびスタイル再生が始まります。[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押すとリズムだけが再生され、鍵盤を押すと録音が始まります。
- 手順2で[グループクリエイター](GROOVE CREATOR) ボタンを押した場合は、自動伴奏鍵域でキーを指定する、または[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押すと、録音およびグループの再生が始まります。



録音中は現在の小節番号が画面に表示されます。

本体メモリーに録音する

ここでは、楽器本体のメモリーにトラックを指定せずに録音する方法を説明します。新しいソングを録音する場合によいでしょう。

1 メインボイス選択など、必要なパネル設定を行いません。

2 録音したい演奏の設定をします。

- メロディー演奏だけを録音したい場合は、[ソング](SONG) ボタンを押します。
- スタイルを使った演奏を録音したい場合は、[スタイル](STYLE) ボタンを押します。
- グループを使った演奏を録音したい場合は、[グループクリエイター](GROOVE CREATOR) ボタンを押します。

5 [▶/■](スタート/ストップ)ボタンを押すか、[録音](REC)ボタンを押して、録音をストップします。

スタイルやグループクリエイターを使った演奏をしていた場合は、[イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.)、[クライマックス](M.Climax) ボタンを押してスタイルやグループの再生が終了するのを待って、自動的に録音を終了することもできます。



録音が終わると、「[Writing!]」と表示され、データが保存されます。保存が終わると、録音したトラック番号が表示されます。

注記

- [Writing!] 表示中に電源を切ったり、電源アダプターを抜き差ししないでください。データが失われます。

6 録音された演奏を聞くには、[▶/■](スタート/ストップ)ボタンを押します。

NOTE

- リトリガーを使ったグループを録音した場合、録音されたソングの再生と、画面上のビート表示やメトロノーム/アルペジオ再生とは同期しません。
- サンプリング音色を使って録音した場合、ユーザーソングにはサンプリング音色以外の演奏情報が録音されます。再生するときは、あらかじめ録音したときと同じサンプルを鍵盤に登録します。
- サンプリング音色を再生しているときに、早戻し/早送りをするると、再生音が録音時とは異なる場合があります。

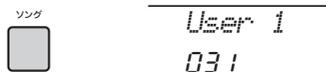
録音中の制限事項

- スタイル(ACMP)のオン/オフは切り替えられません。
- スタイル再生とグループ再生の切替はできません。
- グループ番号は切替できますが、スタイル番号は切替できません。
- スタイル/グループの録音時、リバーブタイプ、コーラスタイプ、拍子およびスタイル/グループボリュームを変更することはできません。
- スプリットボイスを使った演奏は録音できません。
- 外部からのオーディオ入力音(接続したコンピューターまたはオーディオ機器での再生音)は録音されません。
- サンプルを使った演奏はトラック1にのみ録音できます。

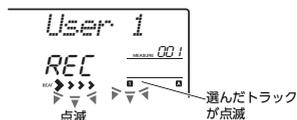
ユーザーソングのトラックに録音する

ここでは、トラックを指定して録音する方法を説明します。録音済みのソングに演奏を追加したり、録音済みの一部のトラックだけ録音し直したりしたい場合などに便利です。

1 [ソング](SONG)ボタンを押し、録音したいユーザーソング031~040 (User 1~10)を選びます。

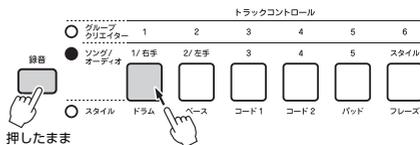


2 [録音](REC)ボタンを押したまま、録音するトラックを選ぶことで、録音待機状態に入ります。



●メロディー演奏だけを録音したい場合

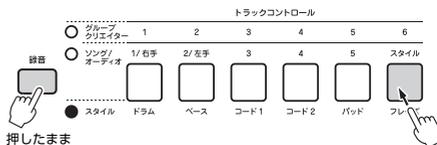
[録音](REC)ボタンを押したまま、録音したいトラックボタン[1/右手]~[5]のどれかを押します。



●スタイル演奏だけを録音したい場合

[スタイル](STYLE)ボタンを押して、スタイルを選びます。

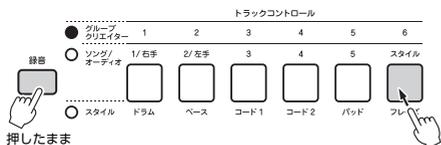
[録音](REC)ボタンを押したまま、トラックボタン[スタイル](A)を押します。スタイル(ACMP)が自動的にオンになります。



●グループだけを録音したい場合

[グループクリエイター](GROOVE CREATOR)ボタンを押して、グループを選びます。スタイル(ACMP)が自動的にオンになります。

[録音](REC)ボタンを押したまま、トラックボタン[スタイル](A)を押します。



押したまま

3 [録音する](36ページ)の手順4~6と同じです。

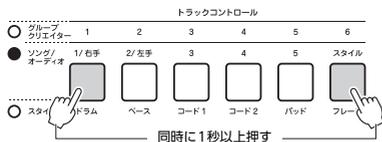
NOTE

・録音中にメモリーがいっぱいになった場合は、メッセージが表示され、録音が終了します。クリア機能(下記)により空きメモリーを増やしたあとで、録音をやり直してください。

ユーザーソングを消去する (ソングクリア)

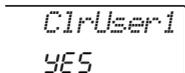
録音済みのユーザーソングを1曲すべて(全トラック)を消去します。

- 1 [ソング](SONG)ボタンを押し、消去したいユーザーソング031~040 (User 1~10)を選びます。
- 2 [1/右手]ボタンと[スタイル]ボタンを同時に1秒以上押します。



同時に1秒以上押す

確認の画面が表示されます。

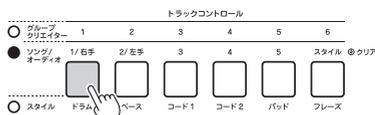


- 3 [+ /YES]ボタンを押します。確認の画面が表示されます。キャンセルするときは、[- /NO]ボタンを押します。
- 4 もう一度 [+ /YES]ボタンを押すと、消去が実行されます。実行中の画面が表示され、ソングが消去されます。

特定のトラックを消去する (トラッククリア)

録音済みのユーザーソングの1つのトラックを選んで、そのトラックのデータだけを消去します。

- 1 [ソング](SONG)ボタンを押し、消去したいユーザーソング031~040 (User 1~10)を選びます。
- 2 消去したいトラックのボタン([1/右手]~[5]、[スタイル])を1秒以上押します。



1秒以上押す

確認の画面が表示されます。



- 3 [+ /YES]ボタンを押します。確認の画面が表示されます。キャンセルするときは、[- /NO]ボタンを押します。
- 4 もう一度 [+ /YES]ボタンを押すと、消去が実行されます。実行中の画面が表示され、指定したトラックのデータが消去されます。

オーディオファイルの再生や録音をする

この楽器は、USBフラッシュメモリー内のオーディオファイルを再生したり、自分の演奏をオーディオファイルとして録音したりできます。録音したオーディオファイルはUSBフラッシュメモリーに保存されます。

オーディオファイル

演奏した音そのものを記録したデータです。ボイスレコーダーなどを使って録音するのと同じくみで記録したものです。携帯音楽プレーヤーなどでも再生できるので、ほかの人に自分の演奏を聞いてもらうことができます。

【NOTE】

- 再生および録音できるオーディオファイルのフォーマットは、WAV形式(44.1kHz、16bit、2チャンネルステレオ)です。

USBフラッシュメモリーのオーディオファイルを再生する

オーディオモードでは、USBフラッシュメモリーに入っているオーディオファイルを再生できます。

オーディオモード中は一部の操作が制限されます。オーディオファイルの再生・録音をしないときは、オーディオモードを終了しましょう。

注記

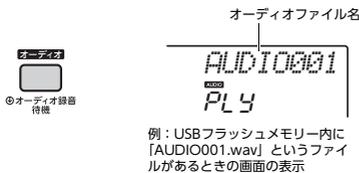
- 再生中はUSBフラッシュメモリーを抜いたり、楽器の電源を切ったりしないでください。USBフラッシュメモリー内のデータが壊れるおそれがあります。

1 USBフラッシュメモリーを[USB TO DEVICE]端子に接続します。

接続については、68ページの「USBフラッシュメモリーを接続する」をご覧ください。

2 [オーディオ](AUDIO)ボタンを押して、オーディオモードに入ります。

画面にAUDIOアイコンと「PLY」の文字、オーディオファイルの名前が表示されます。



【NOTE】

- オーディオモードから抜きたいときは、[オーディオ](AUDIO)ボタンをもう一度押します。

3 ダイヤルを回して好きなオーディオファイルを選びます。

カテゴリーボタン[<<][>>]、[+ / YES][- / NO]ボタンでも選べます。[+ / YES][- / NO]を同時に押すと1曲目のオーディオファイルが選ばれます。

4 [▶/■](スタート/ストップ)ボタンを押して、オーディオファイルの再生をスタートします。

再生中は画面に再生時間が表示されます。再生を止めるときは、もう一度[▶/■](スタート/ストップ)ボタンを押します。

【NOTE】

- オーディオの再生は次のことはできません。
 - ボイス変更
 - A-Bリピート
 - マイナスイワン
 - テンポ変更

5 [オーディオ]ボタンを押して、オーディオモードを終了します。

メッセージ一覧

メッセージ	内容
No USB	USBフラッシュメモリーが接続されていません。
no file	USBフラッシュメモリーにオーディオファイルが入っていません。
Err Load	オーディオファイルのフォーマットがこの楽器に対応していないため、読み込めません。
USB Err	USBフラッシュメモリーに不具合があるときに表示されます。 <ul style="list-style-type: none">USBフラッシュメモリーが動作確認済みのものか、ヤマハウェブサイト「USBデバイス動作確認済みリスト」にてご確認ください。USBフラッシュメモリーをフォーマットしてください。

USBフラッシュメモリーにオーディオファイルを録音する

オーディオモードでは、演奏をオーディオファイルとしてUSBフラッシュメモリーに録音できます。

重要

- この機能を使うときには、電源アダプターをご使用ください。

注記

• 録音中はUSBフラッシュメモリーを抜いたり、楽器の電源を切ったりしないでください。USBフラッシュメモリー内のデータが壊れるおそれがあります。

1 USBフラッシュメモリーを[USB TO DEVICE]端子に接続します。

接続については、68ページの「USBフラッシュメモリーを接続する」をご覧ください。

2 録音したい演奏の設定を行ないます。

機能によって録音できるものが異なります。

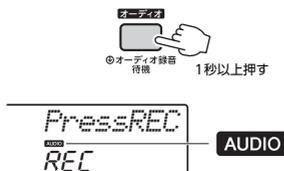
- **スタイル選択時：**
スタイル、鍵盤演奏、[AUX IN]端子からの入力
- **ソング選択時：**
鍵盤演奏、[AUX IN]端子からの入力
- **グループクリエイター選択時：**
グループ、鍵盤演奏、[AUX IN]端子からの入力

NOTE

- メトロノーム音、ソング、[USB TO HOST]端子からのオーディオ入力音は録音できません。

3 [オーディオ](AUDIO)ボタンを1秒以上押して、オーディオモード(録音待機状態)に入ります。

画面にAUDIOアイコンと「PressREC」の文字が表示されます。



NOTE

- この状態から抜きたいときは、[オーディオ](AUDIO)ボタンをもう一度押します。

4 [録音](REC)ボタンを押して録音します。

録音中は画面に録音時間が表示されます。録音時間は、最長80分またはUSBフラッシュメモリーの容量がいっぱいになるまでです。スタイルやグループを録音したい場合、[▶/■](スタート/ストップ)ボタンでスタイルまたはグループの再生/停止をさせます。

5 [録音](REC)ボタンを押して録音をストップします。

「[Writing!]>」と表示され、データが保存されます。保存が終わると「[Complet.]」が表示され、録音したオーディオファイル名が「[AUDIO***]」(***は数字)と表示されます。

注記

- 「[Writing!]>」表示中に電源を切ったり、電源アダプターを抜き差ししないでください。データが失われます。

6 [▶/■]ボタンを押して録音したファイルを確認してみましょう。

7 [オーディオ]ボタンを押して、オーディオモードを終了します。

メッセージ一覧

メッセージ	内容
No USB	USBフラッシュメモリーが接続されていません。
UseAdpt	電池で駆動しています。電源アダプターを接続してください。
File Ful	USBフラッシュメモリーに保存できるファイル数の上限を超えています。不要なファイルを削除するか、別のUSBフラッシュメモリーにしてください。
Unformat	USBフラッシュメモリーがフォーマットされていません。フォーマットしてください(69ページ)。
Protect	USBフラッシュメモリーがプロテクトされています。
Time Up	録音時間が80分を超えました。録音が停止し、オーディオファイルが作成されます。
Disk Ful	USBフラッシュメモリーの容量がなくなりました。録音が停止し、オーディオファイルが作成されます。
USB Err	USBフラッシュメモリーに不具合があるときに表示されます。 • USBフラッシュメモリーが動作確認済みのものか、ヤマハウェブサイト「[USBデバイス動作確認済みリスト]」にてご確認ください。 • USBフラッシュメモリーをフォーマットしてください。

USBフラッシュメモリーのオーディオファイルを消去する

- 1 USBフラッシュメモリーを[USB TO DEVICE]端子に接続します。

接続すると画面の左上にUSBアイコンが表示されます。

- 2 [機能](FUNCTION)ボタンを1秒以上押し、ファイルコントロール画面に入ります。
オーディオモードに入っているときは、[オーディオ](AUDIO)ボタンを押して、オーディオモードを抜けてから操作します。



- 3 カテゴリーボタン[<<][>>]を何度か押して、[DelAUDIO]を表示させます。



- 4 [0/実行(EXECUTE)]ボタンを押します。
USBフラッシュメモリー内のオーディオファイルが「AUDIO***」(***は数字)と表示されます。ダイヤルを回すか、[+/YES][-/NO]ボタンを押して削除したいファイルを選びます。



- 5 [0/実行(EXECUTE)]ボタンを押します。
削除の実行を確認するメッセージが表示されます。
削除を中止する場合は、[-/NO]ボタンを押します。

- 6 [0/実行(EXECUTE)]ボタンまたは[+/YES]ボタンを押して、削除を実行します。
削除が完了すると、画面にメッセージが表示されます。

注記

- ファイル削除中はキャンセルできません。絶対に電源を切ったり、USBフラッシュメモリーを抜いたりしないでください。データ損失の原因になります。

- 7 [機能](FUNCTION)ボタンを押して、ファイルコントロール画面を抜けます。

好みの設定を記憶させよう(レジストレーションメモリー)

レジストレーションメモリーは、ボイスやスタイルなど、本体の設定をボタンに登録し、演奏中でもワンタッチで呼び出せる機能です。4つのレジストレーションメモリーボタンに登録した設定は、まとめて1つのバンクとして保存します。



32種類(8/バンク×4)の設定を記録できる

設定をレジストレーションメモリーに記録する

- 1 本体の設定(楽器音、スタイル、グループなど)を、記録させたい状態にします。

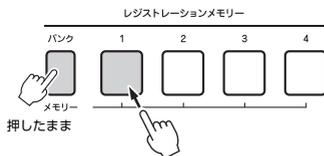
NOTE

・ソング再生中は、レジストレーションメモリーへの記録はできません。

- 2 レジストレーションメモリー(REGISTRATION MEMORY)[バンク/メモリー](BANK/MEMORY)ボタンを押して、バンク番号を表示させます。



- 3 ダイヤルや数字ボタン[1]～[8]で、バンク番号(1～8)を選びます。
- 4 [バンク/メモリー](BANK/MEMORY)ボタンを押したまま、[1]～[4]ボタンを押します。



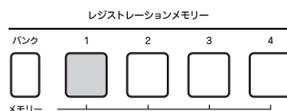
画面に「Mem OK」と表示され、楽器の設定が自動的に記録されます。その後、楽器の電源を切ったときに本体に書き込まれます。

注記

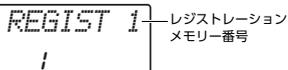
- ・すでにデータが記録されているレジストレーションメモリーを選択すると、データが上書きされ、以前のデータは消えてしまいます。
- ・サンプルは記録されません。USBフラッシュメモリーに保存します(32ページ)。

記録した設定を呼び出す

- 1 [バンク/メモリー](BANK/MEMORY)ボタンを押して、バンク番号を表示させます。
- 2 ダイヤルや数字ボタン[1]～[8]で、バンク番号(1～8)を選びます。
- 3 レジストレーションメモリー(REGISTRATION MEMORY)[1]～[4]ボタンを押します。



呼び出されたレジストレーションメモリーの番号が、数秒間表示されます。これで希望するパネル設定が呼び出されました。



NOTE

- ・[ソング](SONG)ランプ点灯時は、スタイルやグループの設定を記憶させたレジストレーションメモリーボタンを押しても、設定が呼び出されません。このような場合は、[スタイル](STYLE)または[グループクリエイター](GROOVE CREATOR)ボタンを押したあと、レジストレーションメモリーボタンを押して、スタイルやグループの設定を呼び出してください。

レジストレーションメモリーに記録できる設定内容

- スタイル設定**: スタイル番号、スタイル オン/オフ、スタイル音量、トラックオン/オフ、メインセクションA/B、テンポ
- グループ設定**: グループ番号、グループ音量、セクション、トラックオン/オフ、テンポ
- 楽器音**
 - ・メインボイス: 楽器番号、および機能設定(64ページ)の全項目
 - ・デュアルボイス: オン/オフ、および機能設定の全項目
 - ・スプリットボイス: オン/オフ、および機能設定の全項目
- エフェクト**: リバーブタイプ、コーラスタイプ
- ハーモニー /アルペジオ**: オン/オフ、および機能設定の全項目
- DSP**: オン/オフ、DSPタイプ、ノブのパラメーター A/Bの値
- その他**: トランスポーズ、ピッチベンドレンジ、ノブアサイン、ターゲット、スプリットポイント、スケールチューン

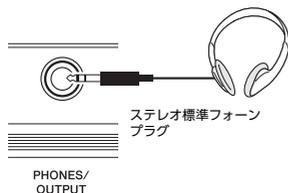
外部機器と接続する

⚠ 注意

- 外部機器と接続するときは、すべての機器の電源を切った上で行ってください。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器の音量を最小にしてください。感電または機器の損傷の原因になります。

別売のヘッドホン/外部スピーカーを使う

ヘッドフォンを[PHONES/OUTPUT]端子に接続します。[PHONES/OUTPUT]端子は外部出力端子にもなります。アンプ内蔵スピーカー、コンピューター、キーボードアンプ、レコーダーなどの入力端子に接続すれば、この楽器のオーディオ音声を外部機器で鳴らすことができます。ヘッドフォンや外部機器を接続すると、自動的にこの楽器のスピーカーからは音が出なくなります。



⚠ 注意

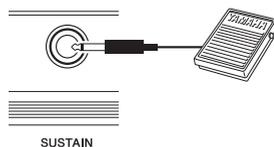
- 大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

注記

- 楽器本体の音を外部機器に出力するときは、最初に楽器本体、次に外部機器の順に電源を入れてください。電源を切るときはこの逆の順で行ってください。機器の損傷の原因になります。

ペダルを使う (サステイン)

別売のフットスイッチ(FC5またはFC4A)を[SUSTAIN]端子に接続すると、ピアノのペダルと同様、フットスイッチを踏んでいる間、鍵盤から指を離しても音を長く響かせることができます。



NOTE

- フットスイッチのプラグの抜き差しは、電源を切った状態で行ってください。また、フットスイッチを踏んだまま電源を入れないでください。フットスイッチのオン/オフが逆になります。
- スプリットボイス(19ページ)にはフットスイッチは効きません。
- 楽器音(ボイス)によって、フットスイッチを踏んでいる間に鍵盤から手を離すと、音が減衰して徐々に消えていくものと、音が持続して消えないものがあります。

基

本

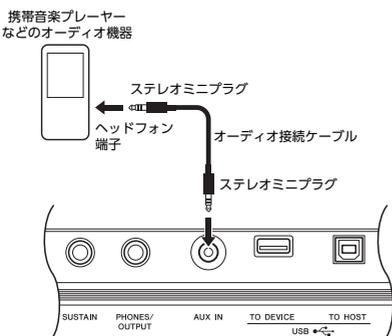
オーディオ機器の音をこの楽器で鳴らす

楽器の[AUX IN]端子に、携帯音楽プレーヤーなどのオーディオ機器を接続すれば、楽器本体のスピーカーからオーディオ機器の再生音を鳴らし、再生に合わせて鍵盤を弾くことができます。

注記

- 外部機器の損傷を防ぐため、電源を入れるときは、外部機器→この楽器の順に、電源を切るときは、この楽器→外部機器の順に行なってください。

1 オーディオ機器のヘッドフォン端子と楽器本体の[AUX IN]端子をオーディオ接続ケーブルで接続します。



NOTE

- コンピューターやiPhone/iPadなどのスマートデバイスをお使いの場合は、[USB TO HOST]端子に接続することもできます(次の項目参照)。

2 オーディオ機器、楽器本体の順に電源を入れます。

3 オーディオ機器での再生をスタートします。

オーディオ機器の再生音が楽器本体のスピーカーで鳴ります。

4 オーディオ機器と楽器本体の音量バランスを調整します。

オーディオ機器でオーディオ再生音の音量を調整し、楽器本体の[全体音量](MASTER VOLUME)コントロールで全体音量を調節します。

NOTE

- 外部からのオーディオ入力音の音量と、ソング/スタイル/グループの音量のバランスを調節したい場合は、[ノブアサイン](KNOB ASSIGN)ボタンを押して機能5を選んでから、ノブAを回します(55ページ)。
- また、機能設定(63ページ、機能番号004)で[AUX IN]端子からのオーディオ入力音の音量を調節することもできます。ただし、初期設定の50を上回る値にすると、音がひびく場合があります。

5 オーディオ再生音に合わせて鍵盤を弾いてみましょう。

NOTE

- オーディオ再生音のメロディー部分をキャンセル(小さく)できます。「メロディーパートの音を小さくする(メロディーキャンセル)」の手順をご覧ください。

6 演奏が終わったら、オーディオ機器での再生を停止します。

メロディーパートの音を小さくする(メロディーキャンセル)

[AUX IN]端子や[USB TO HOST]端子に接続した外部オーディオ機器やコンピューターでのオーディオ再生音をこの楽器で鳴らしている場合、メロディーパートの音をキャンセル(小さく)できます。オーディオ再生に合わせて、メロディーパートを自分で演奏したいときなどに便利です。

1 接続した外部機器で、オーディオ再生をスタートします。

2 [メロディーキャンセル](MELODY SUPPRESSOR)ボタンを押して、メロディーキャンセルをオンにします。



NOTE

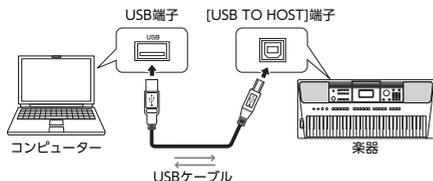
- メロディーキャンセルをオンにしても、楽曲によってはメロディーの音が消えにくいことがあります。その場合、機能設定(65ページ、機能番号039)でキャンセルする(小さくする)音の位置を調節してみてください。
- [USB TO HOST]端子に接続してオーディオ再生音を鳴らす場合、オーディオループバック(66ページ、機能番号056)がオフのときは、メロディーキャンセル機能は使えません。

3 メロディーキャンセルをオフにするには、もう一度[メロディーキャンセル](MELODY SUPPRESSOR)ボタンを押します。

コンピューターやスマートデバイスと使う

楽器とコンピューターやスマートデバイスと接続すると、1本のUSBケーブルでさまざまな機能を使えるようになります。高音質でのデータのやりとりができたり、スマートデバイスアプリを利用できたり、楽器でできることの幅が広がります。

接続方法についての詳細は、電子マニュアル(11ページ)「コンピューターとつなぐ」または「iPhone/iPad接続マニュアル」をご覧ください。



注記

- USB ケーブルを使って接続する場合は、AB タイプのものをご使用ください。また、3メートル未満のケーブルをご使用ください。USB3.0 ケーブルは、使用できません。
- DAW(Digital Audio Workstation)などの音楽制作アプリケーションと一緒に使用する場合、設定によっては大きな音が発生することがあるため、オーディオループバック(66ページ)をオフにご使用ください。

NOTE

- Windows搭載のコンピューターで使用する場合は、Yamaha Steinberg USB Driverをコンピューターにインストールする必要があります。詳しくは、電子マニュアル「コンピューターとつなぐ」をご覧ください。

演奏情報(MIDIデータ)の送受信でできること

演奏情報(MIDIデータ)を送受信すると、一例として次のことができます。

- **MIDIデータの曲を再生できる**
ヤマハウェブサイトでデータを購入することができます。
- **楽器の演奏をMIDIデータとして録音できる**
MIDIデータは音楽制作ソフトで音色や音の高さなどが編集できます。
- **ソフト音源アプリなど、外部の音源を楽器の鍵盤で鳴らす**
楽器に内蔵された音色以外の音色を鍵盤で演奏できます。
- **音楽制作ソフトや楽譜作成ソフトでデータを入力するための、マスターキーボードとして使える**
音楽制作ソフトの打ち込みや、楽譜作成ソフトの音符の入力が鍵盤でできます。

NOTE

- MIDIに関する詳細は、ウェブサイト上の「MIDI リファレンス」をご覧ください。

オーディオデータの送受信でできること(USBオーディオインターフェース機能)

オーディオデータをデジタルで送受信すると、一例として次のことができます。

- **オーディオデータを高音質で再生できる**
[AUX IN]端子での接続と比べて、音質の劣化が少なくクリアな音質で楽しめます。
- **録音ソフトや音楽制作ソフトで、楽器の演奏をオーディオデータとして録音できる**
録音したデータは、コンピューターやスマートデバイスで再生できます。

NOTE

- 音量は、コンピューターやスマートデバイスでの調節と、楽器の[全体音量](MASTER VOLUME)コントロールでの調節で行ないます。
- クイックサンプリングモード中、オーディオモード中は、コンピューターやスマートデバイスからのオーディオデータを楽器本体で再生することはできません。

スマートデバイスのアプリでできること

楽器に対応しているアプリケーションを使うと、一例として次のことができます。

- **Piano Diary**
日記のように演奏を残していくことができます。
- **Cloud Audio Recorder**
演奏を録音するだけでなく、音楽共有サービス「SoundCloud」にボタンひとつでデータのアップロードができます。

対応のスマートデバイスやアプリケーションについて詳しくは、以下のウェブサイトでご確認ください。

https://jp.yamaha.com/products/musical_instruments/keyboards/apps/

バックアップと初期化

バックアップデータ

以下のデータは自動的にバックアップ(保存)されるため、電源を切ってもデータは消えません。

随時バックアップされる内容

- ユーザーソング(25ページ)
- コンピューターから転送し、スタイル番号236~245に読み込んだスタイルファイル(72ページ)
- 鍵盤に登録されたサンプル(29ページ)

電源を切ったときにバックアップされる内容

- レジストレーションメモリー (42ページ)
- 機能設定の各設定：(63ページ)
 - スタイル音量、ソング音量、グループ音量、オーディオ入力音量、チューニング、スプリットポイント、タッチレスボンス、マスターEQタイプ、オーディオループバック オン/オフ、ブランクカット オン/オフ、メトロノーム音量、デモグループ、デモ再生モード、オートパワーオフ設定、電池選択、言語

上記のバックアップデータに加え、コンピューターから転送した全スタイルデータ(読み込まれていないものも含む)と全ソングデータは、電源をオフにしても消えずに楽器本体内部に保存されます。

注記

バックアップは電源を切るときに自動的に実行されますが、下記で電源が切れたときは、バックアップが実行されませんのでご注意ください。

- 電源が入っている状態で、電源アダプターを抜いたとき
- 停電などで突然電源が切れたとき
- 電池を使用していて、消耗して電源が切れたとき

楽器を初期化する

バックアップデータなどを消去し、設定を工場出荷時の状態に戻すことを「初期化」と呼びます。目的に応じて、以下の2つの方法で初期化を行なってください。

バックアップクリア

バックアップデータを初期状態に戻します。

鍵盤の最高音(白鍵)を押したまま、[](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。



フラッシュクリア

コンピューターから転送したソング/スタイルの全データを消去します。ただし、スタイル番号236~245に読み込まれたデータは消去されません。鍵盤の最高音(白鍵)と一番高い黒鍵3つを同時に押したまま、[](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。



注記

- この操作により、購入した有料のデータも消去されます。消去したくないデータは、必要に応じてコンピューターに転送/保存しておきましょう。詳細は、電子マニュアル(11ページ)「コンピューターとつなぐ」をご覧ください。

演奏するときの便利な機能

リバーブタイプを選ぶ

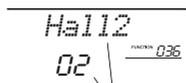
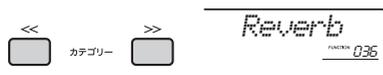
リバーブは、演奏音にコンサートホールで弾いたような残響音を加える効果です。リバーブタイプは、スタイルやソングを選ぶと、最適なものが自動的に選ばれますが、自分で選ぶこともできます。

- 1 [機能](FUNCTION)ボタンを押します。



- 2 「Reverb」(機能番号036)が画面に表示されるまでカテゴリボタン[<<][>>]を何度か押します。

数秒後、現在のリバーブタイプが表示されます。



現在選ばれているリバーブタイプ

NOTE

- この楽器で選択できないリバーブタイプを使った、ソングやスタイルを再生した場合、画面の表示が「- -」とすることがあります。

- 3 ダイヤルを回して、好きなリバーブタイプを選びます。

鍵盤を弾いて音の響きを確かめてみましょう。リバーブタイプの説明については、92ページのエフェクトタイプリストをご覧ください。

リバーブの深さ調整

メイン/デュアル/スプリットボイスのそれぞれにかかるリバーブの深さを、上記と同様の方法で調整できます。手順2で呼び出す項目については、64ページの「機能リスト」をご覧ください。

コーラスタイプを選ぶ

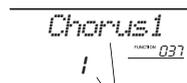
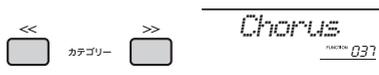
コーラスは、同時に複数のパートを演奏しているかのような厚みを音に加える効果です。コーラスタイプは、スタイルやソングを選ぶと、最適なものが自動的に選ばれますが、自分で選ぶこともできます。

- 1 [機能](FUNCTION)ボタンを押します。



- 2 「Chorus」(機能番号037)が画面に表示されるまでカテゴリボタン[<<][>>]を何度か押します。

数秒後、現在のコーラスタイプが表示されます。



現在選ばれているコーラスタイプ

NOTE

- この楽器で選択できないコーラスタイプを使った、ソングやスタイルを再生した場合、画面の表示が「- -」とすることがあります。

- 3 ダイヤルを回して、好きなコーラスタイプを選びます。

鍵盤を弾いて音の響きを確かめてみましょう。コーラスタイプの説明については、92ページのエフェクトタイプリストをご覧ください。

コーラスの深さ調整

メイン/デュアル/スプリットボイスのそれぞれにかかるコーラスの深さを、上記と同様の方法で調整できます。手順2で呼び出す項目については、64ページの「機能リスト」をご覧ください。

楽器の音の高さを変える (トランスポーズ)

ドラム音とサンプルゾーンB～Eを除く楽器全体の音の高さを、半音単位で、±1オクターブの範囲で変更できます。

- 1 [トランスポーズ](TRANSPOSE)ボタンを押して「Transpos」(機能番号006)を表示させます。



- 2 ダイヤルを回してトランスポーズ値(-12～+12)を変更します。

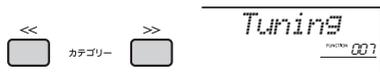
楽器の音の高さを微調整する (チューニング)

ドラム音を除く楽器全体のチューニング(音の高さの微調整)を、約0.2 Hz単位で427.0 Hz～453.0 Hzの範囲で設定できます。初期設定は440.0 Hzです。

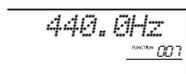
- 1 [機能](FUNCTION)ボタンを押します。



- 2 「Tuning」(機能番号007)が画面に表示されるまでカテゴリボタン[<<][>>]を何度か押しします。

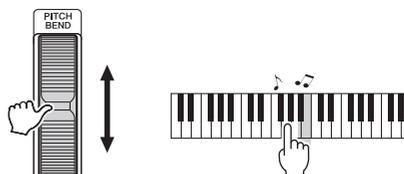


- 3 ダイヤルを回してチューニングの設定をします。



ピッチベンドを使う

[PITCH BEND](ピッチベンド)ホイールを上下に動かすことで、鍵盤演奏のピッチ(音の高さ)を、滑らかに上げ下げできます。



機能設定(63ページ、機能番号008)で、ピッチベンドの変化幅を、半音単位で設定できます。

ワンタッチで最適なパネル設定を 呼び出すーワンタッチセッティング (OTS)

[ソング](SONG)、[スタイル](STYLE)または[グループクリエイター](GROOVE CREATOR)ボタンを押して、ソング、スタイルまたはグループを選んでから、楽器音に楽器番号000 OTSを選びます(18ページ)。現在選択されているソング、スタイル、グループに最適な楽器音やテンポなどのパネル設定が自動的に呼び出されます。

鍵盤のタッチレスポンスを変える

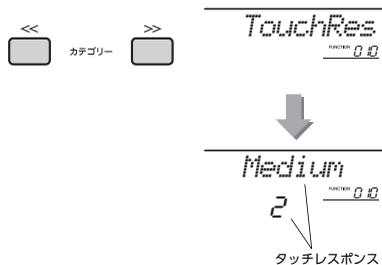
この楽器にはタッチレスポンス機能が搭載されており、鍵盤を弾くときの感度(鍵盤を弾く強さによって音量が変化する割合)を、4段階(1~4)に設定することができます。

1 [機能](FUNCTION)ボタンを押します。



2 「TouchRes」(機能番号010)が画面に表示されるまでカテゴリボタン[<<][>>]を何度か押します。

数秒後、現在のタッチレスポンスが表示されます。



3 ダialを回してタッチレスポンスを設定します。

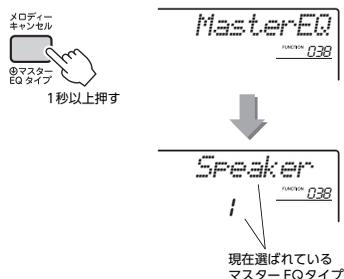
タッチレスポンス

1	Soft	軽いタッチで大きい音が出ます。
2	Medium	標準的なタッチです。
3	Hard	大きな音を出すためには、より強いタッチで引いてください。
4	Fixed	タッチの強弱にかかわらず一定の音量が出ます。

マスターEQを設定して最適な音にする

本体スピーカーやヘッドフォン、外部スピーカーなどで鳴らすサウンドを、最適な音に設定します。

1 [メロディーキャンセル](MELODY SUPPRESSOR)ボタンを1秒以上押し、[MasterEQ] (機能番号038)を表示させます。数秒後、現在のマスターEQタイプが表示されます。



2 ダialを回してマスターEQタイプを選びます。

マスターEQタイプ

1	Speaker	楽器内部のスピーカーを使ってそのまま聞く場合に選びます。
2	Headphone	ヘッドフォンや外部スピーカーに接続して聞く場合に選びます。
3	Boost	より迫力のある音質が得られます。ただし、選択する楽器音やスタイルなどの種類によってはほかのEQタイプより、音がひずみやすくなります。
4	Piano	ピアノソロ演奏に適した設定です。
5	Bright	中域を抑えて音の印象を明るくします。
6	Mild	高域を抑えて音の印象を柔らかくします。

スケールチューンに関する設定

この楽器では、ピアノなどの楽器と同じように、各鍵盤のピッチ(音の高さ)が平均律であらかじめ調整されています。また、演奏したいジャンルや目的に応じて、平均律以外のスケールに設定することもできます。

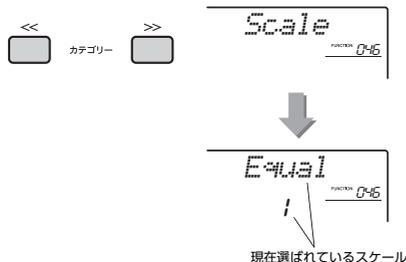
スケールを選ぶ

この楽器にあらかじめ搭載されているスケールの中から好きなスケールを選びます。

- 1 [機能](FUNCTION)ボタンを押します。



- 2 「Scale」(機能番号046)が画面に表示されるまでカテゴリボタン[<<][>>]を何度か押します。



- 3 ダイアルを回してスケールを選びます。初期設定は「1 Equal」です。

スケール一覧

1	Equal	平均律
2	Pure Major	純正律長調
3	Pure Minor	純正律短調
4	Bayat	アラブ音律
5	Rast	アラブ音律

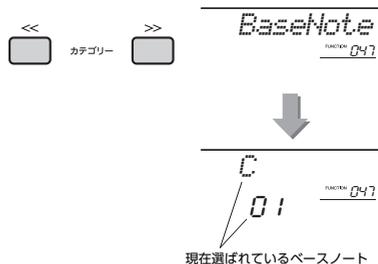
スケールのベースノートを変える

スケールのベースノート(基準となる音)を変えます。Equal(平均律)以外のスケールを使う場合は、演奏するキーに応じて、ベースノートの設定を忘れずに行ないましょう。

- 1 [機能](FUNCTION)ボタンを押します。



- 2 「BaseNote」(機能番号047)が画面に表示されるまでカテゴリボタン[<<][>>]を何度か押します。



- 3 ダイアルを回してベースノートをC、C#、D、Eb、E、F、F#、G、Ab、A、Bb、Bから選びます。初期設定は「C」です。

ノート別にチューニングしてオリジナルスケールを作る

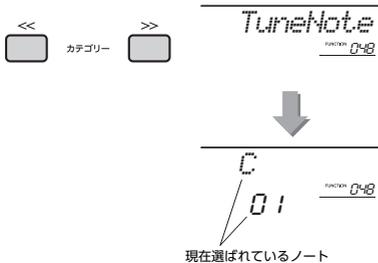
ノート(音)別に1セント(半音を100等分したピッチの単位)単位でチューニングすることにより、オリジナルのスケールを作ることができます。

1 [機能](FUNCTION)ボタンを押します。



2 「TuneNote」(機能番号048)が表示されるまで 카테고리ボタン[<<][>>]を何度か押しませす。

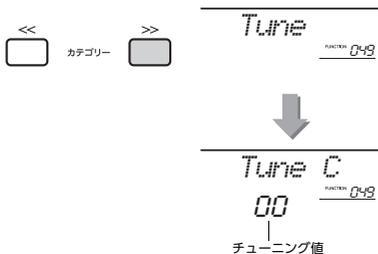
数秒後、選ばれているノートが表示されます。



3 ダイアルを回してチューニングしたいノートを C、C#、D、Eb、E、F、F#、G、Ab、A、Bb、Bから選びます。

4 カテゴリボタン[>>]を押して「Tune」(機能番号049)を表示させます。

数秒後、手順3で選んだノートのチューニング値が表示されます。



5 ダイアルを回して-64~63セントの範囲でチューニングします。

初期設定に戻りたいときは、[+ /YES]、[- /NO]ボタンを同時に押します。

6 必要に応じて、手順2~5をくり返します。

7 スケールの設定をレジストレーションメモリーに保存します(42ページ)。

【NOTE】

- レジストレーションメモリーに保存したスケールを呼び出したあと、[+ /YES]、[- /NO]ボタンを同時に押しても、初期値には戻りません。レジストレーションメモリーに保存した値に戻ります。
- ノート別のチューニングをしたあと、「Scale」(機能番号046)を呼び出すと、「[Edited]」が表示されます。ただし、ほかのスケールを呼び出すと、それまでのチューニング設定は消去されるので、レジストレーションメモリーへの保存をおすすめします。

楽器音(ボイス)に関する設定

デュアルボイスを選ぶ

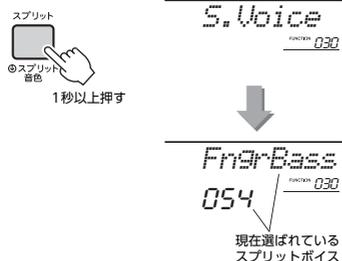
- 1 [デュアル](DUAL) ボタンを1秒以上押して、「D.Voice」(機能番号020)を表示させます。数秒後、現在のデュアルボイスが表示されます。



- 2 ダイアルを回して、デュアルボイスを選びます。

スプリットボイスを選ぶ

- 1 [スプリット](SPLIT) ボタンを1秒以上押して、「S.Voice」(機能番号030)を表示させます。数秒後、現在のスプリットボイスが表示されます。



- 2 ダイアルを回して、スプリットボイスを選びます。

ボイスのサウンドを変える

メイン/デュアル/スプリットボイスのそれぞれに対して、音量やオクターブ、リバーブやコーラスの深さなどが調節できます。いろいろな項目の設定値を変えることで、好みのサウンドを作ってみましょう。

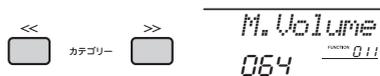
- 1 [機能](FUNCTION) ボタンを押します。



- 2 設定したい項目が表示されるまで、カテゴリボタン[<<|>>]を何度か押します。各設定項目は下記のとおり表示されます。

- ・メインボイスに関する項目：
M. ***** (機能番号011～019)
- ・デュアルボイスに関する項目：
D. ***** (機能番号020～029)
- ・スプリットボイスに関する項目：
S. ***** (機能番号030～035)

各項目について詳しくは、「機能リスト」(64ページ)をご覧ください。



- 3 ダイアルを回して設定値を変えます。鍵盤を弾いて、サウンドをチェックしましょう。
- 4 手順2～3をくり返して、いろいろな項目の値を調節します。
- 5 必要に応じて、レジストレーションメモリー(42ページ)に保存します。ボイス関連の設定は、別のボイスを選ぶことでリセットされます。作ったサウンドをあとで呼び出したいときは、レジストレーションメモリーに保存しておきましょう。

アルペジオの設定

アルペジオとソング/スタイル/ グループの同期タイミングを変更 する(アルペジオクオンタイズ)

ソング/スタイル/グループ再生に合わせてアルペジオ(20ページ)を鳴らしたい場合に、拍のタイミングに合わせて鍵盤を弾いたつもりでも、多少は前後にずれてしまっています。そのような「ずれ」があっても、アルペジオの再生は、以下3種類のいずれかのタイミングで同期するよう補正されます。

- ・ オフ(同期しない)
- ・ 8分音符のタイミングで同期
- ・ 16部音符のタイミングで同期

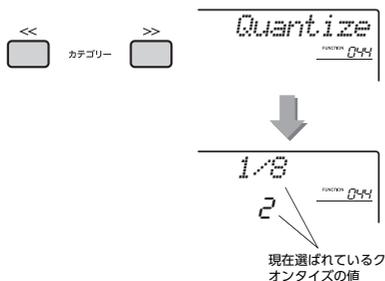
この設定項目を「アルペジオクオンタイズ」といい、アルペジオタイプを選ぶと自動的に上記のいずれかが設定されますが、自由に変更することもできます。

1 [機能](FUNCTION)ボタンを押します。



2 [Quantize](機能番号044)が画面に表示されるまでカテゴリーボタン[<<][>>]を何度か押します。

数秒後、現在のアルペジオクオンタイズ値が表示されます。



3 ダialを回してアルペジオクオンタイズの値をOFF、1/8、1/16の中から選びます。

- ・ OFF(オフ) : 同期しない
- ・ 1/8 : 8分音符のタイミングで同期
- ・ 1/16 : 16分音符のタイミングで同期

フットスイッチでアルペジオ再生 を持續する(アルペジオホールド)

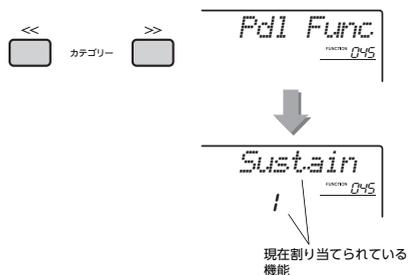
アルペジオ再生時に鍵盤から指を離しても、[SUSTAIN]端子に接続したフットスイッチを踏み続けることで再生が続くよう、設定できます。

1 [機能](FUNCTION)ボタンを押します。

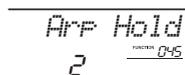


2 [Pdl Func](機能番号045)が画面に表示されるまでカテゴリーボタン[<<][>>]を何度か押します。

数秒後、現在フットスイッチに割り当てられている機能が表示されます。



3 Dialを回して「Arp Hold」を選びます。



フットスイッチの機能を通常のサステインペダルに戻したいときは、「Sustain」を選びます。アルペジオホールドとサステインを同時に有効にしたいときは、「Hold+Sus」を選びます。

4 フットスイッチを使ってアルペジオ演奏をしてみましょう。

鍵盤を弾いてアルペジオを鳴らし、フットスイッチを踏みます。鍵盤から指を離してもアルペジオは鳴り続けます。アルペジオを止める場合は、フットスイッチから足を離します。

ノブに割り当てられる機能

ノブ(23ページ)に割り当てられる各機能について説明します。

1 カットオフ/レゾナンス

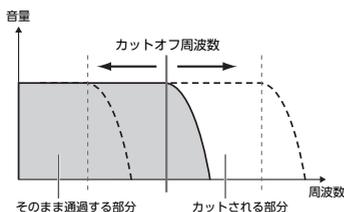
特定の周波数帯域の音声信号だけを通過させ、他の周波数帯域の音声信号をカットすることで、音質を変化させる機能です。シンセサイザーのような電子的なサウンドを作り出してみましょう。

NOTE

- ターゲットがKEYBOARDのときはメインボイス/デュアルボイスに、BACKINGのときはスタイル/グループに効果がかかります。
- フィルターを使うと、ベース(低音)がひずむ場合があります。

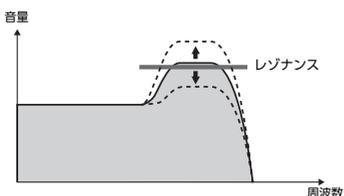
● ノブA：カットオフ(CUTOFF)

フィルターのカットオフ周波数(どの周波数帯の信号以上をカットするか)を設定して、音の明るさを調整します。右に回すほど、音は明るくなります。



● ノブB：レゾナンス(RESONANCE)

レゾナンス(カットオフ周波数近くの音声信号を持ち上げ、音にクセをつける)効果を増減します。右に回すほどクセのある音になります。



2 リバース/コーラス

● ノブA：リバース(REVERB)

リバースは、コンサートホールやライブハウスで演奏しているような臨場感を得られる機能です。右に回すほど、効果が深くなります。

● ノブB：コーラス(CHORUS)

コーラスは、同時に複数のパートを演奏しているような厚みを得られる機能です。右に回すほど、効果が深くなります。

NOTE

- ターゲットがKEYBOARDのときはメインボイス/デュアルボイスに、BACKINGのときはスタイル/グループに効果がかかります。

3 DSP

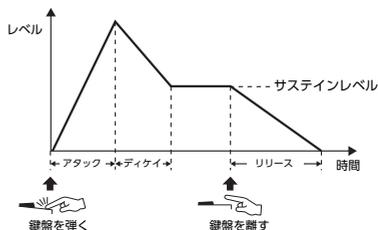
● ノブA/B：DSPパラメーター A/B

(DSP PARAMETER A/B)

内蔵のデジタルエフェクトにより、鍵盤の演奏音やスタイルの再生音などにDSP効果をかけられます(22ページ)。各効果につき2つのパラメーターがノブAとBに割り当てられています。ロータリースピーカーの回転する速さやかかり具合、ディストーションのひずみ具合を好みの設定に調節するなど、リアルタイムで動かすことで、いろいろな演奏を楽しめます。

4 アタック/リリース

鍵盤を押してから、時間経過の中でどのようにボイスの音量が変化していくかを変化させる機能です。「音の立ち上がりが早い」(パーカッションなど)や「余韻が長い」(ピアノなど)など、生楽器が持つさまざまな音の特性を作り出せます。



● ノブA：アタック(ATTACK)

アタックタイム(鍵盤を弾いた瞬間からボイスが最大音量に達するまでの時間)を調節します。右に回すほどアタックタイムが長くなり、音の立ち上がりが遅くなります。

● ノブB：リリース(RELEASE)

リリースタイム(鍵盤から指を離れたあと、音が減衰して消えていくまでの時間)を調節します。右に回すほどリリースタイムが長くなり、鍵盤を離してからの余韻が長くなります。

NOTE

- ターゲットはKEYBOARDのみです。BACKINGを選ぶことはできません。

5 音量バランス/リトリガーレート

● ノブA：音量バランス(VOLUME BALANCE)

楽器に接続したオーディオ機器(44ページ)やコンピューター(45ページ)からのオーディオ入力音と、ソング/スタイル/グループの音量バランスを調節します。左に回すと外部からのオーディオ入力音の音量が最小になり、右に回すと楽器本体の音量が最小になります。

なお、外部からのオーディオ入力がない場合でも、ノブを回すとソング/スタイル/グループの音量を調節できます。鍵盤演奏音の音量は調節できません。

NOTE

- オーディオループバック(66ページ、機能番号056)がオフのときは、[USB TO HOST]端子に接続した外部機器によるオーディオ入力音の音量は調節できません。

● ノブB：リトリガーレート(RETRIGGER RATE)

グループのリトリガー機能(58ページ)の、くり返し部分の長さをコントロールします。右に回すとくり返し部分の長さが短くなり、左に回すと長くなります。

NOTE

- グループを再生するテンポを200以上に設定すると、ノブを右に回しても、くり返し部分の長さが変わらないことがあります。

下記で、各機能のおすすめの使い方をご紹介しますので、参考にしてください。

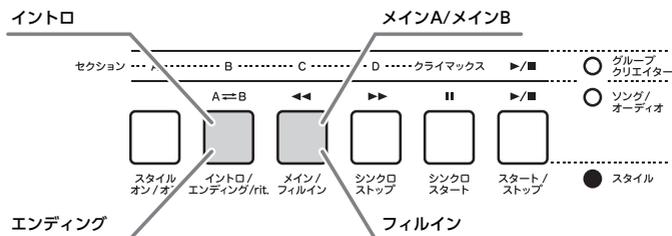
おすすめの使い方

番号/効果	おすすめの使い方
1 カットオフ/ レゾナンス	楽器番号143 Geminiや170 Noiseを選び、[ノブアサインボタン](KNOB ASSIGN) ボタンで1を選んでから、コントロールする対象をKEYBOARDに切り替えます。鍵盤を演奏しながらノブAやBを回すと、アナログシンセサイザーのような雰囲気を楽しむことができます。
2 リバーブ/コーラス	楽器番号008 CP80を選び、[ノブアサインボタン](KNOB ASSIGN) ボタンで2を選んでから、コントロールする対象をKEYBOARDに切り替えます。ノブA、ノブBを最も左に回すことで素の音にできます。ノブBを右に回していくと、音がうねるようなコーラス効果が徐々にかけられます。また、ノブAを右に回すと、ホールで弾いているような残響効果がかけられます。
3 DSP	楽器番号019 Cool!Orgを選び、[ノブアサインボタン](KNOB ASSIGN) ボタンで3を選んでから、コントロールする対象をKEYBOARDに切り替えます。[DSP] ボタンを押してDSPをオンにし、DSPタイプ(機能番号040)を「01 RotarySp」に設定します(65ページ)。鍵盤を弾きながら、ノブAでロータリースピーカーの回転速度を変えてみましょう。ゆっくり動かすと本物のロータリースピーカーのように徐々に回転速度が変わる効果を楽しめます。ノブBでは歪みをかけることができます。
4 アタック/リリース	楽器番号173 RSAnPadを選びます。ノブAを最も左に回すと、鍵盤を弾いたときの音の立ち上がりが早く、はっきりした音になります。ノブBを最も左に回すと、鍵盤から指を離れたときの音の消え方が速くなります。曲や雰囲気に合わせて、簡単に音を作ることができます。
5 音量バランス/ リトリガーレート	<p>ノブA：オーディオ機器やコンピューターを楽器に接続し(43ページ)、オーディオを再生しながら、ノブAを回してみてください。楽器での演奏との音量バランスを調整することができます。</p> <p>ノブB：グループ番号008 FrenchDJのセクションCを選び、再生を開始します。セクションボタンCを押したまま、ノブBを右に回すと、リトリガーレートがだんだん短くなり、DJプレイを楽しめます。</p>

スタイルやグループクリエイターに関する設定

スタイルに変化をつける(セクション)

演奏を盛り上げるために、同じスタイルの中にも下記のバリエーションが用意されています。それが「セクション」です。



●イントロ(INTRO)

演奏開始時に使います。イントロ再生が終了するとメインに移ります。イントロの小節数はスタイルによって異なります。

●メイン(MAIN)

曲のメイン部分の演奏で使います。ほかのセクションボタンを押すまで、くり返し再生されます。A、Bの2種類のバリエーションがあり、左手で押さえたコードに合わせて再生されます。

●フィルイン(AUTO FILL)

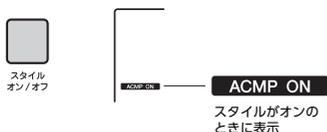
メインのA、Bが切り替わるときに自動的に挿入されます。

●エンディング(ENDING)

演奏の終わりに使います。エンディングの再生が終わると同時に、スタイル再生も終了します。エンディングの小節数はスタイルによって異なります。

1 [スタイル](STYLE)ボタンを押してから、ダイヤルを回して好きなスタイルを選びます。

2 [スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF)ボタンを押して、スタイルをオンにします。



3 [シンクロスタート](SYNC START)ボタンを押して、シンクロスタートをオンにします。



オフにするには、再度[シンクロスタート](SYNC START)ボタンを押します。

●シンクロスタート

オンにすると、自動伴奏鍵域でコードを弾くと同時にスタイルがスタートします。

4 [メイン/フィルイン](MAIN/AUTO FILL)ボタンを押して、メインAかBを選びます。



5 [イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ ENDING/rit.)ボタンを押します。



これで、イントロ→メインAまたはBの順でスタイル再生を始める準備ができました。

6 自動伴奏鍵域でコードを押さえると、スタイルのイントロがスタートします。

コードの押さえ方は60ページをご覧ください。

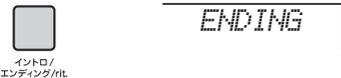


7 イントロが終わったら、曲の進行に合わせて演奏します。

左手でコード、右手でメロディーを弾きます。また、必要に応じて[メイン/フィルイン](MAIN/AUTO FILL)ボタンを押すと、フィルインをはさんで、メインセクションA/Bが切り替わります。



8 [イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ ENDING/rit.)を押します。



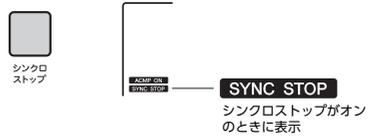
エンディングに切り替わり、エンディングの再生終了と同時にスタイル再生も終了します。エンディング再生中にもう一度[イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.)ボタンを押すと、リタルダンドして(だんだん遅くなって)スタイルは終了します。

NOTE

- スタイル番号211、223～235はリズムパートがないスタイルであるため、リズムなしで再生されます。これらのスタイルを使うときは、[スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF)ボタンを押したあと、自動伴奏鍵域でリズムパート以外のコードを弾いてください。

スタイルのシンクロストップを使う

[シンクロストップ](SYNC STOP)ボタンを押してオンにすると、自動伴奏鍵域でコードを押さえている間だけスタイルが鳴り、鍵盤から指を離すとスタイル再生が止まります。

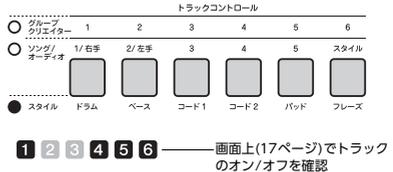


NOTE

- この機能は、スタイル(ACMP)がオンの場合に使えます。

スタイルのトラックをオン/オフする

ソングやグループと同じように、スタイルも複数のトラックで構成されています。特定のトラックだけを鳴らしたり、ミュートするにはトラックコントロール(TRACK CONTROL)ボタンで各トラックをオン/オフしてください。

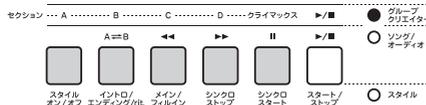


NOTE

- 複数のボタンを同時に押しても、オン/オフできるのは2つのトラックまでです。

グループに変化をつける(セクション)

スタイルと同様、グループにもセクションがあり、演奏に変化をつけられます。A～クライマックス(MUSICAL CLIMAX)の5種類のセクションがあります。

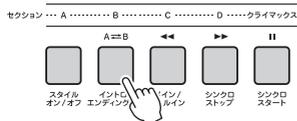


スタイルと違い、グループにはイントロはありません。クライマックス(MUSICAL CLIMAX)は、曲の盛り上げとしてもエンディングとしても使えるセクションです。A～Dのセクションは、スタイルのメインのように、ストップの操作や他のセクションボタンが押されるまで、ループ再生が繰り返されます。

グループのリトリガー機能を使う

リトリガー機能とは、再生中のグループの先頭部分をくり返し再生する機能です。

- 1 [グループクリエイター](GROOVE CREATOR)ボタンを押してから、ダイヤルを回して好きなグループを選びます。
- 2 [▶/■](スタート/ストップ)ボタンを押すか、自動伴奏鍵盤の鍵盤を押してグループを再生します(28ページ)。
- 3 再生しているセクションのセクションボタンを押すと、セクションの冒頭に戻って再生されます。また、再生中のセクションボタンを押し続けるとセクションの冒頭部分がくり返し再生されます。



ノブを使って、くり返し再生される部分の長さ(リトリガーレート)をコントロールすることもできます(55ページ)。

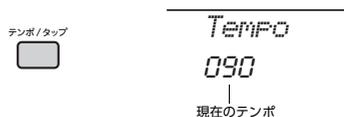
NOTE

- リトリガーを使ったグループを録音した場合、録音されたソングの再生と、画面上のビート表示やメトロノーム/アルペジオ再生とは同期しません。

再生テンポを変える

スタイル、グループの再生テンポを変えることができます。

- 1 [テンポ/タップ](TEMPO/TAP)ボタンを押して、画面に「Tempo」を表示させます。



- 2 ダイヤルを回したり、数字ボタンを押してテンポ(11～280)を設定します。

[+ / YES]、[- / NO]ボタンを同時に押すと、現在のスタイル/グループの初期テンポに戻ります。再生中は、[テンポ/タップ](TEMPO/TAP)ボタンを2回押してテンポを変えられます。間隔を空けて押すとテンポはゆっくりと、間隔を空けずに素早く押すとテンポは速くなります。

NOTE

- ソング、アルペジオ再生のテンポも同様の手順で変えることができます。

タップスタート

現在のスタイル/ソング/グループが4拍子なら4回、3拍子なら3回、[テンポ/タップ](TEMPO/TAP)ボタンを押すと、そのテンポで再生をスタートできます。



NOTE

- タップスタートでのテンポは、32～280の範囲になります。

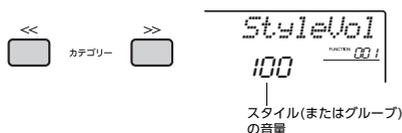
スタイル/グループの音量を調節する

スタイル/グループの音量を調節することにより、鍵盤演奏とのバランスをとることができます。

- 1 [機能](FUNCTION)ボタンを押します。



- 2 [StyleVol] (機能番号001)、または [GroovVol] (機能番号003) が画面に表示されるまでカテゴリボタン[<<][>>]を何度か押します。



- 3 ダialを回し音量(000~127)を設定します。

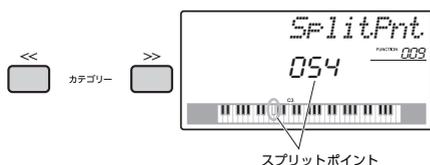
スプリットポイントを設定する

スプリットポイントとは、鍵盤の領域を左右に分けるポイントです。設定は、スタイル、グループ、スプリットボイスで共通です。左側の鍵域では、スタイルのコードやグループのキーの指定をしたり、スプリットボイスを弾いたりできます。スプリットポイントは初期設定では054 (F#2)ですが、自由に変更できます。

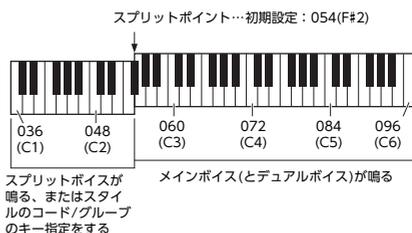
- 1 [機能](FUNCTION)ボタンを押します。



- 2 [SplitPnt] (機能番号009) が表示されるまでカテゴリボタン[<<][>>]を何度か押します。この画面は、[スタイル](STYLE)ボタンを押したあと、[スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF)ボタンを1秒以上押すことでも呼び出せます。

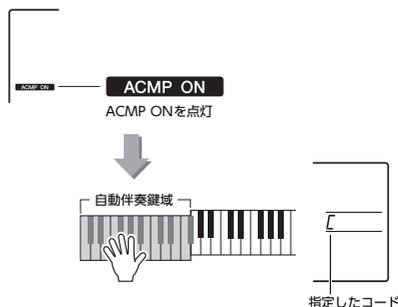


- 3 Dialを回してスプリットポイント036(C1)~096(C6)を設定します。



スタイルを鳴らさずにコードを指定する(ストップアカンパニメント)

[スタイル](STYLE)ボタンを押し、[スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF)ボタンを押してオン(ACMP表示が点灯)にしたあと、(シンクロスタートをオンにせずに)左手(自動伴奏)鍵域でコードを弾くと、スタイルが鳴らさずにコード音だけが鳴ります。これをストップアカンパニメント機能といいます。押されたコードは画面に表示され、右手でハーモニー(20ページ)を使った演奏ができます。



スタイル再生用のコードタイプ

ここでは、初めてコードを弾く方のために、よく使われるコードをご紹介します。

このほかにもたくさんのコードがありますので、もっと詳しく知りたい場合は、市販のコード表などをご参照ください。

★がルート(根音)です。

メジャー	マイナー	セブンス	マイナーセブンス	メジャーセブンス
C 	Cm 	C7 	Cm7 	CM7
D 	Dm 	D7 	Dm7 	DM7
E 	Em 	E7 	Em7 	EM7
F 	Fm 	F7 	Fm7 	FM7
G 	Gm 	G7 	Gm7 	GM7
A 	Am 	A7 	Am7 	AM7
B 	Bm 	B7 	Bm7 	BM7

- コード押鍵はその転回形も受け付けます。ただし、以下のコードを例外とします。
m7、m7♭5、m7(11)、6、m6、sus4、aug、dim7、7♭5、6(9)、sus2
- 7sus4は、省略した場合のみ転回形は受け付けません。
- コードとして成立しない鍵盤が押された場合、画面にコード名は表示されません。
また、そのときのスタイル演奏は、リズムとベース音だけになります。

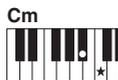
簡単なコードの押さえ方

鍵盤を1〜3個押さえて、メジャー、マイナー、セブンス、マイナーセブンスのコードを指定することもできます。

《Cの例》



メジャー (M)
ルートキー (根音: ★) を押さえてください。



マイナー (m)
ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の黒鍵を同時に押さえてください。



セブンス (7)
ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の白鍵を同時に押さえてください。



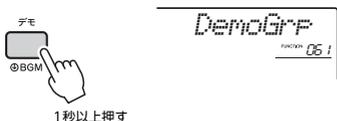
マイナーセブンス (m7)
ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の黒鍵と白鍵を同時に押さえてください。

ソングの再生に関する設定

BGMとして再生する

初期設定で[デモ](DEMO)ボタンを押すと、内蔵ソング数曲だけが連続再生されますが、連続再生の対象を内蔵ソング全曲やコンピューターから転送されたソング全曲などに変えることができます。これにより、さまざまな曲をBGMとして鳴らすことができます。連続再生の対象は、6つのグループに分けられており、その中から1つを選びます。

- 1 [デモ](DEMO)ボタンを1秒以上押し、
「DemoGrp」(機能番号061)を表示させます。
数秒後、現在の再生対象のグループが表示されます。



- 2 ダイヤルを回して、連続再生させたいグループを以下から1つ選びます。

Demo	内蔵ソング001~003
Preset	内蔵ソング全曲
User	ユーザーソング全曲
Download	コンピューターから転送されたソング全曲
USB	USBフラッシュメモリーにあるMIDIソング全曲(MIDIファイル)
AUDIO	USBフラッシュメモリー内にあるオーディオソング全曲(WAVファイル)

NOTE

- User、Download、USBにデータがない場合は、Demoが流れます。

- 3 [デモ](DEMO)ボタンを押します。
選択したグループの曲が、連続再生されます。
再生をストップさせたいときは、もう一度[デモ](DEMO)ボタンを押します。

ランダムな順番で再生する

[デモ](DEMO)ボタンを押してソングを連続再生するとき、番号順ではなく、ランダムな順番で再生するよう、設定を変えられます。

- 1 [機能](FUNCTION)ボタンを押します。



- 2 「PlayMode」(機能番号062)が画面に表示されるまでカテゴリーボタン[<<][>>]を何度か押します。

数秒後、現在の再生モードが表示されます。



DemoGrp(連続再生の対象)が「Demo」に設定されている場合、この項目は選べません。

- 3 ダイヤルを回して、「Random」を選びます。
番号順の再生に戻りたいときは、「Normal」を選びます。

- 4 [デモ](DEMO)ボタンを押して再生をスタートします。
再生をストップさせたいときは、もう一度[デモ](DEMO)ボタンを押します。

ソングのテンポを変える

ソングのテンポ設定は、スタイルやグループの場合と同じです。58ページをご覧ください。

NOTE

- オーディオデータのテンポを変えることはできません。

タップスタート

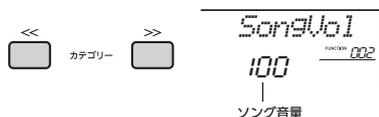
スタイルやグループの場合と同じ操作方法です。58ページをご覧ください。

ソングの音量を調節する

- 1 [機能](FUNCTION)ボタンを押します。



- 2 [SongVol] (機能番号002)が画面に表示されるまでカテゴリーボタン[<<][>>]を何度か押しします。



- 3 ダイアルを回してソング音量(000~127)を設定します。

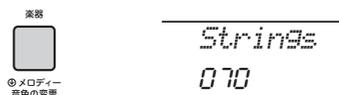
NOTE

- ソング音量は、ソングモードのときに設定できます。

ソングのメロディー音色を変える

内蔵のソングや外部機器からのソングのメロディー音色を、好みの楽器音に変えることができます。

- 1 [ソング](SONG)ボタンを押して好きなソングを選び、再生をスタートさせます(26ページ)。
- 2 [楽器](VOICE)ボタンを押したあと、ダイヤルを回して好きな楽器音を選びます。



- 3 [楽器](VOICE)ボタンを1秒以上押して、[SONG MELODY VOICE]を表示させます。手順2で選んだ楽器音が、ソングのメロディー音色になります。



NOTE

- ほかのソングを選ぶことで、変更したメロディー音色はリセットされます。
- ユーザーソングのメロディー音色は変えられません。
- USBフラッシュメモリー内のソングやコンピューターから転送されたソングなど、ソングデータによっては、メロディー音色以外の音色が変わることがあります。
- オーディオデータの音色を変えることはできません。

機能設定(FUNCTION)

チューニングやスプリットポイント、各楽器音やエフェクトなどの細かな設定をするのが機能設定です。設定したい項目を、機能リスト(63～66ページ)から見つけてから、下記の操作で設定しましょう。

機能設定の基本操作

1 [機能](FUNCTION)ボタンを押します。



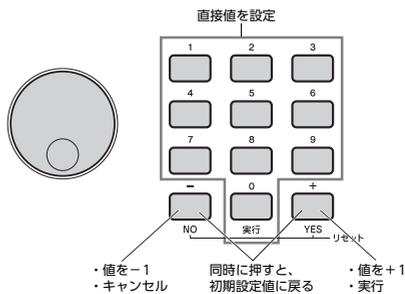
2 設定したい項目名称、および機能番号が画面に表示されるまでカテゴリーボタン[<<][>>]ボタンを何度か押します。



3 ダイヤルや[+]/YESボタンと[-]/NOボタン、または数字ボタン[0]～[9]で、値を設定します。

[+]/YESボタンと[-]/NOボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。

[MIDIのイニシャルセンド(機能番号055)]だけは、値の設定ではなく、[+]/YESボタンを押すことで操作が実行されます。キャンセルするときは、[+]/YESボタンを押さずに[-]/NOボタンを押します。



[MIDIイニシャルセンド]以外の項目のうち、いくつかの項目は電源を切っても保持され、またバックアップアップデートとしてコンピューターに転送/保存ができます。詳細は、46ページをご覧ください。

NOTE
機能設定から抜けるには、[楽器](VOICE)、[スタイル](STYLE)、[ソング](SONG)、[グループクリエイター](GROOVE CREATOR)のいずれかを押します。

機能リスト

機能番号	設定項目	画面表示	設定値	初期設定	内容
音量の設定					
001	スタイル音量	StyleVol	000～127	100	59ページをご覧ください。
002	ソング音量	SongVol	000～127	100	62ページをご覧ください。
003	グループ音量	GrooveVol	000～127	100	59ページをご覧ください。
004	[AUX IN]オーディオ入力音量	AuxInVol	000～127	50	[AUX IN]端子からのオーディオ入力音(30、40ページ)をこの楽器で鳴らすときの音量を調節します。
005	[USB TO HOST] [USB TO DEVICE] オーディオ入力音量	USBInVol	000～127	100	[USB TO HOST]端子、[USB TO DEVICE]端子からのオーディオ入力音(44ページ)をこの楽器で鳴らすときの音量を調節します。
楽器全体					
006	トランスポーズ	TransPos	-12～12	00	48ページをご覧ください。
007	チューニング	Tuning	427.0～453.0Hz	440.0Hz	48ページをご覧ください。
008	ピッチベンドレンジ	PBRange	01～12	02	[PITCH BEND](ピッチベンド)ホイール(48ページ)で変化させられるピッチの変化幅を、半音単位で設定します。
009	スプリットポイント	SplitPnt	036～096 (C1～C6)	054 (F#2)	59ページをご覧ください。
010	タッチレスポンス	TouchRes	1(Soft)、 2(Medium)、 3(Hard)、4(Fixed)	2 (Medium)	49ページをご覧ください。

機能番号	設定項目	画面表示	設定値	初期設定	内容
メインボイス(18ページ)					
011	音量	M. Volume	000~127	*	メインボイスの音量を設定します。
012	オクターブ	M. Octave	-2~+2	*	メインボイスの音域をオクターブ単位で設定します
013	パン	M. Pan	000~064~127 (左~中央~右)	*	小さい値ほどメインボイスは左のスピーカーから、大きい値ほどメインボイスは右のスピーカーから聞こえます。
014	リバーブの深さ	M. Reverb	000~127	*	メインボイスへのリバーブのかかり具合を設定します。
015	コーラスの深さ	M. Chorus	000~127	*	メインボイスへのコーラスのかかり具合を設定します。
016	アタックタイム	M. Attack	000~127	064	メインボイスの発音時の音の立ち上がり方を設定します。大きい値では音の立ち上がりが遅く、小さい値では速くなります。
017	リリースタイム	M. Releas	000~127	064	離鍵時におけるメインボイスの減衰の仕方を設定します。大きい値では余韻が長く、小さい値では余韻が短くなります。
018	フィルターカットオフ	M. Cutoff	000~127	064	メインボイスのフィルターカットオフ(54ページ)の値を設定します。
019	フィルターレゾナンス	M. Reso.	000~127	064	メインボイスのフィルターレゾナンス(54ページ)の値を設定します。
デュアルボイス(18ページ)					
020	ボイス	D. Voice	001~758	*	デュアルボイスを選択します。
021	音量	D. Volume	000~127	*	デュアルボイスの音量を設定します。
022	オクターブ	D. Octave	-2~+2	*	デュアルボイスのオクターブを設定します。
023	パン	D. Pan	000~064~127 (左~中央~右)	*	小さい値ほどデュアルボイスは左のスピーカーから、大きい値ほどデュアルボイスは右のスピーカーから聞こえます。
024	リバーブの深さ	D. Reverb	000~127	*	デュアルボイスにへのリバーブのかかり具合を設定します。
025	コーラスの深さ	D. Chorus	000~127	*	デュアルボイスへのコーラスのかかり具合を設定します。
026	アタックタイム	D. Attack	000~127	064	デュアルボイスの発音時の音の立ち上がり方を設定します。大きい値では音の立ち上がりが遅く、小さい値では速くなります。
027	リリースタイム	D. Releas	000~127	064	離鍵時におけるデュアルボイスの減衰の仕方を設定します。大きい値では余韻が長く、小さい値では余韻が短くなります。
028	フィルターカットオフ	D. Cutoff	000~127	064	デュアルボイスのフィルターカットオフ(54ページ)の値を設定します。
029	フィルターレゾナンス	D. Reso.	000~127	064	デュアルボイスのフィルターレゾナンス(54ページ)の値を設定します。
スプリットボイス(19ページ)					
030	ボイス	S. Voice	001~758	054 (FngBass)	スプリットボイスを選択します。
031	音量	S. Volume	000~127	080	スプリットボイスの音量を設定します。
032	オクターブ	S. Octave	-2~+2	-1	スプリットボイスのオクターブを設定します。
033	パン	S. Pan	000~064~127 (左~中央~右)	064	小さい値ほどスプリットボイスは左のスピーカーから、大きい値ほどスプリットボイスは右のスピーカーから聞こえます。
034	リバーブの深さ	S. Reverb	000~127	008	スプリットボイスへのリバーブのかかり具合を設定します。
035	コーラスの深さ	S. Chorus	000~127	000	スプリットボイスへのコーラスのかかり具合を設定します。
エフェクト					
036	リバーブタイプ	Reverb	01~13	**	47ページをご覧ください。
037	コーラスタイプ	Chorus	1~6	**	47ページをご覧ください。
038	マスターEQタイプ	MasterEQ	1(Speaker), 2(Headphone), 3(Boost), 4(Piano), 5(Bright), 6(Mild)	1 (Speaker)	49ページをご覧ください。

機能番号	設定項目	画面表示	設定値	初期設定	内容
039	メロディーキャンセル	SupprPan	L63, L62...L02, L01, C, R01, R02...R62, R63	C	メロディーキャンセル(44ページ)がオンのときに、キャンセルする(小さくする)音の位置を調整します。
DSP(22ページ)					
040	DSPタイプ	DSP Type	01~10	01	22ページをご覧ください。
ハーモニー/アルペジオ(20ページ)					
041	ハーモニータイプ/アルペジオタイプ	Harm/Arp	01~26 (ハーモニータイプ) 27~176 (アルペジオタイプ)	*	ハーモニータイプ/アルペジオタイプを選択します。
042	ハーモニー音量	HarmVol	000~127	*	ハーモニー音量を設定します。
043	アルペジオペロシティー	ARP Velo	1(Original), 2(Key)	アルペジオタイプによる	[Key] を選ぶと、アルペジオは、鍵盤を押す強さに応じた音量で再生されます。「Original」を選ぶと、鍵盤を押す強さに関係なく、アルペジオが持つオリジナルの音量で再生されます。
044	アルペジオクオンタイズ	Quantize	1(OFF), 2(1/8), 3(1/16)	アルペジオタイプによる	53ページをご覧ください。
045	ペダル機能	Pd1 Func	1(Sustain)/ 2(Arp Hold)/ 3(Hold+Sus)	*	53ページをご覧ください。
スケールチューン(50ページ)					
046	スケール	Scale	1(Equal), 2(Pure Maj), 3(Pure min), 4(Bayat), 5(Rast)	1 (Equal)	50ページをご覧ください。
047	ベースノート	BaseNote	01(C), 02(C#), 03(D), 04(E), 05(E), 06(F), 07(F#), 08(G), 09(A), 10(A), 11(B), 12(B)	01 (C)	50ページをご覧ください。
048	チューニング対象ノート	TuneNote	01(C), 02(C#), 03(D), 04(E), 05(E), 06(F), 07(F#), 08(G), 09(A), 10(A), 11(B), 12(B)	01 (C)	51ページをご覧ください。
049	チューニング	Tune	-64~63	スケールによる	
MIDI					
050	ローカルコントロール	Local	ON/OFF	ON	この楽器の演奏を、この楽器の内部音源で鳴らす(ON)か鳴らさない(OFF)かを設定します。コンピューター上の音楽制作アプリケーションソフトウェアに、この楽器上の演奏をMIDI録音する場合にOFFに設定するとよいでしょう。
051	外部クロック	ExtClock	ON/OFF	OFF	この楽器のクロックを内部クロックで動作させる(OFF)か、外部クロックで動作させる(ON)かを設定します。コンピューター上の音楽制作アプリケーションソフトウェアに、この楽器上の演奏をMIDI録音する場合にONに設定するとよいでしょう。
052	キーボードアウト	KbdOut	ON/OFF	ON	鍵盤の演奏情報を、MIDIメッセージとして[USB TO HOST]端子から送信する(ON)か、しない(OFF)かを設定します。サンプリングボイスを選択しているときは、設定に関係なく出力されません。
053	スタイルアウト	StyleOut	ON/OFF	OFF	スタイルの再生時のデータを、MIDIメッセージとして[USB TO HOST]端子から送信する(ON)か、しない(OFF)かを設定します。
054	ソングアウト	SongOut	ON/OFF	OFF	ソングの再生時のデータを、MIDIメッセージとして[USB TO HOST]端子から送信する(ON)か、しない(OFF)かを設定します。

機能番号	設定項目	画面表示	設定値	初期設定	内容
055	イニシャルセンド	<i>InitSend</i>	YES/NO	—	この楽器のパネル設定をコンピューターに送信します。 [+/YES]ボタンを押すと実行、[-/NO]ボタンを押すとキャンセルになります。コンピューター上の音楽制作アプリケーションソフトウェアに、この楽器上の演奏をMIDI録音する場合に、録音スタート直後に実行しておくことでよいでしょう。
オーディオ(44ページ)					
056	オーディオループバック	<i>LoopBack</i>	ON/OFF	ON	[USB TO HOST]端子からのオーディオ入力音を、楽器での演奏音に重ねて再度コンピューターに出力するかどうかを設定します。楽器での演奏音しか出力したくない場合はOFFに設定します。
サンプリング(31ページ)					
057	ブランクカット	<i>BlankCut</i>	ON/OFF	ON	サンプルの冒頭と終わりの空白を自動でカットします。
メトロノーム(19ページ)					
058	拍子(分子)	<i>TimeSign</i>	00~60	**	メトロノームの拍子を設定します。
059	拍子(分母)	<i>TimeSigD</i>	2分音符、4分音符、8分音符、16分音符	**	メトロノームの1拍の音符の長さを設定します。
060	メトロノーム音量	<i>MtrVol</i>	000~127	100	メトロノームの音量を設定します。
デモ(26ページ)					
061	デモグループ	<i>DemoGrp</i>	1(Demo)/ 2(Preset)/ 3(User)/ 4(Download)/ 5(USB)/ 6(AUDIO)	1 (Demo)	再生させるデモのグループを選択します。 61ページをご覧ください。
062	再生モード	<i>PlayMode</i>	1(Normal)/ 2(Random)	1 (Normal)	デモの再生方法を選択します。 61ページをご覧ください。
オートパワーオフ(15ページ)					
063	オートパワーオフ	<i>AutoOff</i>	OFF、5/10/15/ 30/60/120(分)	30(分)	自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。
バッテリー(15ページ)					
064	電池選択	<i>Battery</i>	1(Alkaline)/ 2(Ni-MH)	1 (Alkaline)	Alkaline : アルカリ電池、マンガン電池 Ni-MH : 充電式ニッケル水素電池
言語(68ページ)					
065	言語切り替え	<i>Language</i>	English/Japanese	English	USBフラッシュメモリー内やコンピューターから楽器本体に転送されたファイルのファイル名に対する言語種類を設定します。

* 楽器音ごとに最適な設定値になっています。

** 現在選ばれている「ソング」「スタイル」「グループ」ごとに最適な設定値になっています。

NOTE

- MIDIとオーディオの項目は、楽器の[USB TO HOST]端子とコンピューターなどの外部機器を接続した場合(44ページ)に活用できません。

USBフラッシュメモリーを使う

[USB TO DEVICE]端子に接続したUSBフラッシュメモリー (別売)に、ユーザーソングや楽器の設定などを、個別のファイルとして保存できます。保存したファイルは、あとで楽器本体に再度読み込むことができます。

重要

- USBフラッシュメモリーに対する操作を行なう場合は、電源アダプターを使用することをおすすめします。電池を使用すると、操作中に電源が切れてデータを失うおそれがあります。また機能によっては、画面上に「UseAdpt」と表示され、操作ができません。

[USB TO DEVICE]端子ご使用上の注意

本機には[USB TO DEVICE]端子があります。[USB TO DEVICE]端子にUSB機器を接続する場合は、以下のことをお守りください。

NOTE

- USB機器の取り扱いについては、お使いのUSB機器の取扱説明書もご参照ください。

■ 使用できるUSB機器

- USBフラッシュメモリー

上記以外のUSB機器(USBハブ、マウス、コンピューターのキーボードなど)は、接続しても使えません。動作確認済みUSB機器については、下記ウェブサイトの「資料/データ」から、モデル名を入力すると確認できます。ご購入の前に確認ください。

サポート・お問い合わせ:

<https://jp.yamaha.com/support/>

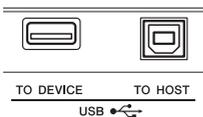
本機では、USB1.1~3.0の機器がご使用できますが、機器への保存や機器からの読み込みにかかる時間は、データの種類や本機の状態により異なりますのでご了承ください。

NOTE

- [USB TO DEVICE]端子の定格は、最大5V/500mAです。定格を超えるUSB機器は故障の原因になるため、接続しないでください。

■ USB機器の接続

- [USB TO DEVICE]端子の形状に合うプラグを上下の向きに注意して差し込んでください。



注記

- USB機器の抜き差しは、再生や録音中、ファイル操作中(保存/削除/フォーマットなど)、およびUSB機器へのアクセス中には行なわないでください。楽器本体の機能が停止したり、USB機器やデータが壊れたりするおそれがあります。
- USB機器の抜き差しは、数秒間隔を空けて行ってください。

NOTE

- USBケーブルで接続する場合、3メートル未満のケーブルをご使用ください。[USB TO DEVICE]端子と接続するUSB機器の間をケーブルなどで延長することはできません。

USBフラッシュメモリーの取り扱いについて

本機にUSBフラッシュメモリーを接続すると、楽器本体で制作したデータをUSBフラッシュメモリーに保存したり、USBフラッシュメモリーのデータを楽器本体で再生したりできます。

■ 接続できるUSBフラッシュメモリーの数

使用できるUSBフラッシュメモリーは、1台のみです。

■ USBフラッシュメモリーのフォーマット

USBフラッシュメモリーは本機でフォーマット(9ページ)することをおすすめします。他の機器でフォーマットしたUSBフラッシュメモリーは、本機で正しく動作しない場合があります。

注記

- フォーマットを実行すると、そのUSBフラッシュメモリーの中身は消去されます。必要なデータが入っていないのを確認してからフォーマットしてください。

■ 誤消去防止

USBフラッシュメモリーには、誤ってデータを消してしまわないようライトプロテクト機能のついたものがあります。大切なデータが入っている場合は、ライトプロテクトで書き込みができないようにしましょう。逆にデータを保存する場合などは、ご使用前にお使いのUSBフラッシュメモリーのライトプロテクトが解除されていることをご確認ください。

■ USBフラッシュメモリー接続時に電源を切るには

電源を切る場合は、再生/録音やファイル操作(保存/削除/フォーマットなど)によるUSBフラッシュメモリーへのアクセス中でないことを確認してください。USBフラッシュメモリーやデータが壊れたりするおそれがあります。

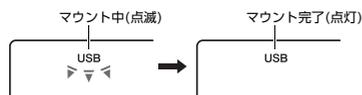
USBフラッシュメモリーを接続する

NOTE

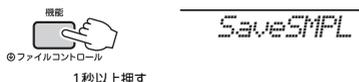
- USBフラッシュメモリーを使う前に、必ず67ページ「[USB TO DEVICE]端子ご使用上の注意」をお読みください。
- スムーズに操作できるよう、メッセージが表示されることがあります。詳しくは74ページ「メッセージ一覧」をご覧ください。

1 USBフラッシュメモリーを[USB TO DEVICE]端子に接続し、画面左上に「USB」と点灯することを確認します。

「USB」表示は、USBフラッシュメモリーが楽器本体に認識されたことを示しています。



2 [機能](FUNCTION)ボタンを1秒以上押して、ファイルコントロール画面に入ります。



- 画面上に「UnFormat」に続いて「Format?」が表示された場合
接続したUSBフラッシュメモリーをフォーマットする必要があります。69ページの手順2以降の説明に従って、フォーマットしてください。

NOTE

- 以下の場合、ファイルコントロール画面には入れません。
 - スタイルやグループ、ソングの再生/録音中
 - クイックサンプリングモード中、オーディオモード中
 - USBフラッシュメモリーを接続したにもかかわらず、画面左上の欄に「USB」と表示されない場合
- ファイルコントロール画面が表示されている間は、鍵盤を押しても音は鳴りません。また、ファイル操作に関するボタン以外は使用できなくなります。

3 カテゴリーボタン[<<][>>]を押して、操作項目を選び、データの保存や読み込みなど、やりたい操作を行います。

詳細は次表の参照ページの説明をご覧ください。

ファイルコントロール操作一覧

表示	操作	参照ページ
Save SMPL	USBフラッシュメモリーにサンプルを保存する	32ページ
Load SMPL	USBフラッシュメモリー内のサンプルを読み込む	33ページ
Del SMPL	USBフラッシュメモリー内のサンプルを削除する	33ページ
Del AUDIO	USBフラッシュメモリー内のオーディオファイルを削除する	41ページ
Save SMF	USBフラッシュメモリーにSMFファイルを保存する	70ページ
Del SMF	USBフラッシュメモリー内のSMFファイルを削除する	73ページ
Save USR	USBフラッシュメモリーにユーザーソング(MIDIファイル)を保存する	69ページ
Load USR	USBフラッシュメモリー内のユーザーソング(MIDIファイル)を読み込む	71ページ
Del USR	USBフラッシュメモリー内のユーザーソング(MIDIファイル)を削除する	73ページ
Load STY	スタイルファイルを個別に読み込む	72ページ
Format?	USBフラッシュメモリーをフォーマットする	69ページ
Exit?	ファイルコントロール画面を抜ける	74ページ

NOTE

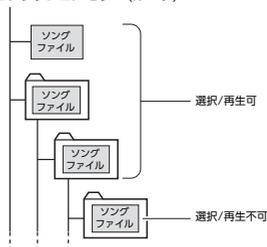
- ファイルコントロール画面は、[機能](FUNCTION)ボタンを押して抜けることもできます。

USBフラッシュメモリー内のソング再生時(25ページ)に認識可能なフォルダー構成

重要

- コンピューターなどでUSBフラッシュメモリー内のソングファイルを管理する場合、ルートカールト上の2階層めまでのフォルダー内に保存してください。これより下の階層のフォルダーに保存されたソングは、この楽器では選択/再生できませんのでご注意ください。
- USBフラッシュメモリーの中に大量のデータがある場合は、読み込みに時間がかかる場合があります。

USBフラッシュメモリー(ルート)



曲名表示について

ファイル名に半角のカタカナが含まれている場合、本体の言語の設定(66ページ、機能番号065)を「Japanese」にすることで、半角のカタカナも表示できるようになります。ただし「Japanese」でも、ファイル名以外は常に英語で表示されます。

USBフラッシュメモリーをフォーマットする

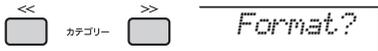
市販のUSBフラッシュメモリーを、この楽器で使用できる状態にすることをフォーマット(初期化)といいます。

注記

- フォーマットを実行すると、そのUSBフラッシュメモリーの中身は消去されます。必要なデータが入っていないのを確認してからフォーマットしてください。

1 [機能](FUNCTION)ボタンを1秒以上押して、ファイルコントロール画面に入ります。

2 カテゴリーボタン[<<][>>]を何度か押して、「Format?」を表示させます。



3 [0/実行(EXECUTE)]ボタンを押します。フォーマットの実行を再確認するメッセージが表示されます。フォーマットを中止する場合は、[-/NO]ボタンを押します。



4 [0/実行(EXECUTE)]ボタンまたは[+/YES]ボタンを押して、フォーマットを実行します。しばらくするとフォーマット完了を示すメッセージが表示され、USBフラッシュメモリーに「USER FILES」フォルダーが自動的に作成されます。

注記

- フォーマット実行中はキャンセルできません。絶対に電源を切ったり、USBフラッシュメモリーを抜いたりしないでください。データ損失の原因になります。

5 [機能](FUNCTION)ボタンを押して、ファイルコントロール画面を抜けます。

USBフラッシュメモリーにユーザーデータを保存する

この楽器本体で作った下記3つのデータを「ユーザーデータ」といいます。

- 全10曲のユーザーソングデータ(25ページ)
- コンピューターから転送し、スタイル番号236～245に読み込んだスタイルデータ(72ページ)
- 全レジストレーションメモリーデータ(42ページ)

これらをまとめて1つのユーザーファイル(.usr)として、USBフラッシュメモリーに保存します。

NOTE

- サンプルの保存については32ページをご覧ください。
- ユーザーファイルの拡張子は楽器本体の画面には表示されません。USBフラッシュメモリーをコンピューターに接続したときに、コンピューターの画面上でご確認ください。

1 [機能](FUNCTION)ボタンを1秒以上押して、ファイルコントロール画面に入ります。

2 カテゴリーボタン[<<][>>]を何度か押して、「Save USR」を表示させます。



3 [0/実行(EXECUTE)]ボタンを押します。保存先のユーザーファイル名が「USER***」(***は001～100の数字)と表示されます。別のファイルを選びたい場合は、ダイヤルを回してUSER001～100の中から選びます。



4 [0/実行(EXECUTE)]ボタンをもう一度押します。

保存の実行を確認するメッセージが表示されます。保存を中止する場合は、[-/NO]ボタンを押します。

上書きについて

保存先に選んだファイルにすでにデータがある場合は、「Overwr?」と表示されます。

5 [0/実行(EXECUTE)]ボタンまたは[+/YES]ボタンを押して、保存を実行します。

USBフラッシュメモリー内の「USER FILES」フォルダーに、ユーザーファイルが保存されます。保存が完了すると、メッセージが表示されます。なお「USER FILES」フォルダーは自動的に作成されます。

注記

• 保存の実行中はキャンセルできません。絶対に電源を切ったりUSBフラッシュメモリーを抜いたりしないでください。データ損失の原因になります。

NOTE

• USBフラッシュメモリーの状態により、保存に長時間かかる場合があります。

6 [機能](FUNCTION)ボタンを押して、ファイルコントロール画面を抜けます。

NOTE

• USBフラッシュメモリーに保存されたユーザーファイルを再度本体に読み込みたい場合は、71ページの操作を行います。

USBフラッシュメモリーにユーザーソングをSMFとして保存する

ユーザーソングをSMF(スタンダードMIDIファイル)フォーマット0に変換してUSBフラッシュメモリーに保存します。

SMF(スタンダードMIDIファイル)

鍵盤などで演奏した内容をMIDIデータとして記録する書式のことです。フォーマット0とフォーマット1があります。多くの楽器がSMFフォーマット0に対応しており、また市販のソングデータの多くがSMFフォーマット0で作られています。

NOTE

- グループを録音したユーザーソングなど、変換したSMFのサイズが大きいと、楽器本体で再生できないことがあります。グループの演奏を録音するときは、オーディオ録音がおすすです。
- DSP効果(22ページ)は、SMFに変換されません。
- 楽器本体で設定したトランスポーズは反映されません。

1 [機能](FUNCTION)ボタンを1秒以上押して、ファイルコントロール画面に入ります。

2 カテゴリーボタン[<<|>>]を何度か押して、「Save SMF」を表示させます。



3 [0/実行(EXECUTE)]ボタンを押します。

変換の対象となるユーザーソングが「User **」(**は1~10の数字)と表示されます。変換の対象として別のユーザーソングを選びたい場合は、**ダイヤル**を回してUser 1~10の中から選びます。



4 [0/実行(EXECUTE)]ボタンを、もう一度押します。

画面に、USBフラッシュメモリー上の保存先ファイル名が「SONG***」(***は001~100の数字)と表示されます。保存先として別のファイルを選びたい場合は、**ダイヤル**を回してSONG001~100の中から選びます。



5 [0/実行(EXECUTE)]ボタンを、もう一度押します。

保存の実行を確認するメッセージが表示されます。保存を中止する場合は、[-/NO]ボタンを押します。

上書きについて

保存先のファイルにすでにデータの入っている場合は、上書き確認のメッセージが表示されます。

6 [0/実行(EXECUTE)]ボタンまたは[+/YES]ボタンを押して、保存を実行します。

ユーザーソングは、SMFフォーマット0に変換された状態で、USBフラッシュメモリー内の「USER FILES」フォルダーに保存されます。保存が完了すると、メッセージが表示されます。なお「USER FILES」フォルダーは自動的に作成されます。

注記

- 保存の実行中はキャンセルできません。絶対に電源を切ったりUSBフラッシュメモリーを抜いたりしないでください。データ損失の原因になります。

NOTE

- USBフラッシュメモリーの状態により、保存に長時間かかる場合があります。

7 [機能](FUNCTION)ボタンを押して、ファイルコントロール画面を抜けます。

USBフラッシュメモリーからユーザーデータを読み込む

USBフラッシュメモリーに保存したユーザーデータ(69ページ)を、まとめて楽器本体に読み込みます(ロードします)。

注記

- ユーザーファイルを読み込むと、楽器本体内にある既存のユーザーソング全10曲、スタイル番号236~245のスタイルデータ、レジストレーションメモリーデータはすべて上書きされ、消去されます。大切なデータは、別ファイルとして、読み込み前にUSBフラッシュメモリーに保存しておきましょう。

重要

- 読み込むユーザーファイルは、USBフラッシュメモリーの「USERFILES」フォルダー内にある必要があります。フォルダー外にあるファイルは認識されません。

NOTE

- サンプルの読み込みについては33ページをご覧ください。

1 [機能](FUNCTION)ボタンを1秒以上押して、ファイルコントロール画面に入ります。

2 カテゴリーボタン[<<][>>]を何度か押して、[Load USR]を表示させます。



3 [0/実行(EXECUTE)]ボタンを押します。

画面上に、USBフラッシュメモリー内のユーザーファイルが「USER***」(***は数字)と表示されます。必要に応じて、ダイヤルを回して読み込みたいユーザーファイルを選びます。



4 [0/実行(EXECUTE)]ボタンを押します。

読み込みの実行を確認するメッセージが表示されます。読み込みを中止する場合は、[-/NO]ボタンを押します。

5 [0/実行(EXECUTE)]ボタンまたは[+/YES]ボタンを押して、読み込みを実行します。

読み込みが完了すると、画面にメッセージが表示されます。

注記

- 読み込み中はキャンセルできません。絶対に電源を切ったりUSBフラッシュメモリーを抜いたりしないでください。データ損失の原因になります。

6 [機能](FUNCTION)ボタンを押して、ファイルコントロール画面を抜けます。

7 ユーザーソング、スタイル番号236~245、レジストレーションメモリーを呼び出して、内容を確認しましょう。

スタイルファイルを個別に読み込む

スタイル番号236~245のいずれかに、外部で作られたスタイルファイル(.sty)を読み込み、内蔵スタイルと同じように演奏できます。読み込み(ロード)の方法として、以下2種類があり、ここではまとめて操作方法を説明します。

- USBフラッシュメモリーのルートに保存してあるスタイルファイル(.sty)を読み込む。
- コンピューターからMusicsoft Downloaderを使って楽器本体に転送したスタイルファイル(.sty)を読み込む。

NOTE

- コンピューターからMusicsoft Downloaderを使って楽器本体にスタイルを転送する方法については、電子マニュアル(11ページ)「コンピューターとつなぐ」をご覧ください。この楽器では、転送したあとに、スタイル番号236~245のいずれかに読み込むことで、再生ができます。

注記

- スタイルファイルを読み込むと、読み込み先のスタイル番号にあった既存のデータは上書きされ、消去されます。大切なデータは、別ファイルとして保存しておきましょう。

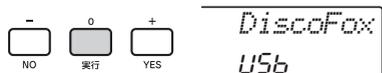
1 [機能](FUNCTION)ボタンを1秒以上押して、ファイルコントロール画面に入ります。

2 カテゴリーボタン[<<][>>]を何度か押して、「Load STY」を表示させます。



3 [0/実行(EXECUTE)]ボタンを押します。

USBフラッシュメモリー内または楽器の内部メモリー内のスタイルファイルが表示されます。必要に応じて、**ダイアル**を回して読み込みたいファイルを選びます。



4 [0/実行(EXECUTE)]ボタンを押します。

画面に、保存先スタイル番号が「Load To? ***」(***は236~245の数字)と表示されます。別の番号に読み込みたいときは、**ダイアル**を回して番号を選びます。



5 [0/実行(EXECUTE)]ボタンを押します。

読み込みの実行を確認するメッセージが表示されます。読み込みを中止する場合は、[-/NO]ボタンを押します。

6 [0/実行(EXECUTE)]ボタンまたは[+/YES]ボタンを押して、読み込みを実行します。

読み込みが完了すると、画面にメッセージが表示されます。

注記

- 読み込み中はキャンセルできません。絶対に電源を切ったりUSBフラッシュメモリーを抜いたりしないでください。データ損失の原因になります。

7 [スタイル](STYLE)ボタンを押し、**ダイアル**を回してスタイル番号236~245のいずれかを選び、読み込んだスタイルデータを再生してみましょう。

USBフラッシュメモリー内のユーザーファイルを削除する

USBフラッシュメモリー内のユーザーファイル(.usr)を削除します。

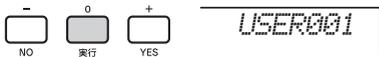
重要

- 削除するファイルは、USBフラッシュメモリーの「USER FILES」フォルダー内にある必要があります。フォルダー外にあるファイルは認識されません。

- 1 [機能](FUNCTION)ボタンを1秒以上押し、ファイルコントロール画面に入ります。
- 2 カテゴリーボタン[<<][>>]を何度か押し、[Del USR] を表示させます。



- 3 [0/実行(EXECUTE)]ボタンを押します。USBフラッシュメモリー内のユーザーファイルが「USER***」(***は数字)と表示されます。必要に応じて、ダイヤルを回して削除したいファイルを選びます。



- 4 [0/実行(EXECUTE)]ボタンを押します。削除の実行を確認するメッセージが表示されます。削除を中止する場合は、[-/NO]ボタンを押します。

- 5 [0/実行(EXECUTE)]ボタンまたは[+/YES]ボタンを押して、削除を実行します。削除が完了すると、画面にメッセージが表示されます。

注記

- 削除中はキャンセルできません。絶対に電源を切ったりUSBフラッシュメモリーを抜いたりしないでください。データ損失の原因になります。

- 6 [機能](FUNCTION)ボタンを押して、ファイルコントロール画面を抜けます。

USBフラッシュメモリー内のSMFファイルを削除する

楽器本体で録音しSave SMF(70ページ)でUSBフラッシュメモリー内に保存したSMFソングを、個別に削除することができます。

重要

- 削除するファイルは、USBフラッシュメモリーの「USER FILES」フォルダー内にある必要があります。フォルダー外にあるファイルは認識されません。また、ソング名は必ず「SONG***」(***は001~100)である必要があります。

- 1 [機能](FUNCTION)ボタンを1秒以上押し、ファイルコントロール画面に入ります。
- 2 カテゴリーボタン[<<][>>]を何度か押し、[Del SMF] を表示させます。



- 3 [0/実行(EXECUTE)]ボタンを押します。USBフラッシュメモリー内のSMFソングが「SONG***」(***は数字)と表示されます。必要に応じて、ダイヤルを回して削除したいSMFソングを選びます。



- 4 [0/実行(EXECUTE)]ボタンを押します。削除の実行を確認するメッセージが表示されます。削除を中止する場合は、[-/NO]ボタンを押します。

- 5 [0/実行(EXECUTE)]ボタンまたは[+/YES]ボタンを押して、削除を実行します。削除が完了すると、画面にメッセージが表示されません。

注記

- 削除中はキャンセルできません。絶対に電源を切ったりUSBフラッシュメモリーを抜いたりしないでください。データ損失の原因になります。

- 6 [機能](FUNCTION)ボタンを押して、ファイルコントロール画面を抜けます。

ファイルコントロール画面を抜ける

ファイルコントロール画面から抜けるには、【機能】(FUNCTION)、【楽器】(VOICE)、【スタイル】(STYLE)、【ソング】(SONG)、【グループクリエイター】(GROOVE CREATOR) ボタンのいずれかを押しします。または、以下の方法でも抜けられます。

- 1 カテゴリーボタン[<<][>>]を何度か押して、「Exit?」を表示させます。



- 2 [0/実行(EXECUTE)]ボタンを押すと、ファイルコントロール画面を抜けます。



メッセージ一覧

メッセージ	内容
Can'tUse	USBフラッシュメモリーのマウント中の操作はできません。マウント完了後に操作してください。
Compleat.	保存、転送などの実行が完了したときに表示されます。
Data Err	ソングデータ中に正しくないデータがあると表示されます。
Disk Ful	メモリー容量がいっぱいになったため、データを保存できません。別のUSBフラッシュメモリーに保存するか、既存のデータを削除してから、改めて保存してください。
Error	ファイルにエラーがあるときと、操作中にエラーが起こったときに表示されません。
File Ful	ファイル数の制限を超えたため、保存できないときに表示されます。別のUSBフラッシュメモリーに保存するか、既存のファイルを削除してから、改めて保存してください。
no data	データがありません。
no file	ファイルがありません。
Ovr (点滅)	USBフラッシュメモリーに過電流が流れたため、USBフラッシュメモリーとの通信を停止しました。USBフラッシュメモリーを[USB TO DEVICE]端子から抜き、本体の電源を入れ直してください。
Protect	USBフラッシュメモリーにライトプロテクト(書き込み禁止)がかかっているため、書き込みできません。ライトプロテクトスイッチをオフにするか、ライトプロテクトのかかっていない別のUSBフラッシュメモリーをご使用ください。
UnFormat	フォーマットされていないUSBフラッシュメモリーが接続されています。
UseAdpt	楽器の電源に電池を使用している場合は、USBフラッシュメモリーへの書き込みはできません。電源アダプターを接続してください。

困ったときは

現象	原因と解決方法
[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して、電源を入れたときに、ポツンという音がする。	故障ではありません。本体に電流が流れるためです。
[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して、電源を入れたときに、電源がすぐ切れる。	故障ではありません。指定以外の電源アダプターを使用すると、電源を入れたときに電源がすぐに切れる場合があります。
この楽器の近くで携帯電話を使っている(または呼び出し音が鳴っている)とき、本体スピーカーやヘッドフォンから雑音が出る。	この楽器の近くでは携帯電話の電源を切ってください。この楽器の近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。
電源が勝手に切れる。	故障ではありません。オートパワーオフ機能(15ページ)が働いたためです。
<ul style="list-style-type: none"> 音量が小さくなった。 音質が劣化した。 スタイル/ソング/グループ/アルペジオが勝手に止まる。 ソングなどの録音内容が、正しく演奏(再生)されない。 突然画面の表示が消え、パネル設定がリセットされた。 USBフラッシュメモリーを接続すると電源が切れる。 	電池が消耗しています。6本とも、新しい電池または充電された電池に交換するか、電源アダプターを使用してください。
鍵盤を押さえても、音が鳴らない。 スタイル/ソング/グループをスタートさせても、音が鳴らない。	<p>[PHONES/OUTPUT]端子に、ヘッドフォンなどのプラグが接続されていませんか？この端子の接続中は、本体スピーカーから音は鳴りません。</p> <p>MIDIのローカルコントロール(65ページ)がオフ(OFF)に設定されていませんか？通常は、オン(ON)に設定してください。</p>
フットスイッチ(サステイン)のオン/オフが逆になった。 (フットスイッチを踏むと音がカットされ、フットスイッチから足を離すとサステインが効く)	フットスイッチを踏んだまま電源を入れたり、電源が入った状態でフットスイッチの抜き差しをしたためです。電源を切り、フットスイッチを踏まずに、もう一度電源を入れ直してください。
鍵盤演奏をしているとき、同時に押さえた鍵盤で鳴らない音がある。また、スタイル/ソング/グループ/アルペジオの演奏音が途中で途切れることがある。	この楽器では、デュアルボイスやスプリットボイス、スタイル/ソング/グループ/アルペジオなどを含めて、最大48音の範囲で鳴らせます。48以上の発音情報があった場合、発音中のいずれかの音が消えてしまいます。
押さえる鍵盤によって、音質や音量が異なる。	故障ではありません。この楽器では、リアルな楽器表現を可能にするために、鍵盤をいくつかに分けて楽器音をサンプリングしています。したがって、音色によっては、音域によって音質や音量が異なる場合があります。
鍵盤で弾いた音やスタイル/グループ/ソング再生音が、ひずんだり、リバーブが深くかかりすぎた状態になるなど、通常とは違うサウンドになったが、元に戻す方法がわからない。	ノブ操作で楽器のサウンドを変えた場合に、予期せぬサウンドになる場合があります。このような場合で元に戻したいときは、DSPをオフにするか、音色/スタイル/ソング/グループを切り替えるか、[GRANDピアノ](PORTABLE GRAND)ボタンを押して、パネル設定をリセットしてください。
[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押しても、ソング/スタイル/グループがスタートしない。アルペジオをオンにして鍵盤を弾いても、アルペジオがスタートしない。	外部クロック(65ページ)がオン(ON)に設定されていませんか？通常、外部クロックはオフ(OFF)に設定しておきましょう。
ソング/スタイル/グループの再生音量が小さい。	機能設定での音量が下がっていませんか？設定を確認してください(59、62ページ)。
スタイルをオンにしてもかかわらず、左手の鍵盤を弾いてもコードが認識されない。	スプリットポイントの設定(59ページ)が不適切ではありませんか？適切な位置に設定しましょう。
スタイル再生で、リズム(ドラム)パート以外の音が鳴らない。	ACMP(24ページ)表示は出ていますか？表示が出ていない場合は、もう一度[スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF)ボタンを押してACMPを表示させてください。
スタイル番号211や223~235を選んでいるとき、[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押してもリズムが鳴らない。	故障ではありません。これらのスタイルは、リズムパートがないので、リズムは鳴りません。スタイルをオンにして左手鍵盤でコードを押さえ、リズム以外のパートを鳴らしましょう。
[スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF)ボタンを押しても、ACMPが表示されない。	[スタイル](STYLE)ランプは点灯していますか？スタイルを使うときは、まず[スタイル](STYLE)ボタンを押して、[スタイル](STYLE)ランプを点灯させましょう。

必要に応じて、「メッセージ一覧」(40、74ページ)もご確認ください。

楽器リスト

最大同時発音数について

この楽器の最大同時発音数は48音ですが、スプリット音色やスタイル、ソングなどを含めたすべての発音数の合計が48音ということです。したがって、スタイルやソングの再生などで発音している分だけ、鍵盤演奏の発音数は減少します。48音以上になると、後着優先*で発音します。

*後着優先：最大同時発音数を超えて演奏情報を受けた場合、発音中の音を切った音を止め、後から送られてくる演奏情報を優先的に発音するしくみ。

NOTE

- MIDIを使ってこの楽器の楽器音を鳴らす場合は、MIDIプログラムチェンジNo.を使用してください。
- プログラムチェンジを0~127で設定する場合は、リストのMIDIプログラムチェンジNo.から1を引いた数で指定します。たとえば、No.2のプログラムを指定する場合は、1の値になります。
- この楽器リストは、わかりやすい日本語表記にするため、本体画面の英語表記と異なる場合があります。

[パネル楽器リスト]

楽器番号	バンクセレクト		MIDIプログラムチェンジNo. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
ピアノ				
1	0	112	1	グランドピアノ
*2	-	-	-	オクターブピアノ
3	0	112	2	ブライトピアノ
4	0	112	7	ハーブシコード
*5	-	-	-	オクターブハーブシコード
6	0	112	4	ホンキートンクピアノ
7	0	112	3	ミディグランドピアノ
8	0	113	3	CP80
*9	-	-	-	ピアノ&ストリングス
*10	-	-	-	ピアノパッド
エレピ				
11	0	114	5	クール！ギャラクシーエレクトリックピアノ
12	0	113	6	ハイパータインズ
*13	-	-	-	ダイニーエレクトリックピアノ
14	0	112	5	ファンキーエレクトリックピアノ
15	0	112	6	DXモダンエレクトリックピアノ
16	0	114	6	ビーナズエレクトリックピアノ
*17	-	-	-	エレクトリックピアノパッド
18	0	112	8	クラブ
オルガン				
19	0	118	19	クール！オルガン
20	0	117	19	クール！ローターオルガン
21	0	112	17	ジャズオルガン 1
22	0	113	17	ジャズオルガン 2
23	0	112	19	ロックオルガン
24	0	114	19	パープルオルガン
25	0	112	18	クリックオルガン
26	0	116	17	ブライトオルガン
27	0	127	19	シアターオルガン
28	0	121	20	16+2オルガン
29	0	120	20	16+4オルガン
*30	-	-	-	フルオルガン
31	0	113	20	チャペルオルガン
32	0	112	20	パイプオルガン
33	0	112	21	リードオルガン
アコーディオン				
34	0	112	22	ミュージックアコーディオン
35	0	113	22	ドラディショナルアコーディオン
36	0	113	24	バンドネオン
37	0	112	23	スイート！ハーモニカ
38	0	113	23	モダンハーブ
39	0	115	23	ハーモニカ
ギター				
40	0	116	25	ダイナミックナイロン弦ギター
41	0	118	30	ダイナミックオーバードライブギター
42	0	112	25	クラシックギター
43	0	112	26	フォークギター
44	0	112	27	ジャズギター
*45	-	-	-	オクターブジャズギター
46	0	117	28	60年代風クリーンギター
47	0	113	26	12弦ギター
48	0	112	28	クリーンギター
49	0	113	27	オクターブギター
50	0	112	29	ミュートギター
51	0	112	30	オーバードライブギター
52	0	112	31	ディストーションギター

楽器番号	バンクセレクト		MIDIプログラムチェンジNo. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
ベース				
53	0	116	34	ダイナミックエレクトリックベース
54	0	112	34	フィンガーベース
55	0	112	33	アコースティックベース
56	0	112	35	ピックベース
57	0	112	36	フレットレスベース
58	0	112	37	スラップベース
59	104	20	88	マルチソープベース
60	104	18	88	ディープサブ
61	0	118	40	DX100ベース
62	0	119	40	ランプベース
63	0	120	40	ダークコアベース
64	0	119	39	ファットローベース
65	0	122	40	ブリープベース
66	0	121	40	ファンクベース
67	0	112	39	シンセベース
68	0	113	39	ハイQベース
69	0	113	40	ダンスベース
ストリングス				
70	0	112	49	ストリングス
71	0	112	50	チェンバーストリングス
72	0	115	50	マルカートストリングス
73	0	113	50	スローストリングス
*74	-	-	-	オクターブストリングス
*75	-	-	-	オーケストラセクション
*76	-	-	-	オーケストラトックティ
77	0	112	45	トレモロストリングス
78	0	112	51	シンセストリングス
79	0	112	46	ピチカートストリングス
*80	-	-	-	オクターブピチカートストリングス
81	0	112	41	バイオリン
82	0	112	43	チェロ
*83	-	-	-	ストリングスセッション
84	0	112	44	コントラバス
85	0	112	47	ハーブ
*86	-	-	-	オクターブハーブ
87	0	112	56	オーケストラヒット
*88	-	-	-	オーケストラヒット&ティンパニ
コーラス				
89	0	112	53	コーラス
90	0	113	53	ボーカルアンサンブル
91	0	112	55	エアコーラス
*92	-	-	-	オクターブコーラス
93	0	112	54	ボックスフマーナ
サックス				
94	0	117	67	スイート！テナーサックス
95	0	113	65	スイート！ソプラノサックス
96	0	116	66	サックスセクション
*97	-	-	-	ボールルームサックスアンサンブル
*98	-	-	-	サックス&トロンボーン
99	0	112	67	テナーサックス
100	0	112	66	アルトサックス
101	0	112	65	ソプラノサックス
102	0	112	68	バリトンサックス
103	0	114	67	フレッシュテナーサックス
104	0	112	72	クラリネット
105	0	112	69	オーボエ

楽器番号	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
106	0	112	70	イングリッシュホルン
107	0	112	71	バスーン
108	0	116	72	木管アンサンブル
トランペット				
109	0	115	57	スイート!トランペット
110	0	117	58	スイート!トロンボーン
111	0	112	57	トランペット
112	0	112	58	トロンボーン
113	0	113	58	トロンボーンセクション
*114	-	-	-	トランペット&トロンボーン
115	0	112	60	ミュートトランペット
116	0	112	61	フレンチホルン
*117	-	-	-	オクターブフレンチホルン
118	0	112	59	チューバ
ブラス				
119	0	112	62	ブラスセクション
120	0	113	62	ビッグバンドブラス
121	0	116	62	オクターブブラス
*122	-	-	-	ボールルームブラス
*123	-	-	-	ジャズブラスセクション
*124	-	-	-	ジャズセクション
*125	-	-	-	ブラストゥッチェ
*126	-	-	-	オーケストラブラス
127	0	113	56	ブラスピット
128	0	113	63	80年代風ブラス
*129	-	-	-	ファットシンセブラス
130	0	119	62	メロホン
131	0	115	63	ファンキーブラス
132	0	114	63	テクノブラス
133	0	112	63	シンセブラス
フルート				
134	0	114	74	スイート!フルート
135	0	115	74	スイート!クラシカルフルート
136	0	113	76	スイート!パンフルート
137	0	112	74	フルート
*138	-	-	-	フルート&クラリネット
139	0	112	73	ピッコロ
140	0	112	76	パンフルート
141	0	112	75	リコーダー
142	0	112	80	オカリナ
シンセリード				
143	104	20	91	ジェミニ
144	104	21	91	ハンズアップ!
145	0	104	82	RSノコギリ波リード 1
146	0	106	82	RSノコギリ波リード 2
147	0	114	84	RSディスターションリード
148	0	127	81	RSデュアル矩形波リード
149	0	107	82	RSランプリード
150	0	108	82	RSテクノノコギリ波リード
151	0	119	85	RSファックリード
152	0	109	82	RSデュアルノコギリ波リード
153	0	105	82	RSシンク 1
154	0	119	88	RSシンク 2
155	104	5	85	ブライトディケイ
156	0	112	81	スクエアリード
157	0	112	82	ソートゥースリード
158	0	112	88	アンダーハイム
159	0	112	85	ポーダトーン
160	0	115	82	アナログン
161	0	119	82	ファゴ
162	0	112	86	ボイスリード
163	0	121	82	ファンキーリード
*164	-	-	-	オクターブリード
*165	-	-	-	ウウスクエアリード
*166	-	-	-	レゾナンスリード
*167	-	-	-	クワックリード
*168	-	-	-	5度ウウリード
*169	-	-	-	スーパー5度リード
170	0	120	123	ノイズ
シンセパッド				
171	0	116	99	ダイナミックチャイム
172	104	24	91	パンチーコース
173	0	126	90	RSアナログパッド

楽器番号	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
174	0	123	90	RSシンセパッド
175	0	113	92	RSウォームパッド
176	0	116	91	RSショートレゾナンス
177	0	124	90	RSノイズパッド
178	0	125	90	RSテクノマン
179	0	118	89	スイートヘヴン
180	0	121	89	ドリームヘヴン
181	0	113	89	シンシアント
182	0	112	99	スターダスト
183	0	112	92	ゼノンパッド
184	0	112	95	イグイノックス
185	0	112	89	ファンタジア
186	0	113	90	ダークムーン
187	0	112	101	ブライトネス
188	0	113	101	ヘルパッド
パーカッション				
189	0	112	12	ピラフォン
190	0	112	13	マリンバ
**191	-	-	-	トレモロマリンバ
192	0	112	14	シロフォン
**193	-	-	-	トレモロシロフォン
194	0	112	115	スチールドラム
**195	-	-	-	トレモロスチールドラム
196	0	112	9	チェレスタ
197	0	112	11	オルゴール
198	0	112	15	チューブラーベル
199	0	112	48	ティンパン
**200	-	-	-	ティンパニロール
ワールド				
201	0	112	106	バンジョー
202	0	0	111	フィドル
203	0	124	57	トロンベータバンダ
204	0	119	58	トロンボーンバンダ
205	0	0	110	バグパイプ
206	0	0	16	ダルシマー 1
207	0	35	16	ダルシマー 2
208	0	96	16	ツインパロン
**209	-	-	-	トレモロツインパロン
210	0	96	105	タンブラ
211	0	97	16	サントゥール
212	0	97	108	カヌーン
213	0	98	106	ウード
214	0	96	106	ラバーブ
215	0	0	109	カリンバ
216	0	113	21	ハルモニウム 1(単音)
217	0	114	21	ハルモニウム 2(二音)
218	0	115	21	ハルモニウム 3(三音)
219	0	114	105	タンブラ
220	0	0	105	シタール 1
221	0	32	105	デチューンドシタール
222	0	35	105	シタール 2
223	0	0	112	ジャナイ
224	0	96	112	アーンギ
225	0	97	106	ゴビチャント
226	0	116	117	タブラ
227	0	115	111	二胡(アウフ)
228	0	118	74	笛子(ディズ)
229	0	116	106	琵琶(ピバ)
230	0	113	108	古筝(グゼン)
231	0	40	47	揚琴(ヤンチン)
**232	-	-	-	トレモロヤンチン
233	0	120	111	モリソフル
234	0	0	107	三味線
235	0	0	108	琴
236	0	96	108	大正琴
237	0	97	112	箏(ヒチリキ)
ドラムキット				
238	127	0	88	パワーキット
239	127	0	1	スタンダードキット 1
240	127	0	2	スタンダードキット 2
241	127	0	9	ルームキット
242	127	0	17	ロックキット
243	127	0	25	エレクトロニックキット

楽器リスト

楽器番号	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
244	127	0	65	ハウスキット
245	127	0	59	T8キット
246	127	0	60	T9キット
247	127	0	26	アナログキット
248	127	0	113	ダンスキット
249	127	0	33	ジャズキット
250	127	0	41	ブラッシュキット
251	127	0	49	シンフォニーキット
252	126	0	1	SFXキット 1
253	126	0	2	SFXキット 2
254	126	0	21	バスドラムキット
255	126	0	22	リバースバスドラムキット
256	126	0	125	中国キット 1
257	127	0	127	中国キット 2
258	126	0	40	インドキット 1
259	126	0	115	インドキット 2
260	126	0	37	アラビックキット
261	126	0	41	キューバンキット
アルペジオ				
262	-	-	-	コンチェルト
263	-	-	-	チェンバー
264	-	-	-	ピチカートストリングス
265	-	-	-	ラテンロック
266	-	-	-	ブラスセクション 1
267	-	-	-	ブラスセクション 2
268	-	-	-	ファンクブラス
269	-	-	-	ピアノコード
270	-	-	-	ピアノバラード
271	-	-	-	ピアノアルペジオ
272	-	-	-	ハイブリッド
273	-	-	-	シンセシーケンス
274	-	-	-	ギタリスト
*275	-	-	-	ストラム
276	-	-	-	ピッキング
277	-	-	-	スバニッシュ
278	-	-	-	シンセコード
279	-	-	-	ファンキークラブ
280	-	-	-	レゲエオルガン
281	-	-	-	ハーベジオ
282	-	-	-	アナログシーケンス
283	-	-	-	ソートゥース
284	-	-	-	パーカッションアルペジオ
285	-	-	-	トリル
286	-	-	-	クラブビート
287	-	-	-	R&Bループ
288	-	-	-	クラブアド
289	-	-	-	サンバ
290	-	-	-	インディアン
291	-	-	-	アラビック
292	-	-	-	フィンガーベースレフト
293	-	-	-	コンボジャズレフト
294	-	-	-	ボールズベースレフト
295	-	-	-	トランスベースレフト
296	-	-	-	アシッドベースレフト
297	-	-	-	ピアノバラードレフト
298	-	-	-	サルサピアノレフト
299	-	-	-	ピアノアルペジオレフト
300	-	-	-	ギターアルペジオレフト
301	-	-	-	ストラムレフト

NOTE

- 楽器番号の前に*が付いている楽器音を選ぶと、デュアル機能が自動的にオンになります。
- 楽器番号の前に**が付いている楽器音を選ぶと、ハーモニー機能が自動的にオンになります。
- 楽器番号262～301の楽器音を選ぶと、アルペジオ機能が自動的にオンになります。

コンピューターから、MIDIメッセージでこれらの楽器音を呼び出すことはできません。

[XGlite楽器リスト]

楽器番号	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
XG ピアノ				
302	0	0	1	グランドピアノ
303	0	1	1	グランドピアノ KSP
304	0	18	1	メローグランドピアノ
305	0	40	1	ピアノストリングス
306	0	41	1	ドリーム
307	0	0	2	フライトピアノ
308	0	1	2	フライトピアノ KSP
309	0	0	3	エレクトリックグランドピアノ
310	0	1	3	エレクトリックグランドピアノ KSP
311	0	32	3	デチューンドCP80
312	0	40	3	レイヤードCP 1
313	0	41	3	レイヤードCP 2
314	0	0	4	ホンキートンクピアノ
315	0	1	4	ホンキートンクピアノ KSP
316	0	0	5	エレクトリックピアノ 1
317	0	1	5	エレクトリックピアノ 1 KSP
318	0	18	5	メローエレクトリックピアノ
319	0	32	5	コーラスエレクトリックピアノ 1
320	0	40	5	ハードエレクトリックピアノ
321	0	45	5	ペロシティークロスフェードエレクトリックピアノ 1
322	0	64	5	60sエレクトリックピアノ
323	0	0	6	エレクトリックピアノ 2
324	0	1	6	エレクトリックピアノ 2 KSP
325	0	32	6	コーラスエレクトリックピアノ 2
326	0	33	6	DXエレクトリックピアノ/ハード
327	0	34	6	DXレジェンドエレクトリックピアノ
328	0	40	6	DXフェーズエレクトリックピアノ
329	0	41	6	DX+アナログエレクトリックピアノ
330	0	42	6	DXコトエレクトリックピアノ
331	0	45	6	ペロシティークロスフェードエレクトリックピアノ 2
332	0	0	7	ハーブシコード 1
333	0	1	7	ハーブシコード KSP
334	0	25	7	ハーブシコード 2
335	0	35	7	ハーブシコード 3
336	0	0	8	クラブ
337	0	1	8	クラブ KSP
338	0	27	8	クラブワウ
339	0	64	8	バブルクラブ
340	0	65	8	ピアシクラブ
XG クロマチック				
341	0	0	9	チェレスタ
342	0	0	10	グロッケンシュペール
343	0	0	11	オルゴール 1
344	0	64	11	オルゴール 2
345	0	0	12	ピラフォン
346	0	1	12	ピラフォン KSP
347	0	45	12	ハードピラフォン
348	0	0	13	マリンバ
349	0	1	13	マリンバ KSP
350	0	64	13	サインマリンバ
351	0	97	13	バリトン
352	0	98	13	ログドラム
353	0	0	14	シロフォン
354	0	0	15	チューブラーベル
355	0	96	15	チャーチベル
356	0	97	15	カリヨン
XG オルガン				
357	0	0	17	ドローパーオルガン 1
358	0	32	17	デチューンドドローパーオルガン
359	0	33	17	60sドローパーオルガン 1
360	0	34	17	60sドローパーオルガン 2
361	0	35	17	70sドローパーオルガン 1
362	0	36	17	ドローパーオルガン 2
363	0	37	17	60sドローパーオルガン 3
364	0	38	17	イアンパーオルガン
365	0	40	17	16+22/3オルガン
366	0	64	17	オルガンベース
367	0	65	17	70sドローパーオルガン 2

楽器番号	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
368	0	66	17	チージーオルガン
369	0	67	17	ドローパーオルガン 3
370	0	0	18	パーカッシブオルガン 1
371	0	24	18	70sパーカッシブオルガン
372	0	32	18	デチューンドパーカッシブオルガン
373	0	33	18	ライトオルガン
374	0	37	18	パーカッシブオルガン 2
375	0	0	19	ロックオルガン
376	0	64	19	ロータリーオルガン
377	0	65	19	スローロータリーオルガン
378	0	66	19	ファストロータリーオルガン
379	0	0	20	チャーチオルガン 1
380	0	32	20	チャーチオルガン 3
381	0	35	20	チャーチオルガン 2
382	0	40	20	ノートルダム
383	0	64	20	オルガンフルート
384	0	65	20	トレモロオルガンフルート
385	0	0	21	リードオルガン
386	0	40	21	パフオルガン
387	0	0	22	アコーディオン
388	0	32	22	イタリアンアコーディオン
389	0	0	23	ハーモニカ 1
390	0	32	23	ハーモニカ 2
391	0	0	24	タンゴアコーディオン 1
392	0	64	24	タンゴアコーディオン 2
XG ギター				
393	0	0	25	ナイロン弦ギター 1
394	0	16	25	ナイロン弦ギター 2
395	0	25	25	ナイロン弦ギター 3
396	0	43	25	ペロシティーギター-ハーモニクス
397	0	96	25	ウクレレ
398	0	0	26	スチール弦ギター 1
399	0	16	26	スチール弦ギター 2
400	0	35	26	12弦ギター
401	0	40	26	ナイロン弦&スチール弦ギター
402	0	41	26	スチール弦ギター & ボディーサウンド
403	0	96	26	マンドリン
404	0	0	27	ジャズギター
405	0	18	27	メローキター
406	0	32	27	ジャズアンブ
407	0	0	28	グリーンギター
408	0	32	28	コーラスギター
409	0	0	29	ミュートギター
410	0	40	29	ファンクギター 1
411	0	41	29	ミュートスチール弦ギター
412	0	43	29	ファンクギター 2
413	0	45	29	ジャズマン
414	0	0	30	オーバードライブギター
415	0	43	30	ギターピンチ
416	0	0	31	ディストーションギター
417	0	40	31	フィードバックギター 1
418	0	41	31	フィードバックギター 2
419	0	0	32	ギターハーモニクス 1
420	0	65	32	ギターフィードバック
421	0	66	32	ギターハーモニクス 2
XG ベース				
422	0	0	33	アコースティックベース
423	0	40	33	ジャズリズム
424	0	45	33	ペロシティークロスフェードアップ ライトベース
425	0	0	34	フィンガーベース 1
426	0	18	34	フィンガーベースダーク
427	0	27	34	フランジベース
428	0	40	34	ベース&ディストーションギター
429	0	43	34	フィンガースラップベース
430	0	45	34	フィンガーベース 2
431	0	65	34	モジュレーターベース
432	0	0	35	ピックベース
433	0	28	35	ミュートピックベース
434	0	0	36	フレットレスベース 1
435	0	32	36	フレットレスベース 2
436	0	33	36	フレットレスベース 3

楽器番号	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
437	0	34	36	フレットレスベース 4
438	0	96	36	シンセフレットレス
439	0	97	36	スムーズフレットレス
440	0	0	37	スラップベース 1
441	0	27	37	レゾナントスラップ
442	0	32	37	パンチサムベース
443	0	0	38	スラップベース 2
444	0	43	38	ペロシティーイッチスラップ
445	0	0	39	シンセベース 1
446	0	18	39	シンセベース 1 ダーク
447	0	20	39	ファストレゾナントベース
448	0	24	39	アシッドベース
449	0	35	39	クラベベース
450	0	40	39	テクノシンセベース
451	0	64	39	オービター
452	0	65	39	スクエアベース
453	0	66	39	ラバーベース
454	0	96	39	ハマー
455	0	0	40	シンセベース 2
456	0	6	40	メローシンセベース
457	0	12	40	シーケンスドベース
458	0	18	40	クリックシンセベース
459	0	19	40	シンセベース 2 ダーク
460	0	32	40	スムーズシンセベース
461	0	40	40	モジュラーシンセベース
462	0	41	40	DXベース
463	0	64	40	エックスワイヤーベース
XG ストリングス				
464	0	0	41	バイオリン
465	0	8	41	スローバイオリン
466	0	0	42	ビオラ
467	0	0	43	チェロ
468	0	0	44	コントラバス
469	0	0	45	トレモロストリングス
470	0	8	45	スロートレモロストリングス
471	0	40	45	サスペンションストリングス
472	0	0	46	ピチカートストリングス
473	0	0	47	オーケストラハープ
474	0	0	48	ティンパニ
XG アンサンブル				
475	0	0	49	ストリングス 1
476	0	3	49	ステレオストリングス
477	0	8	49	スローストリングス
478	0	24	49	アルコストリングス
479	0	35	49	60sストリングス
480	0	40	49	オーケストラ 1
481	0	41	49	オーケストラ 2
482	0	42	49	トレモロオーケストラ
483	0	45	49	ペロシティーストリングス
484	0	0	50	ストリングス 2
485	0	3	50	ステレオスローストリングス
486	0	8	50	レガートストリングス
487	0	40	50	ウォームストリングス
488	0	41	50	キングダム
489	0	64	50	70sストリングス
490	0	65	50	ストリングス 3
491	0	0	51	シンセストリングス 1
492	0	27	51	レゾナントストリングス
493	0	64	51	シンセストリングス 4
494	0	65	51	シンセストリングス 5
495	0	0	52	シンセストリングス 2
496	0	0	53	クワイアアー 1
497	0	3	53	ステレオクワイア
498	0	32	53	メロークワイア
499	0	16	53	クワイアアー 2
500	0	40	53	クワイアストリングス
501	0	0	54	ボイスウー
502	0	0	55	シンセボイス 1
503	0	40	55	シンセボイス 2
504	0	41	55	コーラル
505	0	64	55	アナログボイス
506	0	0	56	オーケストラヒット 1

楽器リスト

楽器番号	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
507	0	35	56	オーケストラヒット 2
508	0	64	56	インバクト
XG ブラス				
509	0	0	57	トランペット 1
510	0	16	57	トランペット 2
511	0	17	57	ブライトトランペット
512	0	32	57	ウォームトランペット
513	0	0	58	トロンボーン 1
514	0	18	58	トロンボーン 2
515	0	0	59	チューバ 1
516	0	16	59	チューバ 2
517	0	0	60	ミュートトランペット
518	0	0	61	フレンチホルン 1
519	0	6	61	フレンチホルンソロ
520	0	32	61	フレンチホルン 2
521	0	37	61	ホルンオーケストラ
522	0	0	62	ブラスセクション 1
523	0	35	62	トランペット&トロンボーンセクション
524	0	40	62	ブラスセクション 2
525	0	41	62	ハイブラス
526	0	42	62	メローブラス
527	0	0	63	シンセブラス 1
528	0	12	63	クアックブラス
529	0	20	63	レゾナントシンセブラス
530	0	24	63	ポリブラス
531	0	27	63	シンセブラス 3
532	0	32	63	ジャンプブラス
533	0	45	63	アナログペロシティーブラス 1
534	0	64	63	アナログブラス 1
535	0	0	64	シンセブラス 2
536	0	18	64	ソフトブラス
537	0	40	64	シンセブラス 4
538	0	41	64	クワイアブラス
539	0	45	64	アナログペロシティーブラス 2
540	0	64	64	アナログブラス 2
XG リード				
541	0	0	65	ソプラノサクソ
542	0	0	66	アルトサクソ
543	0	40	66	サクソセクション
544	0	43	66	ハイパーアルトサクソ
545	0	0	67	テナーサクソ 1
546	0	40	67	プレッシャーテナーサクソ
547	0	41	67	ソフトテナーサクソ
548	0	64	67	テナーサクソ 2
549	0	0	68	バリトンサクソ
550	0	0	69	オーボエ
551	0	0	70	イングリッシュホルン
552	0	0	71	バスーン
553	0	0	72	クラリネット
XG バイブ				
554	0	0	73	ピッコロ
555	0	0	74	フルート
556	0	0	75	リコーダー
557	0	0	76	バンフルート
558	0	0	77	ボトル
559	0	0	78	尺八
560	0	0	79	口笛
561	0	0	80	オカリナ
XG シンセ リード				
562	0	0	81	スクエアリード 1
563	0	6	81	スクエアリード 2
564	0	8	81	LMスクエア
565	0	18	81	ハロー
566	0	19	81	シュラウド
567	0	64	81	メロー
568	0	65	81	ソロサイン
569	0	66	81	サインリード
570	0	0	82	ソートゥースリード 1
571	0	6	82	ソートゥースリード 2
572	0	8	82	シックソートゥース
573	0	18	82	ダイナミックソートゥース
574	0	19	82	デジタルソートゥース

楽器番号	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
575	0	20	82	ビッグリード
576	0	24	82	ヘビーシンセ
577	0	25	82	ワスビーシンセ
578	0	40	82	バルスソートゥース
579	0	41	82	ドクダリード
580	0	45	82	ペロシティーリード
581	0	96	82	シーケンスアナログ
582	0	0	83	カリオペリード
583	0	65	83	ピュアリード
584	0	0	84	チフリード
585	0	64	84	ルビー
586	0	0	85	チャランリード
587	0	64	85	ディストーションリード
588	0	65	85	ワイヤーリード
589	0	0	86	ボイスリード
590	0	24	86	シンセアー
591	0	64	86	ボグスリード
592	0	0	87	5度リード
593	0	35	87	ビッグファイブ
594	0	0	88	ベース&リード
595	0	16	88	ビッグ&ロー
596	0	64	88	ファット&パーキー
597	0	65	88	ソフトホワール
XG シンセ パッド				
598	0	0	89	ニューエイジパッド
599	0	64	89	ファンタジー
600	0	0	90	ウォームパッド
601	0	16	90	シックパッド
602	0	17	90	ソフトパッド
603	0	18	90	サインパッド
604	0	64	90	ホルンパッド
605	0	65	90	ロータリーストリングス
606	0	0	91	ポリシンセパッド
607	0	64	91	ポリパッド80
608	0	65	91	クリックパッド
609	0	66	91	アナログパッド
610	0	67	91	スクエアパッド
611	0	0	92	クワイアパッド
612	0	64	92	ヘブン
613	0	66	92	アイトピア
614	0	67	92	CCパッド
615	0	0	93	ボウドパッド
616	0	64	93	グレーシャー
617	0	65	93	グラスパッド
618	0	0	94	メタリックパッド
619	0	64	94	タインパッド
620	0	65	94	パンパッド
621	0	0	95	ハローパッド
622	0	0	96	スイープパッド
623	0	20	96	シュイマー
624	0	27	96	コンバージ
625	0	64	96	ボーラーパッド
626	0	66	96	セレスティアル
XG シンセ エフェクト				
627	0	0	97	レイン
628	0	45	97	クラビパッド
629	0	64	97	ハーモレイン
630	0	65	97	アフリカンウィンド
631	0	66	97	カリブ
632	0	0	98	サウンドトラック
633	0	27	98	ブローグ
634	0	64	98	アンセストラル
635	0	0	99	クリスタル
636	0	12	99	シンセドラムコンプ
637	0	14	99	ポップコーン
638	0	18	99	タイニーベル
639	0	35	99	ラウンドグロックンジュビール
640	0	40	99	グロックンジュビールチャイム
641	0	41	99	クリアベル
642	0	42	99	コーラスベル
643	0	64	99	シンセマレット
644	0	65	99	ソフトクリスタル

楽器番号	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
645	0	66	99	ラウドグロックンジュピール
646	0	67	99	クリスマスベル
647	0	68	99	ピラフォンベル
648	0	69	99	デジタルベル
649	0	70	99	エアベル
650	0	71	99	ベルハーブ
651	0	72	99	ガムリンバ
652	0	0	100	アトモスフィア
653	0	18	100	ウォームアトモスフィア
654	0	19	100	ハローリリス
655	0	40	100	ナイロンエレクトリックピアノ
656	0	64	100	ナイロンハーブ
657	0	65	100	ハーブボックス
658	0	66	100	アトモスフィアパッド
659	0	67	100	ブラネット
660	0	0	101	ブライトネス
661	0	64	101	ファンタジーベル
662	0	96	101	スモークキー
663	0	0	102	ゴブリン
664	0	64	102	ゴブリンシンセ
665	0	65	102	クリーパー
666	0	66	102	リングパッド
667	0	67	102	リチュアル
668	0	68	102	トゥーヘブン
669	0	70	102	ナイト
670	0	71	102	グリソン
671	0	96	102	ベルクワイア
672	0	0	103	エコー 1
673	0	8	103	エコー 2
674	0	14	103	エコーパン
675	0	64	103	エコーベル
676	0	65	103	ビッグパン
677	0	66	103	シンセピアノ
678	0	67	103	クリエーション
679	0	68	103	スターダスト
680	0	69	103	レゾナント&パンニング
681	0	0	104	サイエンスフィクション
682	0	64	104	スターズ
XG ワールド				
683	0	0	106	バンジョー
684	0	28	106	ミュートバンジョー
685	0	64	112	ジャナイ
686	0	97	105	タンブーラ
XG パーカッション				
687	0	0	113	ティンクルベル
688	0	96	113	ボナン
689	0	97	113	アルタイル
690	0	98	113	ガムラン
691	0	99	113	ステレオガムラン
692	0	100	113	ラマシソナル
693	0	101	113	アジアンベル
694	0	0	114	アゴゴ
695	0	0	115	スチールドラム
696	0	97	115	グラスパーカッション
697	0	98	115	タイベル
698	0	0	116	ウッドブロック
699	0	96	116	カスターネット
700	0	0	117	和太鼓
701	0	96	117	グランカッサ
702	0	0	118	メロディックタム 1
703	0	64	118	メロディックタム 2
704	0	65	118	リアルタム
705	0	66	118	ロックタム
706	0	0	119	シンセドラム
707	0	64	119	アナログタム
708	0	65	119	エレクトロニックパーカッション
709	0	0	120	リバーズシンバル
XG サウンド エフェクト				
710	0	0	121	フレットノイズ
711	0	0	122	プレスノイズ
712	0	0	123	海辺
713	0	0	124	黒のさえずり 1

楽器番号	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
714	0	0	125	電話 1
715	0	0	126	ヘリコプター
716	0	0	127	拍手
717	0	0	128	銃声
718	64	0	1	カッティングノイズ 1
719	64	0	2	カッティングノイズ 2
720	64	0	4	ストリングスラップ
721	64	0	17	フルートキークリック
722	64	0	33	雨
723	64	0	34	雷
724	64	0	35	風
725	64	0	36	せせらぎ
726	64	0	37	泡
727	64	0	38	フィード
728	64	0	49	犬
729	64	0	50	馬
730	64	0	51	鳥のさえずり 2
731	64	0	56	マオウ
732	64	0	65	フォーンコール
733	64	0	66	ドアのきしみ
734	64	0	67	ドアを開める
735	64	0	68	スクラッチカット
736	64	0	69	スクラッチスプリット
737	64	0	70	ウィンドチャイム
738	64	0	71	電話 2
739	64	0	81	イグニッション
740	64	0	82	タイヤ
741	64	0	83	レーシングカー
742	64	0	84	衝突
743	64	0	85	サイレン
744	64	0	86	列車
745	64	0	87	ジェット機
746	64	0	88	スターシップ
747	64	0	89	バースト
748	64	0	90	ローラーコースター
749	64	0	91	サブマリリン
750	64	0	97	笑い声
751	64	0	98	悲鳴
752	64	0	99	パンチ
753	64	0	100	心音
754	64	0	101	足音
755	64	0	113	マシンガン
756	64	0	114	レーザーガン
757	64	0	115	爆発
758	64	0	116	花火

ドラム/SFXキットリスト

※この楽器の鍵盤(Keyboard)のNote No.とNoteは、MIDIのNote No.とNoteよりも1オクターブ上になります。たとえば、スタンダードキット1の「シーククリック H (Note No.36/Note C1)」をこの楽器で鳴らす場合は、MIDI Note No.24/Note C0をこの楽器に送信します。

※ : スタンダードキット1と同じ

※ : 音は鳴りません

		楽器番号		238		239		240		241	
		MSB (0-127) / LSB (0-127) / PC (1-128)		127/000/088		127/000/001		127/000/002		127/000/009	
		Keyboard		MIDI		パワーキット		スタンダードキット1		スタンダードキット2	
		Note No.	Note	Note No.	Note						
		25	C# 0	13	C# -1						
		26	D 0	14	D -1						
		27	D# 0	15	D# -1						
		28	E 0	16	E -1						
		29	F 0	17	F -1						
		30	F# 0	18	F# -1						
		31	G 0	19	G -1						
		32	G# 0	20	G# -1						
		33	A 0	21	A -1						
		34	A# 0	22	A# -1						
		35	B 0	23	B -1						
		36	C 1	24	C 0						
		37	C# 1	25	C# 0						
C1	C#1	38	D 1	26	D 0						
D1	D#1	39	D# 1	27	D# 0						
		40	E 1	28	E 0						
E1	F1	41	F 1	29	F 0						
		42	F# 1	30	F# 0						
G1	G#1	43	G 1	31	G 0	スネアソフトパワー				スネアソフト 2	
		44	G# 1	32	G# 0						
A1	A#1	45	A 1	33	A 0	キックアンビエント+					
		46	A# 1	34	A# 0	オープンリムショットパワー				オープンリムショット 2	
B1		47	B 1	35	B 0	キックパワーオープン					
		48	C 2	36	C 1	キックワークロース					
C2	C#2	49	C# 2	37	C# 1	サイドスティックパワー					
		50	D 2	38	D 1	スネアパワー				スネア 2	スネアルーム L
D2	D#2	51	D# 2	39	D# 1	ハンドクラップパワー					
E2		52	E 2	40	E 1	スネアラブ				スネアタイト 2	スネアルーム H
		53	F 2	41	F 1	タムパワー 1					タムルーム 1
F2	F#2	54	F# 2	42	F# 1	ハイハットワークロースパワー					
		55	G 2	43	G 1	タムパワー 2					タムルーム 2
G2	G#2	56	G# 2	44	G# 1	ハイハットペダルパワー					
A2	A#2	57	A 2	45	A 1	タムパワー 3					タムルーム 3
		58	A# 2	46	A# 1	ハイハットオープンパワー					
B2		59	B 2	47	B 1	タムパワー 4					タムルーム 4
		60	C 3	48	C 2	タムパワー 5					タムルーム 5
C3	C#3	61	C# 3	49	C# 2	クラッシュシンバルアコースティック 1					
		62	D 3	50	D 2	タムパワー 6					タムルーム 6
D3	D#3	63	D# 3	51	D# 2	ライドシンバルアコースティック 1					
E3		64	E 3	52	E 2	チャイニーズシンバルアコースティック					
		65	F 3	53	F 2	ライドシンバルカップアコースティック					
F3	F#3	66	F# 3	54	F# 2						
G3	G#3	67	G 3	55	G 2	スプラッシュシンバルアコースティック					
		68	G# 3	56	G# 2						
A3	A#3	69	A 3	57	A 2	クラッシュシンバルアコースティック 2					
		70	A# 3	58	A# 2						
B3		71	B 3	59	B 2	ライドシンバルアコースティック 2					
		72	C 4	60	C 3						
C4	C#4	73	C# 4	61	C# 3	ボンゴ H					
		74	D 4	62	D 3	ボンゴ L					
D4	D#4	75	D# 4	63	D# 3	コンガ H ミュート					
E4		76	E 4	64	E 3	コンガ H オープン					
		77	F 4	65	F 3	コンガ L					
F4	F#4	78	F# 4	66	F# 3	ティンパレス H					
G4	G#4	79	G 4	67	G 3	ティンパレス L					
		80	G# 4	68	G# 3	アゴゴ H					
A4	A#4	81	A 4	69	A 3	アゴゴ L					
		82	A# 4	70	A# 3	カバサ					
B4		83	B 4	71	B 3	マラカス					
C4	C#4	84	C 5	72	C 4	サンパホイッスル H					
		85	C# 5	73	C# 4	サンパホイッスル L					
D4	D#4	86	D 5	74	D 4	キョリョット					
		87	D# 5	75	D# 4	キョロソング					
E4	E#4	88	E 5	76	E 4	クラベス					
		89	F 5	77	F 4	ウッドブロック H					
F4	F#4	90	F# 5	78	F# 4	ウッドブロック L					
G4	G#4	91	G 5	79	G 4	クワイカム					
A4	A#4	92	A 5	80	A 4	クワイカムオープン					
		93	A# 5	81	A# 4	トライアングルミュート					
B4		94	B 5	82	B 4	トライアングルオープン					
		95	B# 5	83	B 4	シェイカー					
C4	C#4	96	C 6	84	C 5	ジングルベル					
		97	C# 6	85	C# 5	ベルツリー					
		98	D 6	86	D 5						
		99	D# 6	87	D# 5						
		100	E 6	88	E 5						
		101	F 6	89	F 5						
		102	F# 6	90	F# 5						
		103	G 6	91	G 5						

楽器番号				239	242	243	244	245
MSB (0-127) / LSB (0-127) / PC (1-128)				127/000/001	127/000/017	127/000/025	127/000/065	127/000/059
Keyboard		MIDI		スタンダードキット1	ロックキット	エレクトロニックキット	ハウスキット	T8キット
Note No.	Note	Note No.	Note					
	25	C# 0	13	C# -1			Wキック	
	26	D 0	14	D -1				
	27	D# 0	15	D# -1				
	28	E 0	16	E -1				
	29	F 0	17	F -1				
	30	F# 0	18	F# -1				
	31	G 0	19	G -1			Wノイズアップ	スネアハマー
	32	G# 0	20	G# -1			タムT8 3	キックザップハード
	33	A 0	21	A -1			ハイハットオープンT8 1	スネアガラージL
	34	A# 0	22	A# -1			タムT8 6	キックテクノパワー
	35	B 0	23	B -1			クラッシュT8	キックスライミー
	36	C 1	24	C 0			キックT9 4	キックT8 1
	37	C# 1	25	C# 0			ブラッシュタップ	スネアT8リム
	38	D 1	26	D 0			ブラッシュスワール	スネアT8 5
	39	D# 1	27	D# 0			ブラッシュスラップ	クラップアナログSm
	40	E 1	28	E 0			ブラッシュタップスワール	リバーシシノバル
	41	F 1	29	F 0			スネアロール	スネアガラージL
	42	F# 1	30	F# 0			カススタット	スネアロックローレディション
	43	G 1	31	G 0			スネアソフト	スネアT9 3
	44	G# 1	32	G# 0			スティックス	スネアT8 1
	45	A 1	33	A 0			バスドラムソフト	スネアT9 5
	46	A# 1	34	A# 0			オープンリムショット	キックT8 2
	47	B 1	35	B 0			バスドラムハード	スネアT9ゲート
	48	C 2	36	C 1			バスドラム	キックT9 2
	49	C# 2	37	C# 1			サイドスティック	バスドラムロック
	50	D 2	38	D 1			スネア	バスドラムゲート
	51	D# 2	39	D# 1			ハンドクラップ	スネアT9リム
	52	E 2	40	E 1			スネアソフト	スネアT9 1
	53	F 2	41	F 1			フロアタムL	クラップT9 2
	54	F# 2	42	F# 1			ハイハットクロス	スネアT9 2
	55	G 2	43	G 1			フロアタムH	タムT9 1
	56	G# 2	44	G# 1			ハイハットベダル	ハイハットクロスT8 1
	57	A 2	45	A 1			ロータム	ハイハットベダルT8
	58	A# 2	46	A# 1			ハイハットオープン	タムT8 3
	59	B 2	47	B 1			ミッドタムL	タムT8 4
	60	C 3	48	C 2			ミッドタムH	タムT9 5
	61	C# 3	49	C# 2			クラッシュバル1	タムT8 6
	62	D 3	50	D 2			ハイタム	クラッシュT8
	63	D# 3	51	D# 2			ライドシンバル 1	タムT9 6
	64	E 3	52	E 2			チェイニーズシンバル	タムT9
	65	F 3	53	F 2			ライドシンバルカップ	ライドT9
	66	F# 3	54	F# 2			タンバリン	クラッシュシンバル 4
	67	G 3	55	G 2			スプラッシュシンバル	ライドシンバルカップ 2
	68	G# 3	56	G# 2			カウベル	ライドシンバルカップ 2
	69	A 3	57	A 2			クラッシュシンバル 2	タンバリンX5
	70	A# 3	58	A# 2			ヒバスラップ	スプラッシュシンバル 3
	71	B 3	59	B 2			ライドシンバル 2	カウベル1
	72	C 4	60	C 3			ボンゴH	クラッシュシンバル 4
	73	C# 4	61	C# 3			ボンゴL	ライドシンバル 3
	74	D 4	62	D 3			コンガH ミュート	ライドシンバル 4
	75	D# 4	63	D# 3			コンガH オープン	コンガT8 5
	76	E 4	64	E 3			コンガL	コンガT8 4
	77	F 4	65	F 3			チェイニスH	コンガハイティップ
	78	F# 4	66	F# 3			チェイニスL	コンガハイスラップオープン
	79	G 4	67	G 3			アゴゴH	コンガオープン
	80	G# 4	68	G# 3			アゴゴL	コンガT8 2
	81	A 4	69	A 3			カバサ	コンガT8 1
	82	A# 4	70	A# 3			マラカス	
	83	B 4	71	B 3			サンパルティスルH	マラカスT8
	84	C 5	72	C 4			サンパルティスルL	Fxガン 2
	85	C# 5	73	C# 4			キロショット	Fxガン 1
	86	D 5	74	D 4			キロロック	Fxガン 1
	87	D# 5	75	D# 4			クラブス	アナログシェーカー H
	88	E 5	76	E 4			ウッドブロックH	アナログシェーカーL
	89	F 5	77	F 4			ウッドブロックL	クラブスT8
	90	F# 5	78	F# 4			ワイカミュート	ハイキュー 1
	91	G 5	79	G 4			ワイカオープン	ハイキュー 2
	92	G# 5	80	G# 4			トリアングルミュート	ハイキュー 2
	93	A 5	81	A 4			トリアングルオープン	スクラッチ L
	94	A# 5	82	A# 4			シェイカー	スクラッチ L 2
	95	B 5	83	B 4			ジングルベル	スクラッチ L 2
	96	C 6	84	C 5			ベルツリー	
	97	C# 6	85	C# 5				スネアヒップ 1
	98	D 6	86	D 5				スネアヒップ 2
	99	D# 6	87	D# 5				ウォックスバル
	100	E 6	88	E 5				スネアヒップゲート
	101	F 6	89	F 5				スネアブレイク
	102	F# 6	90	F# 5				キックアップ
	103	G 6	91	G 5				スネアFX
								キックFxハマー

ドラム/SFXキットリスト

楽器番号				239	246	247	248	249
MSB (0-127) / LSB (0-127) / PC (1-128)				127/000/001	127/000/060	127/000/026	127/000/113	127/000/033
Keyboard		MIDI		スタンダードキット1	T9キット	アナログキット	ダンスキット	ジャズキット
Note No.	Note	Note No.	Note					
	25	C#	0	13	C#	-1		
	26	D	0	14	D	-1		
	27	D#	0	15	D#	-1		
	28	E	0	16	E	-1		
	29	F	0	17	F	-1		
	30	F#	0	18	F#	-1		
	31	G	0	19	G	-1		
	32	G#	0	20	G#	-1		
	33	A	0	21	A	-1		
	34	A#	0	22	A#	-1		
	35	B	0	23	B	-1		
	36	C	1	24	C	0		
	37	C#	1	25	C#	0		
	38	D	1	26	D	0		
	39	D#	1	27	D#	0		
	40	E	1	28	E	0		
	41	F	1	29	F	0		
	42	F#	1	30	F#	0		
	43	G	1	31	G	0		
	44	G#	1	32	G#	0		
	45	A	1	33	A	0		
	46	A#	1	34	A#	0		
	47	B	1	35	B	0		
	48	C	2	36	C	1		
	49	C#	2	37	C#	1		
	50	D	2	38	D	1		
	51	D#	2	39	D#	1		
	52	E	2	40	E	1		
	53	F	2	41	F	1		
	54	F#	2	42	F#	1		
	55	G	2	43	G	1		
	56	G#	2	44	G#	1		
	57	A	2	45	A	1		
	58	A#	2	46	A#	1		
	59	B	2	47	B	1		
	60	C	3	48	C	2		
	61	C#	3	49	C#	2		
	62	D	3	50	D	2		
	63	D#	3	51	D#	2		
	64	E	3	52	E	2		
	65	F	3	53	F	2		
	66	F#	3	54	F#	2		
	67	G	3	55	G	2		
	68	G#	3	56	G#	2		
	69	A	3	57	A	2		
	70	A#	3	58	A#	2		
	71	B	3	59	B	2		
	72	C	4	60	C	3		
	73	C#	4	61	C#	3		
	74	D	4	62	D	3		
	75	D#	4	63	D#	3		
	76	E	4	64	E	3		
	77	F	4	65	F	3		
	78	F#	4	66	F#	3		
	79	G	4	67	G	3		
	80	G#	4	68	G#	3		
	81	A	4	69	A	3		
	82	A#	4	70	A#	3		
	83	B	4	71	B	3		
	84	C	5	72	C	4		
	85	C#	5	73	C#	4		
	86	D	5	74	D	4		
	87	D#	5	75	D#	4		
	88	E	5	76	E	4		
	89	F	5	77	F	4		
	90	F#	5	78	F#	4		
	91	G	5	79	G	4		
	92	G#	5	80	G#	4		
	93	A	5	81	A	4		
	94	A#	5	82	A#	4		
	95	B	5	83	B	4		
	96	C	6	84	C	5		
	97	C#	6	85	C#	5		
	98	D	6	86	D	5		
	99	D#	6	87	D#	5		
	100	E	6	88	E	5		
	101	F	6	89	F	5		
	102	F#	6	90	F#	5		
	103	G	6	91	G	5		

資料

ドラム/SFXキットリスト

楽器番号				239	254	255
MSB (0-127) / LSB (0-127) / PC (1-128)				127/000/001	126/000/021	126/000/022
Keyboard		MIDI		スタンダードキット1	バスドラムキット	バースバスドラムキット
Note No.	Note	Note No.	Note			
	25	C# 0	13	C# 0	バスドラム エレクトロ	リバースバスドラム エレクトロ
	26	D 0	14	D -1	バスドラム FX ゲート	リバースバスドラム FX ゲート
	27	D# 0	15	D# -1	バスドラム ハマー	リバースバスドラム ハマー
	28	E 0	16	E -1	ウィップスラップ	バスドラム アナログパワー
	29	F 0	17	F -1	スクラッチ H	バスドラム アナログディストーション 5
	30	F# 0	18	F# -1	スクラッチ L	バスドラム アナログディストーション 6
	31	G 0	19	G -1	フィンガースナップ	バスドラム アナログディストーション 4
	32	G# 0	20	G# -1	クリンギング	バスドラム アナログディストーション 3
	33	A 0	21	A -1	ストロノームクワック	バスドラム アナログディストーション 2
	34	A# 0	22	A# -1	ストロノームベル	バスドラム アナログディストーション 2
	35	B 0	23	B -1	ジューククワック L	バスドラム アナログ 94
	36	C 1	24	C 0	ジューククワック H	バスドラム アナログ 94
	37	C# 1	25	C# 0	ブラッシュスラップ	バスドラム アナログ 94
	38	D 1	26	D 0	ブラッシュスワール	バスドラム アナログ 93
	39	D# 1	27	D# 0	ブラッシュスラップ	バスドラム アナログ 90
	40	E 1	28	E 0	ブラッシュスラップスワール	バスドラム アナログ 83
	41	F 1	29	F 0	スネアロール	バスドラム アナログ 82
	42	F# 1	30	F# 0	カスタネット	バスドラム アナログ 92
	43	G 1	31	G 0	スネアソフト	バスドラム アナログ 91
	44	G# 1	32	G# 0	スティック	バスドラム アナログチューブ
	45	A 1	33	A 0	バスドラムソフト	バスドラム アナログハード 2
	46	A# 1	34	A# 0	オーバーリムショット	バスドラム アナログハード 1
	47	B 1	35	B 0	バスドラムハード	バスドラム アナログブリップ 1
	48	C 2	36	C 1	バスドラム	バスドラム アナログハード 1
	49	C# 2	37	C# 1	サイドスティック	バスドラム アナログルーズ
	50	D 2	38	D 1	スネア	バスドラム シンセ 1
	51	D# 2	39	D# 1	ハンドクラップ	バスドラム シンセ 2
	52	E 2	40	E 1	スネアタイド	バスドラム アナログディストーション 1
	53	F 2	41	F 1	フロアタム L	バスドラム アナログディストーション 1
	54	F# 2	42	F# 1	ハイハットクローズ	バスドラム アナログ 70 ロー
	55	G 2	43	G 1	フロアタム H	バスドラム アナログ 70
	56	G# 2	44	G# 1	ハイハットペダル	バスドラム アナログ 80
	57	A 2	45	A 1	ロータム	バスドラム アナログ 80 ロング
	58	A# 2	46	A# 1	ハイハットオープン	バスドラム ドライ
	59	B 2	47	B 1	ミッドタム L	バスドラム ドライハード
	60	C 3	48	C 2	ミッドタム H	バスドラム ルーム 1
	61	C# 3	49	C# 2	クラッシュシンバル 1	バスドラム ソフト
	62	D 3	50	D 2	ハイタム	バスドラム ルーム 2
	63	D# 3	51	D# 2	ライドシンバル 1	バスドラム ブレイクローファイ 2
	64	E 3	52	E 2	チャイニーズシンバル	バスドラム ブレイクローファイ 1
	65	F 3	53	F 2	ライドシンバルカップ	バスドラム & ハイハットオープン
	66	F# 3	54	F# 2	タンバリン	バスドラム ジャングル 2
	67	G 3	55	G 2	スアッシュシンバル	バスドラム ジャングル 1
	68	G# 3	56	G# 2	カウベル	バスドラム ジャングル 3
	69	A 3	57	A 2	クラッシュシンバル 2	バスドラム ドラムンベース 1
	70	A# 3	58	A# 2	ヒップスラップ	バスドラム ドラムンベース 2
	71	B 3	59	B 2	ライドシンバル 2	バスドラム RX5 1
	72	C 4	60	C 3	ボンゴ H	バスドラム RX5 2
	73	C# 4	61	C# 3	ボンゴ L	バスドラム ルーム 3
	74	D 4	62	D 3	コンガ H ミュート	バスドラム パワーゲート
	75	D# 4	63	D# 3	コンガ H オープン	バスドラム R&B 1
	76	E 4	64	E 3	コンガ L	バスドラム R&B 2
	77	F 4	65	F 3	ティンパレス H	バスドラム ローファイ
	78	F# 4	66	F# 3	ティンパレス L	バスドラム ヒップディープ
	79	G 4	67	G 3	アゴゴ H	バスドラム ブレイクディープ
	80	G# 4	68	G# 3	アゴゴ L	バスドラム ブレイクヘビー
	81	A 4	69	A 3	カバサ	バスドラム ブレイクハード
	82	A# 4	70	A# 3	マラカス	バスドラム ビッグドラム
	83	B 4	71	B 3	サンパイルシスル H	和太鼓
	84	C 5	72	C 4	サンパイルシスル L	和太鼓
	85	C# 5	73	C# 4	キョクシヨート	バスドラム オープン
	86	D 5	74	D 4	キョクシヨート	バスドラム フィート 2
	87	D# 5	75	D# 4	クラベス	バスドラム インダストリアル
	88	E 5	76	E 4	ウッドブロック H	バスドラム ドアを開める
	89	F 5	77	F 4	ウッドブロック L	バスドラム パンチ
	90	F# 5	78	F# 4	ワイカムミュート	心音
	91	G 5	79	G 4	ワイカムオープン	バスドラム フィート 1
	92	G# 5	80	G# 4	トライアングルミュート	バスドラム 声
	93	A 5	81	A 4	トライアングルオープン	バスドラム 声ディープ
	94	A# 5	82	A# 4	シェイカー	バスドラム 声ディープ
	95	B 5	83	B 4	ジングルベル	バスドラム 声ディープ
	96	C 6	84	C 5	ベルツリー	バスドラム 声ディープ
	97	C# 6	85	C# 5		バスドラム 声ディープ
	98	D 6	86	D 5		バスドラム 声ディープ
	99	D# 6	87	D# 5		バスドラム 声ディープ
	100	E 6	88	E 5		バスドラム 声ディープ
	101	F 6	89	F 5		バスドラム 声ディープ
	102	F# 6	90	F# 5		バスドラム 声ディープ
	103	G 6	91	G 5		バスドラム 声ディープ

資料

楽器番号		239		256		257		258	
MSB (0-127) / LSB (0-127) / PC (1-128)		127/000/001		126/000/125		127/000/127		126/000/040	
Keyboard		MIDI		スタンダードキット1	中国キット1	中国キット2	インドキット1		
Note No.	Note	Note No.	Note						
	25	C# 0	13	C# -1	スルドミュート				
	26	D 0	14	D -1	スルドオープン				
	27	D# 0	15	D# -1	ハイキュー				
	28	E 0	16	E -1	ウィップスラップ				
	29	F 0	17	F -1	スクラッチ H				
	30	F# 0	18	F# -1	スクラッチ L				
	31	G 0	19	G -1	フィンガースナップ				
	32	G# 0	20	G# -1	クリックノイズ				
	33	A 0	21	A -1	メトロノームクリック				
	34	A# 0	22	A# -1	メトロノームベル				ハタリ ロング
	35	B 0	23	B -1	シーククリック L	ダチャ			ハタリ ショート
	36	C 1	24	C 0	シーククリック H	ダグ mp			バヤ ge
	37	C# 1	25	C# 0	ブラッシュスラップ	ダグ リム			バヤ ke
	38	D 1	26	D 0	ブラッシュスワール	ダグ f			バヤ ghe
	39	D# 1	27	D# 0	ブラッシュスラップ	ダグ ハンド			バヤ ka
	40	E 1	28	E 0	ブラッシュスワール	ダグ ロール			タブラ na
	41	F 1	29	F 0	スネアロール	バヤグ 4			タブラ tin
	42	F# 1	30	F# 0	カスターネット	バヤグ 4 ハイ			タブラバヤ dha
	43	G 1	31	G 0	スネアソフ	バヤグ 3			タブラ tun
	44	G# 1	32	G# 0	スティックス	バヤグ 3 ハイ			タブラバヤ dhin
	45	A 1	33	A 0	バスドラムソフ	バヤグ 2			タブラ di
	46	A# 1	34	A# 0	オーバーリムショット	バヤグ 2 ハイ			タブラバヤ dhe
	47	B 1	35	B 0	バスドラムハード	バヤグ 1			タブラ ti
	48	C 2	36	C 1	バスドラム	ルオ ハイ 1			タブラ ne
	49	C# 2	37	C# 1	サイドスティック	ゴング バター			タブラ taran
	50	D 2	38	D 1	スネア	ジンルオ			タブラ tak
	51	D# 2	39	D# 1	ハンドクラップ	ルオ ハイ 2			チマリ
	52	E 2	40	E 1	スネアソフ	ルオ ミッドロー			カンジャー オープン
	53	F 2	41	F 1	フロアタム L	ルオ			カンジャー スラップ
	54	F# 2	42	F# 1	ハイハットクローズ	ジンルオ ロー			カンジャー ミュート
	55	G 2	43	G 1	フロアタム H	ダチャ			カンジャー ベンドアップ
	56	G# 2	44	G# 1	ハイハットペダル	ダチャ エフェクト			カンジャー ベンドダウン
	57	A 2	45	A 1	ロータム	ゾンチャ			ドラコク オープン
	58	A# 2	46	A# 1	ハイハットオープン	シアオチャ エフェクト			ドラコク ミュート
	59	B 2	47	B 1	ミッドタム L	シアオチャ			ドラコク スラップ
	60	C 3	48	C 2	ミッドタム H	マンルオ ロー			ドラコク オープン
	61	C# 3	49	C# 2	クラッシュシンバル 1	マンルオ ミッド			ドラコク ミュート
	62	D 3	50	D 2	ハイタム	クインク			ドラコク スラップ
	63	D# 3	51	D# 2	ライドシンバル 1	フィンガー ベル			ドラコク スライド
	64	E 3	52	E 2	チャイニスシンバル	ルオ ビッグ			ムリダンガム ノーマル
	65	F 3	53	F 2	ライドシンバルカップ	ム ユロー			ムリダンガム オープン
	66	F# 3	54	F# 2	タンバリン	ム コミッドロー			ムリダンガム ミュート
	67	G 3	55	G 2	スプラッシュシンバル	ム コミッド			ムリダンガム スラップ
	68	G# 3	56	G# 2	カウベル	ム コ ハイ			ムリダンガム リム
	69	A 3	57	A 2	クラッシュシンバル 2	サンパンジ ロー			チムタ オープン
	70	A# 3	58	A# 2	ヒップスラップ	ナンパンジ			チムタ ノーマル
	71	B 3	59	B 2	ライドシンバル 2	パンク			チムタ リング
	72	C 4	60	C 3	ボンゴ H	パン			ドルキ オープン
	73	C# 4	61	C# 3	ボンゴ L	パン グロー			ドルキ ミュート
	74	D 4	62	D 3	コンガ H ミュート	京劇ボイス 1			ドルキ スラップ
	75	D# 4	63	D# 3	コンガ H オープン	京劇ボイス 2			ドルキ スライド
	76	E 4	64	E 3	コンガ L	京劇ボイス 3			ドルキ リム
	77	F 4	65	F 3	チェンバレル H	コンルオ F#4			コール オープン
	78	F# 4	66	F# 3	チェンバレル L	コンルオ F#4			コール スライド
	79	G 4	67	G 3	アゴゴ H	コンルオ G4	ダグ ミュート		コール ミュート
	80	G# 4	68	G# 3	アゴゴ L	コンルオ G#4	ゾンチャ ミュート		マンジャラ オープン
	81	A 4	69	A 3	カバサ	コンルオ A4	ダグヘビー		マンジャラ クローズ
	82	A# 4	70	A# 3	マラス	コンルオ A#4	ゾンチャ オープン		ジャンジ オープン
	83	B 4	71	B 3	サンバハイスル H	コンルオ B4	バヤグ ミドル		ジャンジ クローズ
	84	C 5	72	C 4	クワイカオープン	コンルオ C5	バヤグ ロー		モンテイオ オープン
	85	C# 5	73	C# 4	クワイカイスル L	コンルオ C#5	バヤグ ミュート		モンテイオ クローズ
	86	D 5	74	D 4	キロシク	コンルオ D5	パンク		ムリダンク オープン
	87	D# 5	75	D# 4	クラベス	コンルオ D#5	シアオチャ オープン		ムリダンク ミュート
	88	E 5	76	E 4	ウッドブロック H	コンルオ E5	パンジ		ムリダンク リム
	89	F 5	77	F 4	ウッドブロック L	コンルオ F5	ム ユロー		ムリダンク スライド
	90	F# 5	78	F# 4	クワイカミュート	コンルオ F#5	ゾンルオ ミュート		コモク ノーマル
	91	G 5	79	G 4	クワイカオープン	コンルオ G5	ム コ ミッドロー		コモク ミュート
	92	G# 5	80	G# 4	トライアングルミュート	コンルオ G#5	ゾンルオ オープン		コモク サクタク
	93	A 5	81	A 4	トライアングルオープン	コンルオ A5	ム コ ミドル		マダル A2
	94	A# 5	82	A# 4	シェイカー	コンルオ A#5	マダル A#2		マダル A#2
	95	B 5	83	B 4	ジングルベル	コンルオ B5	トライアングル ミュート		マダル B2
	96	C 6	84	C 5	ベルツリー	コンルオ C6	トライアングル オープン		マダル C3
	97	C# 6	85	C# 5					マダル C#3
	98	D 6	86	D 5					マダル D3
	99	D# 6	87	D# 5					マダル D#3
	100	E 6	88	E 5					マダル E3
	101	F 6	89	F 5					マダル F3
	102	F# 6	90	F# 5					マダル F#3
	103	G 6	91	G 5					マダル G3

ドラム/SFXキットリスト

※アラビックキットについては、実際の鍵盤位置は下記リストに掲載されているノートナンバー (Keyboard Note) より1オクターブ上です。

楽器番号				239	259	260	261
MSB (0-127) / LSB (0-127) / PC (1-128)				127/000/001	126/000/115	126/000/037	126/000/041
Keyboard				スタンダードキット1	インドキット2	アラビックキット	キューバンキット
Note No.	Note	Note No.	Note				
	25	C# 0	13	C# -1	スルドミュート		ザープ バック mfl
	26	D 0	14	D -1	スルドオープン		ザープ トム1
	27	D# 0	15	D# -1	ハイキュー	インディアン ハンドクラップ	ザープ エシャレ
	28	E 0	16	E -1	ウィップスラップ	タフリ オープン	ザープ ウィンギング
	29	F 0	17	F -1	スクラッチ H	タフリ スラップ	トム1 クラッシュ
	30	F# 0	18	F# -1	スクラッチ L	タフリ リム	ネグレートム1
	31	G 0	19	G -1	フィンガー スナック	ダフ オープン	トム1 バック!
	32	G# 0	20	G# -1	クリックノイズ	ダフ スラップ	ネグレートム!
	33	A 0	21	A -1	メトロノーム クリック	ダフリ ム	トム1 バック!
	34	A# 0	22	A# -1	メトロノーム ベル	ハチリ ロング	ネグレートム!
	35	B 0	23	B -1	ジューク クリック L	ハチリ ショート	トム1 バック トリル
	36	C 1	24	C 0	ジューク クリック H	ハヤ ge	ハリジ クラップ 1
	37	C# 1	25	C# 0	ブラッシュ タップ	ハヤ ke	アラビック ガルゲー タ オープン
	38	D 1	26	D 0	ブラッシュ スワール	ハヤ ghe	ハリジ クラップ 2
	39	D# 1	27	D# 0	ブラッシュ スラップ	ハヤ ka	アラビック ガルゲー タ クローズ
	40	E 1	28	E 0	ブラッシュ タップ スワール	タブラ na	アラビック ハンドクラップ
	41	F 1	29	F 0	スネア ロール	タブラ tin	タブル タク 1
	42	F# 1	30	F# 0	カスナネット	タブラババ dha	サガト 1
	43	G 1	31	G 0	スネア ヲツト	ドホル 1 オープン	タブル ドム
	44	G# 1	32	G# 0	スティックス	ドホル 1 スラップ	サガト 2
	45	A 1	33	A 0	バスドラム ソフト	ドホル 1 ミュート	サガト クラ 2
	46	A# 1	34	A# 0	オーブ リム ショット	ドホル 1 オープン スラップ	サガト 3
	47	B 1	35	B 0	バスドラム ハード	ドホル 1 ロール	リク ティク 3
	48	C 2	36	C 1	バスドラム	ダンディア ショート	リク ティク 2
	49	C# 2	37	C# 1	サイドスティック	ダンディア ロング	リク ティク ハード 1
	50	D 2	38	D 1	スネア	チュウキ	リク ティク 1
	51	D# 2	39	D# 1	ハンドクラップ	チアリ	リク ティク ハード 2
	52	E 2	40	E 1	スネア ヲツト	カンジラ オープン	リク ティク ハード 3
	53	F 2	41	F 1	フロアタム L	カンジラ スラップ	リク ティク 1
	54	F# 2	42	F# 1	ハイハット クローズ	カンジラ ミュート	リク スノウ 2
	55	G 2	43	G 1	フロアタム H	カンジラ ベンドアップ	リク ロール
	56	G# 2	44	G# 1	ハイハット ベダル	カンジラ ベンドダウン	リク スノウ 1
	57	A 2	45	A 1	ロータム	ドホル 1 オープン	リク タク
	58	A# 2	46	A# 1	ハイハット オープン	ドホル 1 ミュート	リク スノウ 3
	59	B 2	47	B 1	ミッドタム L	ドホル 1 スラップ	リク スノウ 4
	60	C 3	48	C 2	ミッドタム H	ドホル 2 オープン	リク タク 1
	61	C# 3	49	C# 2	クラッシュ シンバル 1	ドホル 2 スラップ	リク クラス 1
	62	D 3	50	D 2	ハイタム	ドホル 2 リム	リク タク 2
	63	D# 3	51	D# 2	ライド シンバル 1	マリダンガム na	リク クラス 2
	64	E 3	52	E 2	チャイニーズ シンバル	マリダンガム din	リク ドム
	65	F 3	53	F 2	ライド シンバル カップ	マリダンガム ki	カテム タク ドロフ
	66	F# 3	54	F# 2	タンバリン	マリダンガム ta	カテム ドム
	67	G 3	55	G 2	スプラッシュ シンバル	マリダンガム チャブ	カテム サク 1
	68	G# 3	56	G# 2	カウベル	マリダンガム ロー クローズ	カテム タク 1
	69	A 3	57	A 2	クラッシュ シンバル 2	マリダンガム ロー オープン	カテム サク 2
	70	A# 3	58	A# 2	ヒップスラップ	チムタ ノーマル	カテム タク 2
	71	B 3	59	B 2	ライド シンバル 2	チムタ リング	カテム サク 2
	72	C 4	60	C 3	ボンゴ H	ドルキ ハイ オープン	ダホラ サク 1
	73	C# 4	61	C# 3	ボンゴ L	ドルキ ハイ ミュート	ダホラ タク 1
	74	D 4	62	D 3	コンガ H ミュート	ドルキ ロー オープン	ダホラ ドム
	75	D# 4	63	D# 3	コンガ H オープン	ドルキ ハイ スラップ	ダホラ タク 2
	76	E 4	64	E 3	コンガ L	ドルキ ロー スライド	ダホラ ミュート
	77	F 4	65	F 3	ティンパレス H	コール オープン	ダホラ ドム
	78	F# 4	66	F# 3	ティンパレス L	コール スライド	ダホラ リム ロール
	79	G 4	67	G 3	アゴゴ H	コール ミュート	ダホラ タク フィンガー 4
	80	G# 4	68	G# 3	アゴゴ L	マンジラ オープン	ダホラ タク トリル 1
	81	A 4	69	A 3	カバサ	マンジラ クローズ	ダホラ タク フィンガー 3
	82	A# 4	70	A# 3	マラカス	ジャンジ オープン	ダホラ タク トリル 2
	83	B 4	71	B 3	ジャンパネ イスル H	ジャンジ クローズ	ダホラ タク フィンガー 2
	84	C# 5	72	C# 4	ジャンパネ イスル L	モンゴ マルチタ	ダホラ タク フィンガー 1
	85	C# 5	73	C# 4	キロボック	モンディア クローズ	ダホラ ティク 2
	86	D 5	74	D 4	キロボック	インディアン バングラ スキャット 1	ダホラ ティク 4
	87	D# 5	75	D# 4	クラベ	インディアン バングラ スキャット 2	ダホラ ティク 3
	88	E 5	76	E 4	ウッドブロック H	インディアン バングラ スキャット 3	ダホラ ティク 1
	89	F 5	77	F 4	ウッドブロック L	インディアン バングラ スキャット 4	ダホラ タク 3
	90	F# 5	78	F# 4	ワイヤー ミュート	コモク ノーマル	ダホラ タク 1
	91	G 5	79	G 4	ワイヤー オープン	コモク ミュート	ダホラ タク 4
	92	G# 5	80	G# 4	トライアングル ミュート	モンゴ マルチタ	ダホラ タク 2
	93	A 5	81	A 4	トライアングル オープン	タビラ オープン	ダホラ タク 2
	94	A# 5	82	A# 4	シェイカー	タビラ スラップ	ダホラ タク 2
	95	B 5	83	B 4	ジングルベル	タビラ ミュート	ダホラ トリル
	96	C 6	84	C 5	ベルツリー	カルタール	ダホラ サク 1
	97	C# 6	85	C# 5		ドラク 2 オープン	
	98	D 6	86	D 5		ドラク 2 スライド	
	99	D# 6	87	D# 5		ドラク 2 リム 1	
	100	E 6	88	E 5		ドラク 2 リム 2	
	101	F 6	89	F 5		ドラク 2 リング	
	102	F# 6	90	F# 5		ドラク 2 スラップ	
	103	G 6	91	G 5			

資料

スタイルリスト

スタイル番号	スタイル名
8ビート	
1	ブリットポップロック
2	8ビートモダン
3	クール8ビート
4	ハッピー-8ビート
5	シェイク8ビート
6	ボーイバンドポップ
7	スイートポップ
8	コンテンポラリーロック
9	スタジアムロック
10	70sロック
11	ハードロック 1
12	60sギターポップ
13	8ビートアドリア
14	60s8ビート
15	パブルガムポップ
16	ブリットポップスイング
17	8ビート
18	オフビート
19	フォークロック
20	60sロック
21	ハードロック 2
22	ロックシャッフル
23	8ビートロック
16ビート	
24	16ビート
25	クラシック16ビート
26	ポップシャッフル 1
27	ポップシャッフル 2
28	ギターポップ
29	シネマティックポップ
30	16ビートアップテンポ
31	クールシャッフル
32	ジャズロック
33	ヒップホップライト
バラード	
34	70sグラムピアノ
35	エピックディーババラード
36	オーケストラロックバラード
37	ポップギターバラード
38	ピアノバラード
39	ラブソング
40	6/8モダンエレピ
41	6/8スローロック
42	6/8オーケストラバラード
43	オルガンバラード
44	ポップバラード
45	16ビートバラード 1
46	16ビートバラード 2
ダンス	
47	スカイポップ
48	アガグビート
49	ウェストコーストダンス
50	ダンスホール
51	USヒップホップ
52	レトロクラブ
53	イビサ2010
54	クラブビート
55	エレクトロニカ
56	ファンキーハウス
57	チャートR&B

スタイル番号	スタイル名
58	メローヒップホップ
59	ソウルR&B
60	R&Bソウルバラード
61	チルアウト
62	ユーロトランス
63	イビサ
64	ドリームダンス
65	ニューヒップホップ
66	ポップR&B
67	トランスポップ
68	チャートポップ
69	ハウスムジーク
70	スイングハウス
71	テクノボリス
72	クラブダンス
73	クラブラテン
74	ガラージ 1
75	ガラージ 2
76	テクノパーティー
77	UKポップ
78	ヒップホップグループ
79	ヒップシャッフル
80	ヒップホップポップ
ディスコ	
81	モダンディスコ
82	70sディスコ 1
83	70sディスコ 2
84	ラテンディスコ
85	ディスコファミリー
86	サタデーナイト
87	ディスコチョコレート
88	ディスコハンズ
スイング&ジャズ	
89	ビッグバンドファスト
90	ビッグバンドミディアム
91	ビッグバンドバラード
92	ビッグバンドシャッフル
93	アコースティックジャズ
94	アシッドジャズ
95	ジャズクラブ
96	スイング 1
97	スイング 2
98	オーケストラスイング
99	5ビート
100	ジャズバラード
101	デキシーランド
102	ラグタイム
103	アフロキューバン
104	チャールストン
リズム&ブルース	
105	ブルースロック
106	ソウル
107	デトロイトポップ 1
108	60sロックンロール
109	6/8ソウル
110	モダンR&B
111	クロコツイスト
112	ロックンロール
113	デトロイトポップ 2
114	ブギー-ウギー
115	コンボブギー

スタイル番号	スタイル名
116	6/8ブルース
117	ワーシップアコースティック 1
118	ワーシップアコースティック 2
119	ワーシップロックバラード
カントリー	
120	カントリー-8ビート
121	カントリーポップ
122	カントリースイング
123	カントリーバラード
124	カントリー-2/4
125	カウボーイブギー
126	カントリーシャッフル
127	ブルーグラス
ラテン	
128	ブラジリアンサンバ
129	ブラジリアンボサ
130	ボサノバ
131	ポップボサ
132	フォホ
133	セルタネージョ 1
134	セルタネージョ 2
135	パイアオン
136	タンゴアルゼンチーノ
137	クンビアペルアーナ
138	クンビアカロンビアーナ
139	ヴァジェナート
140	ホロボ
141	パランダ
142	パチャータ
143	キューバンソン
144	グアヒーラ
145	メレンゲ
146	レゲトン 1
147	レゲトン 2
148	ティファナ
149	バンドゥランゲンセ
150	クンビアグルペラ
151	バラードバング
152	メキシカンマンボ
153	ディスコラテン
154	マンボ
155	サルサ
156	ピギン
157	ギタールンバ
158	ルンバフラメンコ
159	ルンバアイランド
160	レゲエ
ワールド	
161	ハワイアン
162	ケルティックダンス
163	スコティッシュリール
164	4/4スタンダルト
165	ルンバ2/4
166	サイディー
167	ワヘダサギーラ
168	ラフ
169	イラニアンエレック
170	エマラティ
171	アフリカンゴスペルレゲエ
172	ハイライフ 1
173	アフリカンゴスペル

スタイル番号	スタイル名
174	マコッサ
175	モダンアフロビート
176	ハイライフ 2
177	オルガンハイライフ
178	イグボハイライフ
179	ソカカリプン
180	アゾン
181	インディポップ
182	バングラ
183	バジャン
184	モダンダンドゥット
185	クロンチョン
186	喜慶鑼鼓(シチンロウグ)
187	京劇
188	舞(イ)族民謡
ポールのーム	
189	ウィンナーワルツ
190	イングリッシュワルツ
191	スローフォックス
192	フォックストロット
193	クイックステップ
194	タンゴ
195	バンドブレ
196	サンバ
197	チャチャチャ
198	ルンバ
199	ジャイブ
トラディショナル	
200	USマーチ
201	6/8マーチ
202	ジャーマンマーチ
203	ボルカポップ
204	オーバークライナーボルカ
205	タランテラ
206	ショーチューン
207	クリスマススイング
208	クリスマスワルツ
ワルツ	
209	イタリアンワルツ
210	メキシカンワルツ
211	ギターセレナーデ
212	スイングワルツ
213	ジャズワルツ 1
214	ジャズワルツ 2
215	カントリーワルツ
216	オーバークライナーワルツ
217	ミュゼット
チルドレン	
218	ラーニング2/4
219	ラーニング4/4
220	ラーニング6/8
221	ファン3/4
222	ファン4/4
ピアニスト	
223	ストライド
224	ピアノブルース 1
225	ピアノブルース 2
226	ピアノラグ
227	ピアノロックンロール
228	ピアノブギー
229	ピアノジャズワルツ

スタイル番号	スタイル名
230	ピアノジャズバラード
231	アルペジオ
232	ミュージカル
233	スローロック
234	8ビートピアノバラード
235	ピアノスイング

ソングリスト

ソング番号	ソング名	作曲者
メイン デモ		
1	キャプティブ	オリジナル
2	チリン	オリジナル
3	ダウン・タウン	オリジナル
音色 デモ		
4	グランドピアノ・デモ	オリジナル
5	スウィート・テナーサクソ・デモ	オリジナル
6	クール・ローターオルガン・デモ	オリジナル
7	クール・ギャラクシー・エレピ・デモ	オリジナル
8	モダンハープ&スウィートソプラノ・デモ	オリジナル
9	パワー・キット・ドラム・デモ	オリジナル
10	ダンス・キット・ドラム・デモ	オリジナル
11	キューバン・キット・パーカッション・デモ	オリジナル
ピアノ ソロ		
12	メイプル・リーフ・ラヴ	S. Joplin
13	金髪のエニジー	S. C. Foster
14	庭の千草	Traditional
15	エリーゼのために	L. v. Beethoven
ピアノ アンサンブル		
16	アメージング・グレース	Traditional
17	ローレライ	F. Silcher
18	ピアノ協奏曲 第21番 第2楽章	W. A. Mozart
19	スカボロ・フェア	Traditional
20	故郷の人々	S. C. Foster
ピアノ アカコンパニメント		
21	エレクトリックピアノ・バラード	オリジナル
22	ブギ・ウギ	オリジナル
23	ロック・ピアノ	オリジナル
24	サルサ	オリジナル
25	カントリー・ピアノ	オリジナル
26	ゴスペル・R&B	オリジナル
27	ミディアム・スウィング	オリジナル
28	ジャズ・ワルツ	オリジナル
29	ミディアム・ボサ	オリジナル
30	スロー・ロック	オリジナル

グループリスト

グループ番号	グループ名
エレクトロ	
1	エレクトロダンス
2	インダストリアルロック
3	ベルリンミニマル
4	UKエレクトロ
ダンスポップ	
5	アーバン 1
6	アーバン 2
7	チャートダンス
8	フレンチDJs
9	スウェーデンッシュフロアファイラー
ユーロダンス	
10	ユーロEDM
11	ユーロダンス 1
12	ユーロダンス 2

グループ番号	グループ名
ハウス	
13	エレクトロハウス 1
14	エレクトロハウス 2
15	ダウンテンポハウス
16	ディーブハウス
17	ユーロハウス
18	ミニマル
トランス	
19	プログレッシブトランス
20	ポップトランス
21	トランス
22	トランスハウス
ヒップホップ	
23	サウス
24	オールドスクール

グループ番号	グループ名
チルアウト	
25	ニューベルリンスクール
26	R&Bスムース
ダブ	
27	トラップ
28	ダブテクノ
ワールド	
29	アフロビート
30	ダンスホール 1
31	ダンスホール 2
32	ラテンポップ
33	アラビックダブ 1
34	アラビックダブ 2
35	インディトラップ

エフェクトタイプリスト

ハーモニータイプリスト

番号	タイプ	解説		
001	Duet (デュエット)	ハーモニータイプ001～005を鳴らしたいときは、スタイルオンの状態でスタイルを鳴らしながら、スプリットポイントより右側で弾くと、弾いた音に1～3音のハーモニーが加わります。コード情報を含んだソングを鳴らしているときは、どの鍵盤を弾いてもハーモニーがつかきます。		
002	Trio (トリオ)			
003	Block (ブロック)			
004	Country (カントリー)			
005	Octave (オクターブ)			
006	Trill 1/4 (トリル1/4)		2つの鍵盤を押さえ続けると、それぞれの音が交互にくり返し鳴ります。(鳴るスピードは選んだタイプによって異なります)。	
007	Trill 1/6 (トリル1/6)			
008	Trill 1/8 (トリル1/8)			
009	Trill 1/12 (トリル1/12)			
010	Trill 1/16 (トリル1/16)			
011	Trill 1/24 (トリル1/24)			
012	Trill 1/32 (トリル1/32)			
013	Tremolo 1/4 (トレモロ1/4)			鍵盤を押さえ続けると、押さえた音が連打されます。(連打のスピードは選んだタイプによって異なります)。
014	Tremolo 1/6 (トレモロ1/6)			
015	Tremolo 1/8 (トレモロ1/8)			
016	Tremolo 1/12 (トレモロ1/12)			
017	Tremolo 1/16 (トレモロ1/16)			
018	Tremolo 1/24 (トレモロ1/24)			
019	Tremolo 1/32 (トレモロ1/32)			
020	Echo 1/4 (エコー 1/4)		鍵盤を押さえると、押さえた音にエコー (こだま) がかかります。(エコーがかかるスピードは選んだタイプによって異なります)。	
021	Echo 1/6 (エコー 1/6)			
022	Echo 1/8 (エコー 1/8)			
023	Echo 1/12 (エコー 1/12)			
024	Echo 1/16 (エコー 1/16)			
025	Echo 1/24 (エコー 1/24)			
026	Echo 1/32 (エコー 1/32)			

[アルペジオタイプリスト (027～062)]

番号	タイプ
027	UpOct
028	DownOct
029	UpDwnOct
030	SynArp1
031	SynArp2
032	SynArp3
033	SynArp4
034	SyncEcho
035	PulsLine
036	StepLine
037	Random
038	Down&Up

番号	タイプ
039	SuperArp
040	AcidLine
041	TekEcho
042	VelGruv
043	Planet
044	Trance1
045	Trance2
046	Trance3
047	ChordAlt
048	SynChrd1
049	SynChrd2
050	SynCopa

番号	タイプ
051	Hybrid1
052	Hybrid2
053	Hybrid3
054	Hybrid4
055	Hybrid5
056	PfArp1
057	PfArp2
058	PfArp3
059	PfArp4
060	PfClub1
061	PfClub2
062	PfBallad

[アルペジオタイプリスト (063~176)]

番号	タイプ	番号	タイプ	番号	タイプ
063	PfChd8th	101	Spanish1	139	PercArp
064	EPArp	102	Spanish2	140	Trill
065	PfShufle	103	Harp1	141	Crescendo
066	PfRock	104	Harp2	142	DiscoCP
067	Clavi1	105	FngrBas1	143	Perc1
068	Clavi2	106	FngrBas2	144	Perc2
069	RocknPf	107	FngrBas3	145	R&B
070	70RockPf	108	CoolFunk	146	Funk1
071	SlowfPf	109	SlapBass	147	Funk2
072	SoulPf	110	AcidBas1	148	Funk3
073	ChordUp	111	AcidBas2	149	Soul
074	ChdDance	112	FunkyBas	150	ClscHip
075	LatinRck	113	CmbJazB1	151	Smooth
076	Salsa1	114	CmbJazB2	152	NewGospl
077	Salsa2	115	CmbJazB3	153	CmbJazz1
078	Reggae1	116	NewR&BBs	154	CmbJazz2
079	Reggae2	117	HipHopBs	155	Bebop
080	Reggae3	118	SmoothBs	156	JazzHop
081	6/8R&B	119	DreamBas	157	FolkRock
082	Gospel	120	TranceBs	158	Unpluggd
083	BalladEP	121	LatinBas	159	HipHop
084	Strum1	122	Strings1	160	Trance
085	Strum2	123	Strings2	161	Dream
086	Strum3	124	Strings3	162	2 Step
087	Strum4	125	Strings4	163	ClubHs1
088	Pickin1	126	StrngDwn	164	ClubHs2
089	Pickin2	127	StrngUp	165	EuroTek
090	Funky	128	OrcheStr	166	House
091	GtrChrd1	129	Jupiter	167	Ibiza1
092	GtrChrd2	130	Pizz1	168	Ibiza2
093	GtrChrd3	131	Pizz2	169	Ibiza3
094	GtrArp	132	BrasSec1	170	Garage
095	FngrPck1	133	BrasSec2	171	Samba
096	FngrPck2	134	BrasSec3	172	African
097	CleanGtr	135	FunkBras	173	Latin
098	Slowfl	136	SoulReed	174	China
099	Samba1	137	DiscoLd	175	Indian
100	Samba2	138	SmoothPd	176	Arabic

[NOTE]

- 143~176番のアルペジオタイプを演奏するときは、以下の音色をメインボイスとして選択してください。
 - 143~173番：ドラムキット(楽器番号238~251)を選択してください。
 - 174番(China)：楽器番号256「中国キット1」を選択してください。
 - 175番(Indian)：楽器番号258「インドキット1」または、楽器番号259「インドキット2」を選択してください。
 - 176番(Arabic)：楽器番号260「アラビックキット」を選択してください。

[リバーブタイプリスト]

番号	タイプ	解説
01~04	Hall 1~4 (ホール1~4)	ホールで弾いたときのようなリバーブ(残響)がかけられます。
05	Cathedral (カテドラル)	大聖堂の中で弾いたときのような豊かなリバーブ(残響)がかけられます。パイプオルガン音色などに最適です。
06~08	Room 1~3 (ルーム1~3)	部屋で弾いたときのようなリバーブ(残響)がかけられます。
09~10	Stage 1~2 (ステージ1~2)	ソロ楽器に適したリバーブです。
11~12	Plate 1~2 (プレート1~2)	鉄板の持つ響きが得られるリバーブです。
13	Off (オフ)	リバーブエフェクトはかかりません。

[コーラスタイプリスト]

番号	タイプ	解説
1~3	Chorus 1~3 (コーラス1~3)	音が自然に広がるコーラス効果がかかります。
4~5	Flanger 1~2 (フランジャー1~2)	ジェットサウンドを作り出す効果です。
6	Off (オフ)	コーラスエフェクトはかかりません。

DSPタイプリスト

番号	タイプ	解説
01	ロータリースピーカー	回転するホーンによって独特な音の広がりをつくるロータリースピーカーをシミュレートしたエフェクトです。主にオルガンの音に使用します。ノブAで回転の速度を、ノブBで歪み具合を調整します。
02	ディストーション1	音を意図的に歪ませるエフェクトです。ロックやブルース等で使われる、パワフルなエレクトリックギターサウンドにかかせません。ディストーション1と2では異なるタイプのサウンドをシミュレートしています。ノブAで歪み具合を、ノブBで音のエフェクトの音量を調整します。
03	ディストーション2	
04	コーラス	音にうねりを加えることによって、自然な広がりを作るエフェクトです。ノブAでうねりの速度を、ノブBでうねりの深さを調整します。
05	フランジャー	音にうねりを加えることによって、独特なジェットサウンドを作るエフェクトです。パラメーターAでうねりの速度を、パラメーターBでうねりの深さを調整します。
06	フェーザー	位相(フェーズ)を周期的に変化させた音を加えることにより、コーラスやフランジャーとは違ったうねりを作るエフェクトです。ノブAで周期の早さを、ノブBで変化の深さを調整します。
07	トレモロ	音量を周期的に変化させるエフェクトです。ノブAで周期の早さを、ノブBで音量変化の動き具合を調整します。
08	オートパン	音像を左右に周期的に移動させるエフェクトです。ノブAで周期の早さを、ノブBで左右の広がり具合を調整します。
09	ローパスフィルター	音の周波数成分のうち、カットオフ周波数以上の成分をカットします。またレゾナンスを上げることによってカットオフ周波数付近の音を増幅し音にクセをつけます。ノブAでカットオフ周波数を、ノブBでレゾナンスを調整します。
10	ハイパスフィルター	音の周波数成分のうち、カットオフ周波数以下の成分をカットします。またレゾナンスを上げることによってカットオフ周波数付近の音を増幅し音にクセをつけます。ノブAでカットオフ周波数を、ノブBでレゾナンスを調整します。

*パラメーターを動かす場合は、ノブアサインを **3** にしてください。

仕様

品名	電子キーボード			
サイズ/質量	寸法	946mm × 404mm × 139mm		
	質量	6.6kg (電池含まず)		
操作子	鍵盤	鍵盤数	61	
		タッチ感度	ソフト、ミディアム、ハード、フィックス	
	その他の操作子	ピッチバンドホイール	○	
		ノブ	○	
パネル	言語	英語 (和文シート)		
音源/音色	音源	音源方式	AWMステレオサンプリング	
	最大同時発音数	48		
	プリセット	音色数	758 (237パネル音色 + 24ドラム/SFXキット + 40アルペジオ音色 + 457XGlite音色)	
	対応フォーマット	GM, XGlite		
効果	タイプ	リバーブ	12	
		コーラス	5	
		マスターEQ	6	
	ファンクション	DSP	10	
		デュアル	○	
		スプリット	○	
		ハーモニー	26	
		アルペジオ	150	
		メロディーキャンセル	○	
伴奏スタイル	プリセット	スタイル数	235	
		フィンガリング	マルチフィンガリング	
		スタイルコントロール	スタイルオン/オフ、シンクロスタート、シンクロストップ、スタート/ストップ、イントロ/エンディング/リタルダント、メイン/フィリイン、トラックオン/オフ	
	外部スタイル	10		
	その他特長	ワンタッチセッティング (OTS)	○	
対応フォーマット	スタイルファイルフォーマット (SFF)			
グループクリエイター	プリセット	グループ数	35	
		セクション数	5 (4 セクション + 1 クライマックス/エンディング)	
録音/再生 (MIDIソング)	プリセット	内蔵曲数	30	
		ダウンロード	曲数	70
	録音	曲数	10	
		トラック数	6 (5×メロディー + 1スタイル/グループ)	
		データ容量	約19,000音符/10曲	
	フォーマット	再生	SMF (フォーマット0、フォーマット1)	
		録音	オリジナルフォーマット (SMF0変換機能あり)	
USBオーディオレコーダー	録音時間 (最大)	1曲につき80分 (約0.9GB)		
	フォーマット	再生	WAV (44.1 kHz, 16 bit, ステレオ)	
		録音	WAV (44.1 kHz, 16 bit, ステレオ)	
クイックサンプリング	サンプリングタイプ	ノーマル、ワンショット、ループ		
	サンプル数 (プリセット/ユーザー)	5		
	サンプリング時間	約9.6秒/サンプル		
	サンプリングソース	AUX IN		
	サンプリングフォーマット	オリジナルフォーマット (16 bit, ステレオ)		
	サンプリング周波数	44.1 kHz		
ファンクション	USBオーディオインターフェイス機能	44.1 kHz, 16 bit, ステレオ		
	レジストレーションメモリー	ボタン数	4 (×8バンク)	
		メトロノーム	○	
	全体設定	テンポ	11~280	
		トランスポーズ	-12~0~+12	
		チューニング	427.0~440.0~453.0 Hz: 約0.2 Hz単位	
		スケール	5タイプ	
	その他	ピアノボタン	○	

メモリー / 接続端子	メモリー	内蔵メモリー	約1.73 MB
		外付けメモリー	USBフラッシュメモリー
	接続端子		USB TO HOST、USB TO DEVICE、DC IN 12V、ヘッドフォン/外部出力、サステインペダル、外部入力(ステレオミニ)
音響	アンプ出力		6W+6W
	スピーカー		12cm × 2
電源部	電源アダプター		PA-150B(またはヤマハ推奨の同等品)
	電池		単3電池(アルカリ電池/マンガン電池/充電式ニッケル水素電池)×6(別売)
	消費電力		8W(電源アダプター PA-150B使用時)
	電池寿命		アルカリ電池で約8時間
	オートパワーオフ		○
付属品			取扱説明書(本書)、保証書、譜面立て、電源アダプター (PA-150Bまたはヤマハ推奨の同等品)、製品ユーザー登録のご案内、和文シート
別売品			ソフトケース(SCC-53)、キーボードスタンド(L-2C/L2L)、ヘッドフォン(HPH-150/HPH-100/HPH-50)、フットスイッチ(FC4A/FC5)、ワイヤレスMIDIアダプター (UD-BT01)

本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

索引

A		ク		ハ	
A-Bリピート	27	クイックサンプリング	29	ハーモニー	20
ACMP	24	クライマックス	28	ハーモニータイプ	21
AUX IN	30, 44	グループクリエイター	28, 56	バックアップ	46
		グループリスト	91	バックアップクリア	46
B				早送り	26
BGM	61	コ		早戻し	26
D		コードタイプ	60	ヒ	
DSP	22, 54	コーラス	54	ピッチバンド	48
DSP タイプ	22	コーラストाइプ	47	ピッチバンドレンジ	63
E		困ったときは	75	拍子	19
EQ	49	コンピューター	45		
I		コンピューターとつなぐ	11	フ	
iPhone/iPad接続マニュアル	11	サ		ファイルコントロール画面	68
M		サステイン	43	フィルイン	56
MIDI	25	サンプリング	29	フォーマット	67, 69
MIDI入門	11	サンプリングタイプ	29	付属品	10
MIDIリファレンス	11	サンプルゾーン	29	フットスイッチ	43, 53
O				譜面立て	10
OTS	18	シ		フラッシュクリア	46
U		自動伴奏機能	24	ブランクカット	66
USB TO DEVICE	67	自動伴奏鍵域	24		
USB TO HOST	45	仕様	95	ヘ	
USBフラッシュメモリー	67	初期化	46	ベースノート	50
ア		シンクロストップ	57	ペダル	43
アタック	54	ス		ヘッドフォン	43
アルペジオ	20	スケール	50	ホ	
アルペジオクオンタイズ	53	スタイル	24, 56	ボイス	18, 52
アルペジオタイプ	21	スタイルアウト	65	メ	
アルペジオタイプリスト	92	スタイルリスト	89	メイン	56
アルペジオホールド	53	ストップアカンパニメント	59	メインボイス	18
イ		スプリットボイス	19, 52	メッセージ一覧	39, 40, 74
一時停止	26	スプリットポイント	19, 59	メトロノーム	19
イニシャルセンド	66	スマートデバイス	45	メロディー音色	62
イントロ	56	セ		メロディーキャンセル	44
エ		セクション	56	ラ	
エフェクトタイプリスト	92	ソ		ランダム	61
エンディング	56	ソング	25, 61	リ	
オ		ソングアウト	65	リトリガー	58
オーディオ機器	44	ソングブック	11	リトリガーレート	55
オーディオループバック	66	ソングリスト	91	リバーブ	54
オートパワーオフ	15, 66	タ		リバーブタイプ	47
音量	15	タッチレスポンス	49	リリース	54
音量(AUX IN)の入力音	63	タップスタート	58	ル	
音量(USB TO HOST)	63	チ		ループ	29
音量(アルペジオ)	21	チューニング	48	レ	
音量(グループ)	59	テ		レジストレーションメモリー	42
音量(ソング)	62	デモソング	26	レゾナンス	54
音量(ハーモニー)	21	デュアルボイス	18, 52	ロ	
音量(メトロノーム)	20	電源	15	ローカルコントロール	65
音量バランス	55	電源アダプター	14	録音	36, 39
カ		電池	14	ワ	
外部機器	43	電池選択	15	ワンショット	29
外部クロック	65	テンポ	19, 58	ワンタッチセッティング	48
楽器リスト	76	ト			
カットオフ	54	トラック	27, 36, 37		
画面	17	ドラム/SFXキットリスト	82		
キ		トランスポーズ	48		
キーボードアウト	65	ノ			
機能設定	63	ノーマル	29		
		ノブ	23		

メモ

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

●保証書

本機には保証書がついています。
保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

●保証期間

保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

有寿命部品については、使用時間或使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

有寿命部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、ドラムパッドなど

●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

●持込み修理のお願い

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りの修理品お持ち込み窓口へ本機をご持参ください。

●製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

◆修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-012-808

※固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は TEL 053-460-4830 へおかけください。

受付

月曜日～金曜日 10:00～17:00 (土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

FAX

東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海) 03-5762-2125

西日本(北陸/近畿/中国/四国/九州/沖縄) 06-6649-9340

◆修理品お持ち込み窓口

受付

月曜日～金曜日 10:00～17:00 (土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

* お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006

東京都大田区平和島2丁目1-1 京浜トラックターミナル内14号棟A-5F

FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター

〒556-0011

大阪市浪速区難波中1丁目13-17 ナンバ株式会社ビル7F

FAX 06-6649-9340

※名称、住所、電話番号、営業時間などは変更になる場合があります。

キーボードの仕様や取り扱いに関するお問い合わせ

ご購入の特約店または下記ヤマハお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

お客様コミュニケーションセンター 電子ピアノ・キーボードご相談窓口



ナビダイヤル(全国共通番号)

0570-006-808

※固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は TEL 053-460-5272 へおかけください。

受付：月曜日～金曜日 10:00～17:00 (土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

<https://jp.yamaha.com/support/>

ウェブサイトのご案内

ヤマハ株式会社のホームページ	https://jp.yamaha.com/
ヤマハ エレクトーン・キーボードサイト	https://jp.yamaha.com/kbd/
ヤマハ サポート・お問い合わせ	https://jp.yamaha.com/support/
ヤマハミュージックデータショップ	https://yamahamusicdata.jp/

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

※ 都合により、住所、電話番号、名称、営業時間などが変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。